わかる、できる、役に立つ!!

Step2 入門

ワープロ入門は、この一冊でバッチリ!

マウス・キーボード初体験もらくらくクリア!

いろいろなソフトを楽しむために
やさしく解説!

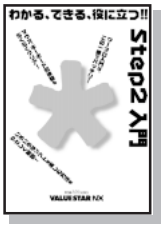
PC98-NX SERIES
VALUESTAR NX
一太郎モデル

マニュアルを読む順序

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

1 まずこれ!

2 次にこれ!



添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

TVモデルではこの他に、『TVモデルガイド』が添付されています。

3 目的に合ったマニュアルを選んで読む

パソコンの画面で見るマニュアル「パソコン探検箱」にもアプリケーションの説明、マニュアルの紹介などの便利な情報があります。

やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	STEP 1　接続と準備
マウスの使い方を知りたい	STEP 2　入門
キーボードで文字を打ってみたい、ワープロを使いたい	STEP 2　入門
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	STEP 2　入門、パソコン探検箱
インターネットを利用したい	インターネット入門、パソコン探検箱
インターネットに便利なソフトを使いたい	インターネット入門、パソコン探検箱
FAX を送受信したい	パソコン探検箱
年賀状やあいさつ状を作りたい	パソコン探検箱
パソコン用語の意味を知りたい	パソコン探検箱
プリンタをつなぎたい	拡張の手引き
オプション機器を取り付けたい	拡張の手引き
Windows 98 について知りたい	STEP 3　活用
このパソコンの機能について詳しく知りたい	リファレンス
パソコンが思うように動かない	困ったときの Q&A
マニュアル総索引を使いたい	困ったときの Q&A
再セットアップしたい	困ったときの Q&A
テレビや地上波データ放送を見たい（TV モデルのみ）	TV モデルガイド

はじめに

この本は、パソコンにはじめて触れる方のために、電源の入れ方から、マウスやキーボードの使い方など、いちばん基本的な内容から順番に説明しています。『STEP 1　接続と準備』を読んでパソコンを使うための準備を済ませてからお読みください。

そのあとで、ワープロを使いこなす方法、画面の仕組み、ハードとソフトの役割などについて簡単に説明しています。さらに、パソコンに内蔵されているさまざまなソフトの紹介と、市販のソフトを利用する方法についても解説しています。

この本を最初から順番に読み、操作を体験していくうちに、パソコンにも慣れ、自分自身のパソコン利用法を見つけることができるでしょう。あわてずに、じっくりと、楽しく、あなたのパソコンライフを始めてください。

1999年2月　初版
1999年3月　2版

808-881444-182-A

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の色の付いた部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱う方は、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
プリンタ、コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。
CD-ROMドライブ	DVD-ROMモデルでは、DVD-ROMドライブのことを、CD-ROMモデルでは、CD-ROMドライブのことを指します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
CRTディスプレイセットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
ボックスレスタイプ	液晶ディスプレイにパソコン本体を組み込んだモデルのことです。
ディスプレイなしモデル	ディスプレイが別売となっているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
TVモデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能やDVD-ROMドライブを搭載したモデルのことです。
一太郎モデル	一太郎9パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型 名	型 番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VC45D/6GC1	PC-VC45D6GC1	コンパクトタイプ	CD-ROM モデル	液晶ディスプレイセットモデル (15 インチ液晶)	一太郎モデル
VC40D/6YC1	PC-VC40D6YC1			液晶ディスプレイセットモデル (14 インチ液晶)	
VC35D/6YC1	PC-VC35D6YC1				
VC35D/6XC1	PC-VC35D6XC1				
VC35D/6XC2	PC-VC35D6XC2				
VC36H/6XC1	PC-VC36H6XC1				
VC36H/6XC2	PC-VC36H6XC2				
VE40D/67C	PC-VE40D67C			CRT ディスプレイセットモデル (17 インチ CRT)	
VE35D/67C	PC-VE35D67C				
VE36H/67C	PC-VE36H67C				
VE36H/65C	PC-VE36H65C			CRT ディスプレイセットモデル (15 インチ CRT)	
VT35D/67C	PC-VT35D67C	TV モデル	DVD-ROM モデル	CRT ディスプレイセットモデル (17 インチ CRT)	
VM45J/6GC	PC-VM45J6GC	ミニタワータイプ	DVD-ROM モデル	液晶ディスプレイセットモデル (15 インチ液晶)	
VM45J/6ZC	PC-VM45J6ZC			ディスプレイなしモデル	
VF26D/6GC	PC-VF26D6GC	ボックスレスタイプ	CD-ROM モデル	ボックスレスタイプ (15 インチ液晶)	
VF26D/6YC	PC-VF26D6YC			ボックスレスタイプ (14 インチ液晶)	

◆本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
一太郎	一太郎9
一太郎9パック	一太郎9パック（一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12）
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 4.0

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りの Bit-INN、または NEC パソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® 98 および本機に添付の CD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、Bookshelf、FrontPage Express およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
Celeron は Intel Corporation の商標です。
「一太郎」、「花子」、「FullBand」、「ATOK」、「JustNet」、「Shuriken」、「VoiceATOK」は、株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。
「一太郎 9 パック」、「VoiceATOK for SmartVoice」は株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎 9 パック」、「VoiceATOK for SmartVoice」にかかる著作権、その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。
パソコン大学は、テラ・コーポレーションの登録商標です。
ニフティサーブ、NIFTY MANAGER は、ニフティ（株）の登録商標です。
アメリカ・オンラインおよび AOL は、AOL の登録商標です。
Hatch はディ アンド アイシステムズ株式会社の登録商標です。
Hatch inside はディ アンド アイシステムズ株式会社の商標です。
「ANGEL LINE」および「エンジェルライン」は、NTT の登録商標です。
VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。
インターネット カラオケキングは、（株）ミュージックネットワークの登録商標です。
“ GLOCAL HEXCITE ” is a trademark of GAJIN and SHIPS Inc.
Solitaire Deluxe は、Interplay Productions の商標です。
Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995
Adobe、Acrobat および Acrobat ロゴは Adobe System Incorporated（アドビシステム社）の商標です。
「てきぱき家計簿マム」はテクニカルソフト株式会社の商標です。
「ハローキティ」は、株式会社サンリオの登録商標です。
パソコン探険箱、BIGLOBEインターネット無料体験、BIGLOBEインターネット接続ツール、SmartVoice は、日本電気株式会社の商標です。
Intellisync および Intellisync ロゴは、いくつかの法域で登録することができる Puma Technology, Inc. の商標です。
Bitcast およびビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。ADAMS（TV-Asahi Data And Multimedia Service）は、テレビ朝日データ株式会社によるWebデータを配信するデータ多重放送サービスです。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

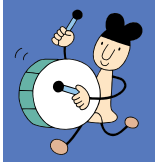
■ 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

目次 CONTENTS

はじめに i
このマニュアルの表記について ii
『STEP2 入門』の読み方 xvi

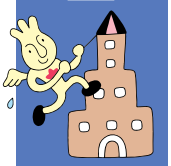
PART 1



電源の入れ方と切り方を覚えよう（コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合） 1

電源を入れる 2
電源を切る 3
一時的に作業を中断する（スタンバイ） 5
電源スイッチとスリープボタン 5
パソコンをスタンバイ状態にする 6
スタンバイ状態を解除する 6
この PART のまとめ 7

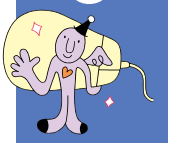
PART 2



電源の入れ方と切り方を覚えよう(ボックスレスタイプの場合） 9

電源を入れる 10
電源を切る 11
一時的に作業を中断する（スタンバイ） 13
パソコンをスタンバイ状態にする 13
スタンバイ状態を解除する 14
この PART のまとめ 15

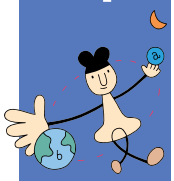
PART 3



マウスに慣れよう 17

CyberCoach-NX を始める 18
間違えてもだいじょうぶ 18
CyberCoach-NX を起動する 18
マウス練習の進め方 22
マウスの練習を始める 22
音量を調節する 23
画面を見ながら説明を聞く 24
実際にマウスを操作してみる 24
CyberCoach-NX を終わる 26
この PART のまとめ 27

PART 4



ウィンドウの扱いをマスターしよう 29

ランチ -NX は、ソフトの発射台 30

ランチ -NX の画面 30

ペイントを始める 33

ランチ -NX から「ペイント」を始める 33

ウィンドウを最大化、最小化する 34

ウィンドウを最大化する 34

ウィンドウを最小化する 36

ペイントで簡単に絵を描く 37

鉛筆ツールを使って好きな絵を描く 37

スクロールしてみる 38

複数のウィンドウを扱う 44

ウィンドウの重なり方 44

ウィンドウの重なり方を変える 45

ウィンドウを動かす 47

ウィンドウの大きさを変える 48

ペイントを終わる 49

この PART のまとめ 50

目次 CONTENTS

PART 5

キーボードに慣れよう 51

一太郎を始める 52
- 一太郎を使う準備をする 52

文字の入れ方を決める 55
- ローマ字入力とかな入力 55
- かな入力に切り替えるには 56

ひらがなを打つ（ローマ字入力） 59
- 「こんにちは」と打つ 59
- 文字を打ち間違えたら 60
- ひらがなのまま、文字を確定する 61
- 改行する 61

ひらがなを打つ（かな入力） 62
- 「こんにちは」と打つ 62
- 文字を打ち間違えたら 63
- ひらがなのまま、文字を確定する 64
- 改行する 64

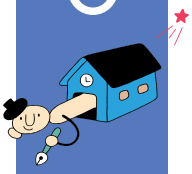
漢字に変換する 65
- 「誕生日に」と打つ 65
- 「会食をします」と打つ 66
- 「。」を打つ 67
- 「。」を確定する 68

同音語を見る 69
- 改行する 70

カタカナを打つ 71
- ツールバーを確認する 71
- カタカナが打てるようにする 71
- 「パーティー」と打つ 72
- ひらがなが打てる状態に戻す 73
- 改行する 73

数字を使って日付を打つ 74
数字が打てることを確かめる 74
「3月10日」と打つ 74
改行する 75
英字を打つ 76
英字が打てるようにする 76
「tel」と打つ 76
ひらがなが打てる状態に戻す 77
改行する 77
自分の名前と住所を打ってみる 78
途中で分かれて変換されてしまう場合 78
文節の区切りがおかしいとき 78
うまく変換できないときは、一文字ずつ変換できる 78
文書を保存する 79
一太郎を終わる 81
このPARTのまとめ 82

PART 6

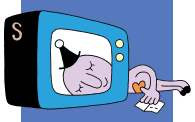


ワープロをもっと楽しもう 85
プリンタを準備する 86
一太郎を始める 87
文書を呼び出す 88
文章を追加する 89
半角文字で英数字を打つ 90
日本語入力のオンとオフを切り替える 91
文字の直し方 92
記号を打つ 92
文章を編集する 94
文字を削除する 94
前の操作を取り消す 96
文字を移動する 97
文字を複写する 99
文書を保存する 101

目次 CONTENTS

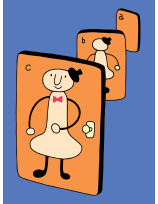
文書の体裁を整える 102
文字の大きさを変える 102
文字の書体を変える 104
文字の揃え方を変える 106
別の名前で文書を保存する 107
文書を印刷する 109
一太郎を終わる 110
さらに一太郎を使いこなす 111
パソコンで一太郎を学ぶ 111
マニュアルで一太郎を学ぶ 112
このPARTのまとめ 113

PART 7



ちょっとだけ勉強 115
ハードとソフト？ 116
ハードって何？ 116
ソフトって何？ 116
ハードの話 117
本体 117
ディスプレイ 117
マウス、キーボード 117
プリンタ 118
情報を記憶するための装置 118
ソフトの話 120
ソフトの種類 120
ソフトな道具箱＝アプリケーション 120
ソフトな作品＝データ 121
ソフトな地球＝OS 121
このPARTのまとめ 122

PART 8



パソコン利用の心得 123

パソコンは怖くない 124

電源が入っているときに電源プラグを抜かない 124
電源が入っているときに本体を移動しない 124
お子様に注意 125
何があってもあわてない 125

あなたのデータはあなたが守る 126

コンピュータウイルスにご注意！ 126
バックアップを忘れずに 126

バックアップを取る 128

バックアップはいつ取るの？ 128
バックアップを取る方法 128
フロッピーディスクにデータをコピーする 129
バックアップのためのヒント 131

PART 9

さらに広がるパソコンワールド 133

アプリケーションを使おう 134

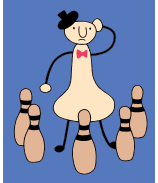
パソコンの使い方を学びたい 134
生活の中で役立てたい 136
インターネットを始めたい 141
さらにインターネットを楽しみたい 143
電子メールを使ってみたい 145
FAX をしたい、電話番号を調べたい 146
写真や絵を加工したい 147
音楽や画像を楽しみたい 148
ゲームで遊びたい 151
パソコンを守りたい 153
音声で操作したい 154
パソコンの設定をしたい 155
ちょっとした小道具 156

CD-ROM の扱い方 158

CD-ROM、DVD-ROM の取り扱い上の注意 158
CD-ROM の入れ方と出し方（コンパクトタイプの場合） 159
CD-ROM の入れ方と出し方（ミニタワータイプの場合） 162

目次 CONTENTS

CD-ROMの入れ方と出し方（ボックスレスタイプの場合）..... 164
市販ソフトを利用する 166
ソフトを買うときのポイント 166
ソフトを組み込むときのポイント 167
雑誌の付録やダウンロードソフトはちょっと待って！ 168
周辺機器で可能性は無限大 169
周辺機器の購入、取り付けにあたって 169
デジタルカメラ 169
イメージスキャナ 170
ヘッドホン 170
ジョイスティック 170
パソコン自身のパワーアップ 171
情報収集のしかた 172
まずは「NEC PC あんしんサポートガイド」 172
パソコン探検箱を見る 172
パソコン雑誌を読む 172
解説本を読む 173
パソコン通信、インターネットから情報を得る 173
パソコンに詳しい友と語る 173
パソコン探検箱を見てみよう 174
「パソコン探検箱」を始める 174
パソコン探検箱を使うときの注意 174
パソコン探検箱を見る 175
パソコン探検箱の内容を印刷する 176
このPARTのまとめ 179



付　録 181

パソコンの画面とマニュアルの画面が違う！ 182

ウィンドウが表示されていない！ 182

市販ソフトの場合 183

パソコンが何か言ってる！ 184

パソコンが何か変だ！ 185

ローマ字つづり一覧 186

索　引 189

『STEP2 入門』の読み方

あなたがしたいことはどれ?

パソコンの基本から学びたい

初心者の方は、こちらから順番に読み進んでください。

1 へ

キーボードを使えるようになりたい

マウスの操作には慣れているという方、ワープロを使ってキーボードに慣れたいという方は

2 へ

他のアプリケーションを使ってみたい

パソコンの基本操作は一通りできるという方は

3 へ

1

コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合 PART 1

ボックスレスタイプの場合 PART 2

●電源の入れ方と切り方を覚えます。

PART 3 ▶ PART 4

●操作レッスンソフトを使ってマウス操作を練習します。
●「ペイント」を使ってウィンドウの扱い方をマスターします。

2

ワープロソフトにチャレンジ!

PART 5 ▶ PART 6

●「一太郎」を使ってキーボードの操作を練習します。
●キーボードに慣れたら、文書を編集して印刷してみましょう。

3 へ

3

PART 7 ▶ PART 8

パソコンの基本操作を一通り体験したら、ここで少しだけパソコンについて勉強してみましょう。また「パソコン利用の心得」としてデータのバックアップについても学びます。

PART 9

このパソコンには、ワープロや「ペイント」以外にもたくさんのアプリケーションが入っています。あなたがやりたいことをみつけて使ってみましょう。

さらに、それぞれのマニュアルへ

マニュアル

画面で見るマニュアル

< パソコン探検箱 >

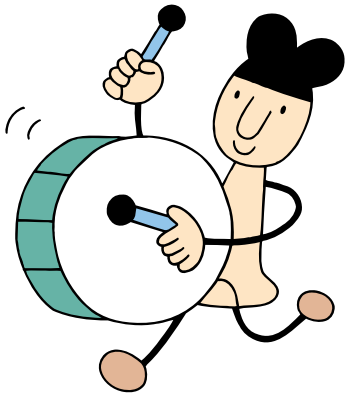
このパソコンにはパソコンの画面上で見られるマニュアルが付いています。やりたいこと別にパソコン操作を学べます。使い方は、PART 9 で紹介しています。

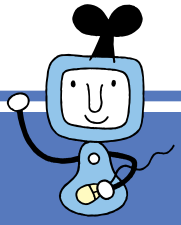
PART

1

電源の入れ方と切り方を覚えよう (コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)

パソコンは精密な機械なので、電源を入れたり切ったりするときにも、決まった手順を守って、あわてずに操作する必要があります。まず最初に、いちばん基本的な操作をマスターしてください。





電源を入れる

電源を入れるときには、ディスプレイ、パソコン本体の順で電源スイッチを押します。パソコンの電源スイッチを入れてから、パソコンが使えるようになるまでには、1分ぐらい時間がかかります。

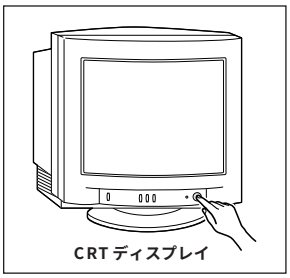
1 ディスプレイの電源を入れる

●ディスプレイの電源ランプが点灯していたら

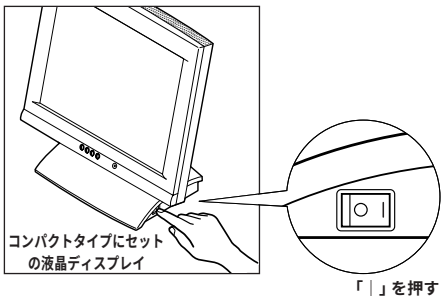
ディスプレイの電源は入っています。
次の手順に進んで、他の機器やパソコンの電源を入れてください。

●ディスプレイの電源ランプが点灯していなかったら

ディスプレイの電源が入っていません。
まずディスプレイの電源を入れてください。



CRT ディスプレイ

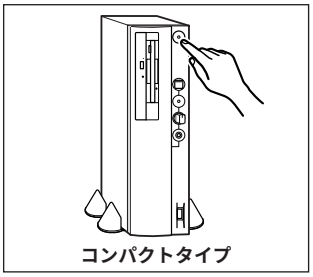


コンパクトタイプにセットの液晶ディスプレイ

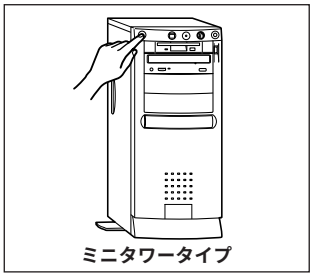
「｜」を押す

2 スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの電源を入れる

3 パソコン本体の電源を入れる



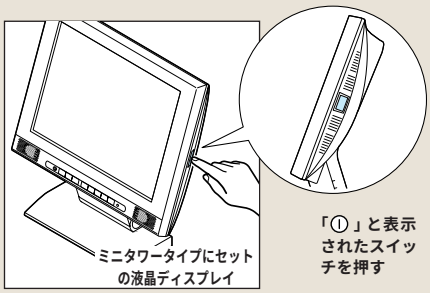
コンパクトタイプ



ミニタワータイプ

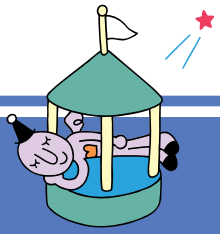
チェック!!

ディスプレイ、パソコン本体の電源スイッチは、お使いのタイプによって異なります。



ミニタワータイプにセットの液晶ディスプレイ

「⏻」と表示されたスイッチを押す



電源を切る

電源を切るときは、マウスを使います。パソコン本体の電源スイッチを押す必要はありません。大切なデータを失ってしまったり、内部の部品を損傷してしまったりしないよう、正しい手順で操作してください。

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品も入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品の動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1 画面左下にある「スタート」に矢印を合わせる

2 マウスの左ボタンを 1 回押す

スタートメニューが表示される

チェック!!

電源を切る前にデータを保存し、アプリケーションを終了しておいてください。
電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作してください。

チェック!!

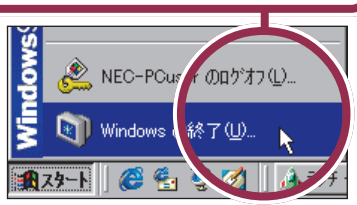
矢印を合わせ、マウスを止めたままにしておくと「このボタンから始めます」と表示されます。そのまま 5 秒ぐらいたつと自動的に「このボタンから始めます」という表示が消えます。

用語

スタートメニュー

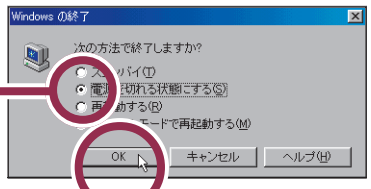
画面左下にある「スタート」（「スタート」ボタンと呼びます）に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「Windows の終了」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトウェアを利用したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

3 「Windows の終了」に矢印を合わせる



4 マウスの左ボタンを 1 回押す

画面中央に、これが表示される



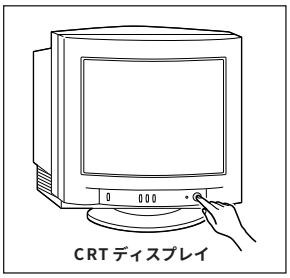
5 「電源を切れる状態にする」が ◉ になっていることを確かめる

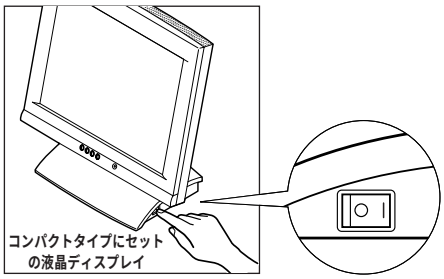
6 「OK」に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す

「Windows を終了しています」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。パソコン本体の電源ランプも消えます。

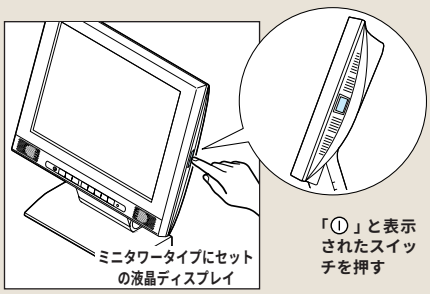
7 パソコン本体の電源ランプが消えて画面が暗くなったことを確かめる（ディスプレイの電源ランプの色が変わる）

パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイも真っ暗になりますが、電源が切れたわけではありません。就寝時や外出時などには、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。


CRT ディスプレイ



コンパクトタイプにセットの液晶ディスプレイ



ミニタワータイプにセットの液晶ディスプレイ

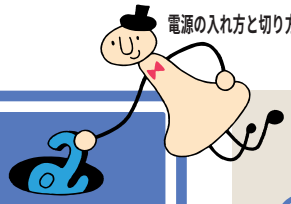
8 スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの電源も切る

チェック!!

矢印がスタートメニューの中を上下すると、矢印の位置に青い帯が表示されます。「Windowsの終了」に青い帯がかかるように、マウスを動かしてください。

チェック!!

「スタンバイ」「再起動する」や「MS-DOS モードで再起動する」の前に ◉ が表示されているときは、「電源を切れる状態にする」の前の ○ に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押してください。



一時的に作業を中断する（スタンバイ）

休憩や来客などで一時的に席を離れる場合、作業を中断して画面を消しておくことができます。こうしておくと、次に席に戻ったときに、すぐに中断前の状態に戻すことができます。

用語

スタンバイ

パソコン画面の表示を一時的に中断したり、パソコン本体の消費電力を抑える機能です。
スタンバイのことをサスペンドと呼ぶこともありますが、同じ意味です。

電源スイッチとスリープボタン

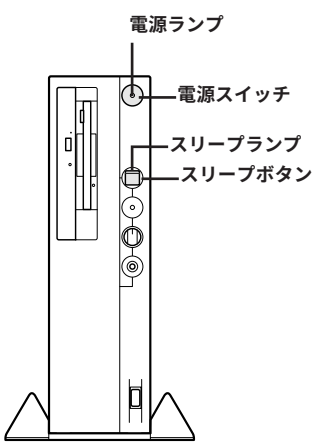
パソコン本体には、電源スイッチとスリープボタンが付いています。

●電源スイッチ

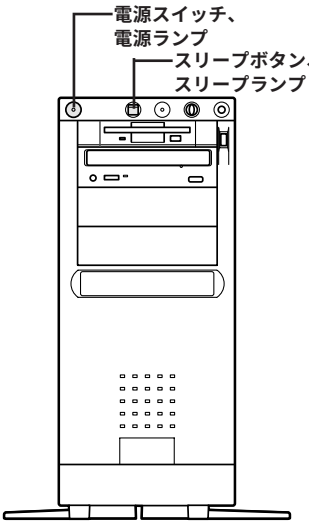
パソコンの電源を入れるときに使います。パソコンの電源が入っているときには、電源ランプも点灯します。

●スリープボタン

パソコンをしばらくの間使わないときに、消費電力を抑えるために使います。このボタンを押すと、パソコンがスタンバイ状態になり、画面の表示も一時的に中断されて暗くなります。スタンバイ状態になったときは、電源ランプとスリープランプの両方が点灯します。



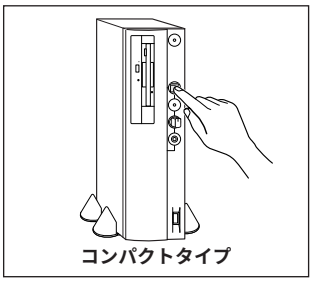
コンパクトタイプ

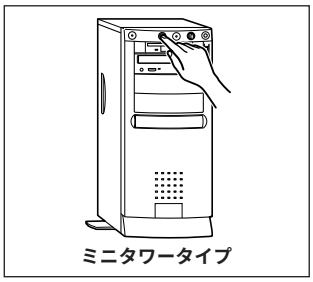


ミニタワータイプ

パソコンをスタンバイ状態にする

スリープボタンを押す


コンパクトタイプ


ミニタワータイプ

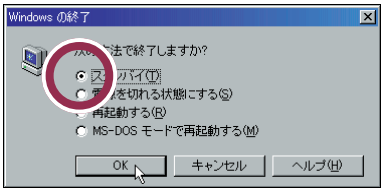
画面が暗くなり、電源ランプとスリープランプの両方が点灯します。パソコンがスタンバイ状態になると、消費電力が低く抑えられます。

●自動的にスタンバイ状態になる

購入時の設定ではキーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くとスタンバイ状態になり、自動的に画面が暗くなります。

●「Windows の終了」の画面からスタンバイ状態にする

「Windowsの終了」の画面からスタンバイを選んで「OK」をクリックすると、自動的に画面が暗くなり、パソコンがスタンバイ状態になります。



チェック!!

パソコンの電源が切れているとき（電源ランプが消えているとき）には、スリープボタンは働きません。スリープボタンは、パソコンの電源が入っているときに押してください。

スタンバイ状態を解除する

スタンバイ状態を解除するには次のいずれかの操作を行ってください。しばらくすると、スタンバイ状態にする前の画面に戻ります。

- キーボードのキーを何か１つ押す
- マウスを軽く動かす
- スリープボタンを押す

参照
スタンバイについて→『リファレンス』PART2の「省電力機能（スタンバイ）」

このPARTのまとめ

ここでは、正しい電源の入れ方と切り方を練習しました。

電源を入れるときは、ディスプレイから先に

ディスプレイ、パソコン本体の順で電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押したあとは、次の画面が出るまで１分ぐらい何も操作せずに待ちます。

電源の切り方は、しっかりマスターする

かならずマウスを操作して「電源を切る」の手順にしたがってパソコン本体の電源を切ってください。パソコン本体の電源が切れて画面が暗くなったのを確認します。長い間使わないときは、ディスプレイの電源も切ります。

中断するときは、スリープボタン

スリープボタンを押すと、画面が暗くなってパソコンがスタンバイ状態になります。スタンバイ状態のときは、電源ランプとスリープランプの両方とも点灯しているので、ランプを確認する習慣をつけるようにしましょう。

画面が暗くなったときはキーボードかマウス

パソコン本体の電源を切った覚えがないのに画面が暗くなってしまったときは、ディスプレイの電源を切ってしまう前にディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているか、またはパソコン本体のスリープランプが点灯していないか確認しましょう。このようなときは、次のいずれかの操作をしてください。

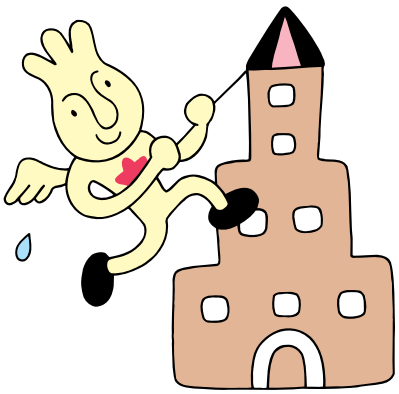
・キーボードのキーを何か１つ押す
・マウスを軽く動かす
・スリープボタンを押す

PART

2

電源の入れ方と切り方を覚えよう (ボックスレスタイプの場合)

パソコンは精密な機械なので、電源を入れたり切ったりするときにも、決まった手順を守って、あわてずに操作する必要があります。まず最初に、いちばん基本的な操作をマスターしてください。

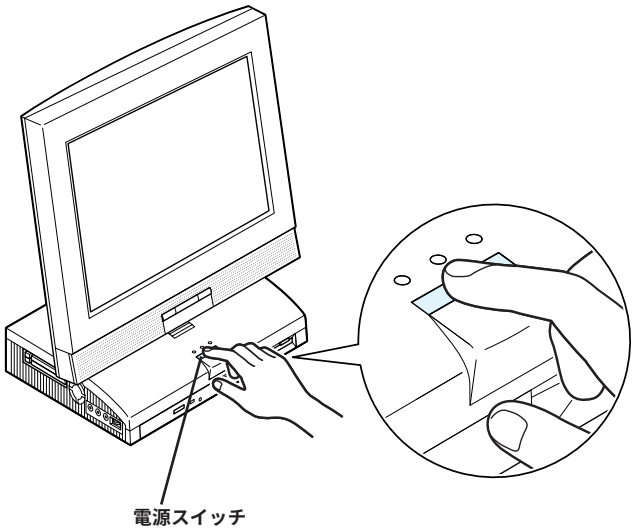


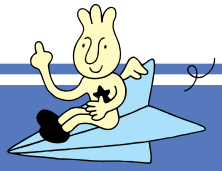
電源を入れる

電源を入れるときは、パソコンの電源スイッチを押します。パソコンの電源スイッチを入れてから、パソコンが使えるようになるまでには、1分ぐらい時間がかかります。

1. **他の機器を接続している場合は、それらの電源スイッチを入れる**

2. **パソコン本体の電源を入れる**





電源を切る

電源を切るときは、マウスを使います。パソコン本体の電源スイッチを押す必要はありません。大切なデータを失ってしまったり、内部の部品を損傷してしまったりしないよう、正しい手順で操作してください。

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品も入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品の動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1 画面左下にある「スタート」に矢印を合わせる

2 マウスの左ボタンを 1 回押す

↓ スタートメニューが表示される

チェック!!

電源を切る前にデータを保存し、アプリケーションを終了しておいてください。
電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作してください。

チェック!!

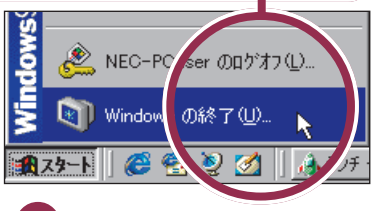
矢印を合わせ、マウスを止めたままにしておくと「このボタンから始めます」と表示されます。そのまま 5 秒ぐらいたつと自動的に「このボタンから始めます」という表示が消えます。

用語

スタートメニュー

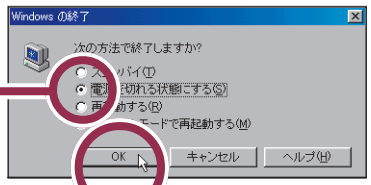
画面左下にある「スタート」（「スタート」ボタンと呼びます）に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「Windows の終了」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトウェアを利用したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

3 「Windows の終了」に矢印を合わせる



4 マウスの左ボタンを 1 回押す

画面中央に、これが表示される



5 「電源を切れる状態にする」が ◉ になっていることを確かめる

6 「OK」に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す

「Windowsを終了しています」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。パソコン本体の電源ランプも消えます。

7 パソコン本体の電源ランプが消えて画面が暗くなったことを確かめる

8 他の機器を接続している場合は、それらの電源も切る

チェック!!

矢印がスタートメニューの中を上下すると、矢印の位置に青い帯が表示されます。「Windowsの終了」に青い帯がかかるように、マウスを動かしてください。

チェック!!

「スタンバイ」「再起動する」や「MS-DOS モードで再起動する」の前に ◉ が表示されているときは、「電源を切れる状態にする」の前の ○ に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押してください。

一時的に作業を中断する（スタンバイ）

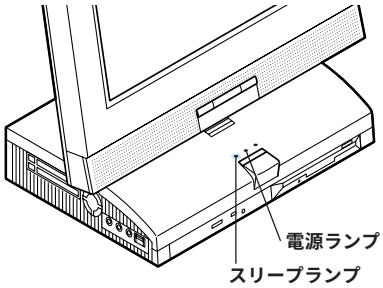
休憩や来客などで一時的に席を離れる場合、作業を中断して画面を消しておくことができます。こうしておくと、次に席に戻ったときに、すぐに中断前の状態に戻すことができます。

用語

スタンバイ

パソコン画面の表示を一時的に中断したり、パソコン本体の消費電力を抑える機能です。
スタンバイのことをサスペンドと呼ぶことがありますが、同じ意味です。

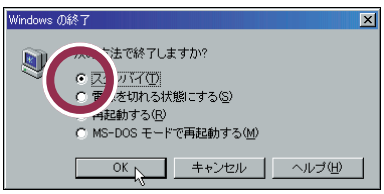
パソコンをスタンバイ状態にする



パソコンがスタンバイ状態になると、画面が暗くなり、スリープランプが点灯し、電源ランプは消灯します。パソコンの消費電力が低く抑えられます。

●「Windows の終了」の画面からスタンバイ状態にする

電源を切る手順の途中で表示される「Windows の終了」の画面からスタンバイを選んで「OK」をクリックすると、自動的に画面が暗くなり、パソコンがスタンバイ状態になります。



●自動的にスタンバイ状態になる

購入時の設定ではキーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くとスタンバイ状態になり、自動的に画面が暗くなります。

スタンバイ状態を解除する

スタンバイ状態を解除するには次のいずれかの操作を行ってください。
しばらくすると、スタンバイ状態にする前の画面に戻ります。
・キーボードのキーを何か１つ押す
・マウスを軽く動かす

参照
スタンバイについて→『リファレンス』PART2 の「省電力機能（スタンバイ）」

このPARTのまとめ

ここでは、正しい電源の入れ方と切り方を練習しました。

電源を入れたら 1 分ぐらい何もせずに待つ

他に接続している機器がある場合は、それらのスイッチを入れてから、パソコンの電源スイッチを押します。パソコンの電源スイッチを押したあとは、次の画面が出るまで 1 分ぐらい何も操作せずに待ちます。

電源の切り方は、しっかりマスターする

かならずマウスを操作して「電源を切る」の手順にしたがってパソコン本体の電源を切ってください。パソコン本体の電源が切れて画面が暗くなったのを確認します。

中断するときは、スタンバイ

一時的に作業を中断するときは、電源を切る手順の途中で表示される「Windows の終了」からスタンバイを選んで「OK」をクリックすると、自動的に画面が暗くなってスタンバイ状態になります。

画面が暗くなったときはキーボードかマウス

パソコンの電源を切った覚えがないのに画面が暗くなってしまったときは、パソコンのスリープランプが点灯していないか確認しましょう。このようなときは、次のいずれかの操作をしてください。

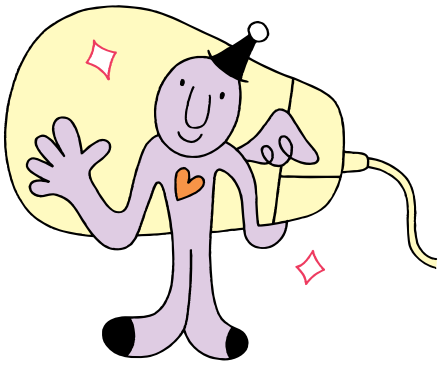
・キーボードのキーを何か 1 つ押す
・マウスを軽く動かす

PART

3

マウスに慣れよう

電源の入れ方と切り方をマスターしたら、マウスの使い方を練習しておきましょう。マウスは、パソコンを操作するときの基本的な道具です。これまでにマウスを使ってパソコンを利用した経験のある方は、この PART を読み飛ばしてしまっても構いません。



サイバーコーチエヌエックス

CyberCoach-NXを始める

マウスの練習は、「CyberCoach-NX」という練習用ソフトを使って行います。最初に、このソフトをパソコンの画面に呼び出しましょう。

用語

起動する・立ち上げる

パソコンには、文章を作るためのソフトや計算するためのソフトなど、さまざまなものが入っています。これらのソフトを目的に応じて選択し、画面に呼び出してくることを、「ソフトを起動する」とか「ソフトを立ち上げる」などといいます。

間違えてもだいじょうぶ

はじめてパソコンを操作するときは、思わぬ場所にマウスが動いてしまったり、思い通りに操作できなくてイライラすることもあるかもしれません。でも、少し操作を間違えたぐらいでは、パソコンは壊れたりしません。落ちついて、ゆっくり操作を進めてください。迷ったり、わからなくなったりしたときは、手順の右側の説明文も読んでみるとよいでしょう。

CyberCoach-NXを起動する

「CyberCoach-NX」では、画面と音声を使って操作の説明をしています。音声が聞こえるように音量を調節してください。

1 パソコンの画面が電源を入れた直後の画面になっていることを確かめる

参照

音量の調節→この PART の「音量を調節する」(p.23)

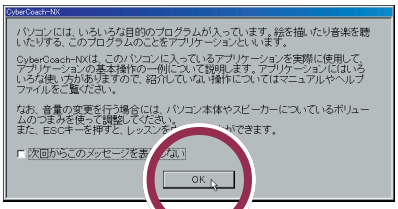
チェック!!

パソコンの電源が入っていて、左の画面と異なる画面が表示されている場合、いったん電源を切って電源を入れ直してください。

ディスプレイにランチ - NXが表示されない場合

最初にパソコンの電源を入れたときに、「ValueStar NXを使う準備をします」を行っていないとランチ -NXは表示されません。『STEP1　接続と準備』PART 3の「このパソコンの機能を使えるようにする」を参照して、正しく ValueStar NXを使う準備をしてください。

2 「CyberCoach-NX（操作レッスン）」に手のマークを合わせ、マウスの左ボタンを１回押す



3 「OK」に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを１回押す

数秒後に、新しい画面が出てくる

4 上の画面を確認したら、p.22の「マウス練習の進め方」に進む

ポイント

「CyberCoach-NX」を起動するときは、電源を入れた直後の画面になっているのを確認したあと、「CyberCoach-NX（操作レッスン）」に手のマークを合わせ、マウスの左ボタンを１回押す。

チェック!!

左の画面が表示されるまでに、パソコンの電源を入れた直後の画面に戻るように見えますが、故障ではありません。左の画面が出るまで何もせずにお待ちください。

別の画面が表示されるなど、操作を間違ってしまったときは、次のページの「こんなときは」を読んで解決してください。

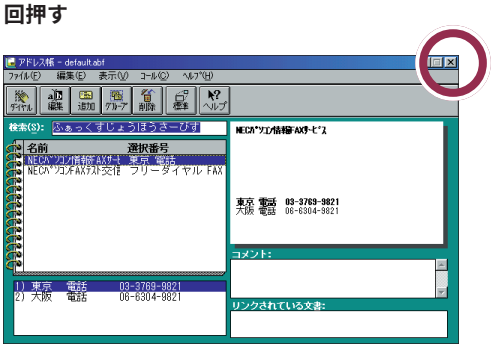
こんなときは

操作を間違えたときは、次のように対処してください。正しく「CyberCoach-NX」を起動できたときは、以下の操作を行う必要はありません。

別の画面が表示されたら

「CyberCoach-NX（操作レッスン）」とは別のボタンを押すと、別のソフトが起動されてしまいます。画面の右上角にある ☒ を押すと、間違って起動したソフトの画面を閉じることができます。

1 画面の右上角にある ☒ に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す



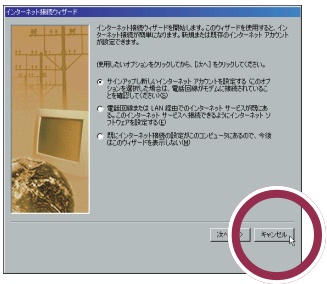
「Active channels へようこそ」の画面が表示されたら

「いいえ」に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す

「インターネット接続ウィザード」画面が表示されたら

「キャンセル」をクリックしてください。インターネットについては、『インターネット入門』で説明していますので、ここではそちらに進む前にこの本を最後まで読んでください。

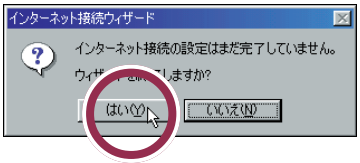
1 「キャンセル」に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す



チェック!!

左の画面と違う画面が表示されることもありますが、画面の右上角に ☒ があれば、同じ操作で画面を閉じることができます。

2 「はい」に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す



突然、画面が真っ暗になってしまった

20 分以上キーボードやマウスに触れないままにしていると、スタンバイ状態になり、画面が真っ暗になります。この場合、次のいずれかの操作をしてください。

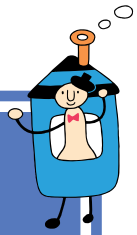
●コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

・キーボードのキーを何か 1 つ押す
・マウスを軽く動かす
・スリープボタンを押す

●ボックスレスタイプの場合

・キーボードのキーを何か 1 つ押す
・マウスを軽く動かす

参照
スタンバイについて→コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合 PART1 の「一時的に作業を中断する（スタンバイ）」（p.5）
ボックスレスタイプの場合 PART2 の「一時的に作業を中断する（スタンバイ）」（p.13）



マウス練習の進め方

CyberCoach-NXは、さまざまなパソコンの操作を画面と音声で説明するソフトです。ここでは、マウス練習の進め方を説明します。

マウスの練習を始める

1 「マウスを使う」に矢印を合わせる

矢印の合ったタイトルに黄色いワクがつく

2 マウスの左ボタンを 1 回押す

この画面が表示され、音声の説明が流れ始める

別の練習が始まってしまったら

間違って「マウスを使う」以外の項目に矢印を合わせて、マウスの左ボタンを押したときも、その説明が流れます。キーボードの【Esc】を押して、CyberCoach-NXの画面に戻してから、「マウスを使う」をやり直してください。

チェック!!

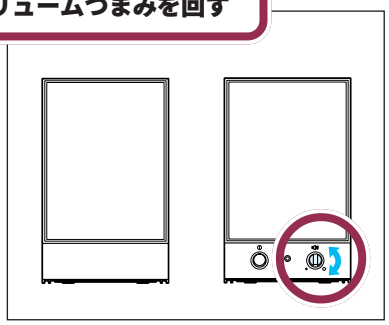
- CyberCoach-NXの画面で「マウスを使う」を押すと、少しの間、電源を入れた直後の画面に戻ったように見えます。左の画面に変わるまで待ってください。
- お使いのマウスと画面中のマウスは形が異なりますが、基本的な操作は同じです。

音量を調節する

●コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

説明の音声がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節できます。

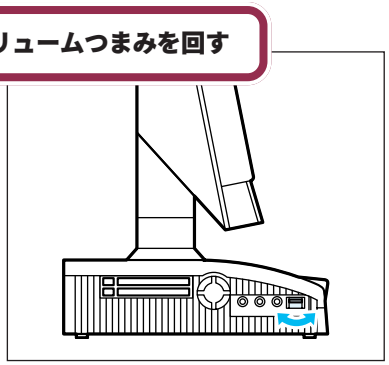
**外付けスピーカの
ボリュームつまみを回す**



右に回すと音が大きく
左に回すと音が小さくなる

●ボックスレスタイプの場合

ボリュームつまみを回す



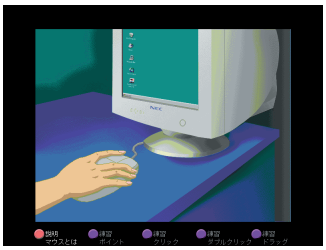
左に回すと音が大きく
右に回すと音が小さくなる

チェック!!

ミニタワータイプで、セットの液晶ディスプレイのスピーカを使用している場合は、液晶ディスプレイのマニュアルをご覧になり音量を調節してください。

画面を見ながら説明を聞く

画面には、ディスプレイとマウスの絵が表示され、マウス操作の説明が流れます。



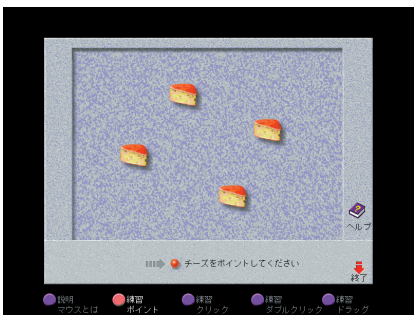
●一通りの説明が終わるまで待つ

ポイント、クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグという基本的なマウス操作の説明が終わるまで、実際のマウスは使えません。操作せずに画面を見ながら説明を聞いてください。

実際にマウスを操作してみる

一通りの説明が終わると、次の画面が表示されます。

練習
ポイント



画面の下に出ている指示に従って、実際にマウスを操作してください。操作を進めると、自動的に次の画面に切り替わります。

練習
クリック

チェック!!

- CyberCoach-NX を使用している間は、キーボードの【Esc】以外のキーを押さないでください。
- お使いのマウスと画面中のマウスは形が異なりますが、基本的な操作は同じです。

チェック!!

しばらく何も操作しないでいると操作をうながす音声が流れます。操作を先に進めると、この音声は止まります。

用語

ポイント

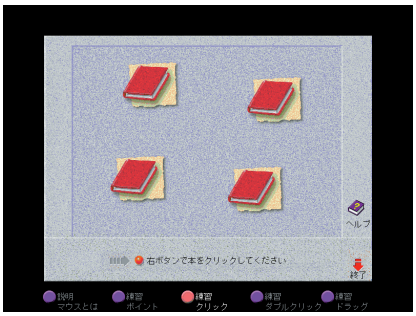
マウスを動かして、画面に表示された絵や記号などに矢印を合わせる操作です。

用語

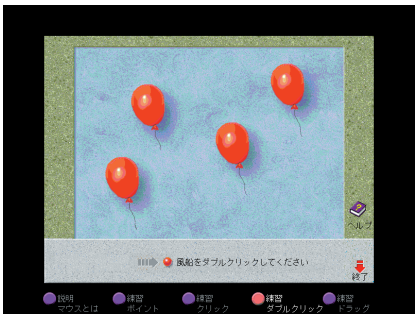
クリック

画面に表示された絵や記号などをポイントして、マウスの左ボタンを１回押す操作です。クリックは、すでに何度も操作しています。CyberCoach-NX を起動するときも、「マウスを使う」を始めるときも、クリックを使いました。

練習
右クリック



練習
ダブルクリック



練習
ドラッグ

●最後まで練習を終わると

ドラッグの練習が終わると、自動的に CyberCoach-NX の画面に戻ります。もう一度マウスの練習をやり直したいときは、「マウスを使う」をクリックしてください。まだ他の項目はクリックしないでください。

用語

右クリック

ウィンドウに表示されたボタンなどに矢印を合わせ、マウスの右ボタンを１回押す操作です。パソコンの操作に慣れてくると、大変便利です。

用語

ダブルクリック

画面に表示された絵や記号などをポイントして、マウスの左ボタンをすばやく２回続けて押す操作です。カチカチとテンポよく押してください。1回目と2回目の間隔があきすぎると、クリックと同じ操作になってしまいます。

用語

ドラッグ

画面に表示された絵や記号などをポイントしたら、左ボタンを押したままマウスを机の上で動かして、適当な場所で左ボタンを離す操作です。画面で何かを動かしたり、大きさを変えたりするときに使います。

チェック!!

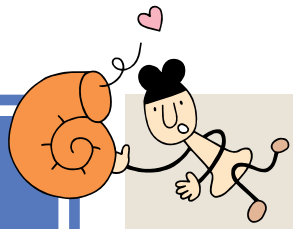
途中で説明をもう一度聞きたいときは

画面左下の「説明マウスとは」の左にある●にマウスポインタを合わせて、マウスの左ボタンを１回押してください。

チェック!!

左利きの人は、マウスの設定を左利き用に変更できます。

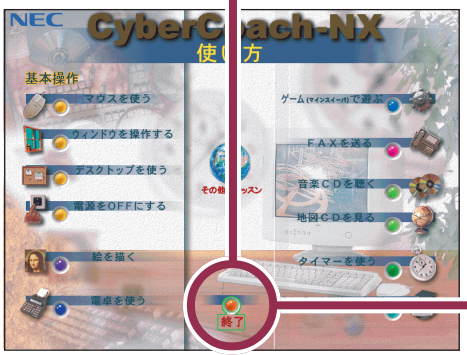
参照
マウスを左利き用に設定するには→『リファレンス』PART2の「マウスのプロパティウィンドウでの設定」



CyberCoach-NXを終わる

マウスの使い方は、理解できたと思います。では、ここでCyberCoach-NXを終了しましょう。

1 「終了」をポイントする



2 ボタンのまわりに緑のワクがついたことを確認して、クリックする

この画面に戻る

これでマウスの練習は終わりです。次のページからの「このPARTのまとめ」を読んで、練習した内容をおさらいしておきましょう。

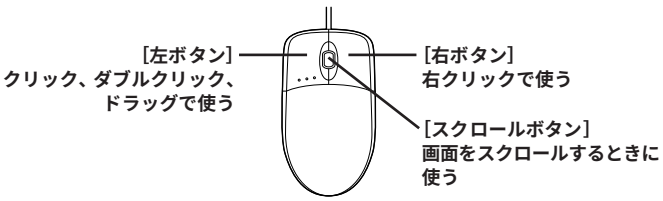
CyberCoach-NXの他のレッスン項目も、マウスの練習と同じように操作を画面で説明しています。時間のあるときに練習してみましょう。

このPARTのまとめ

ここでは、CyberCoach-NXというソフトを利用して、マウスの基本操作を練習しました。マウス操作の基本用語、ポイント、クリック、ダブルクリック、ドラッグは、しっかり覚えてください。

マウスの左ボタンと右ボタン

マウスには3つのボタンが付いています。通常、頻繁に使うのは左のボタンです。左と右を押し間違えると、思った通りに働かないので、慣れないうちは注意が必要です。スクロールボタンについては、PART4の「スクロールしてみる」(p.38)、『リファレンス』PART2の「スクロールボタンを使う」をご覧ください。



ポイント

マウスを机の上で動かして、画面に表示された絵や記号などに矢印を合わせる操作です。

●ポイントすると説明が出ることもある

画面の左下にある「スタート」ボタンをポイントすると、「このボタンから始めます」という説明が出てきます。このように、画面の絵やボタンには、ポイントすると説明が表示されるものがあります(ポイントしても、何も変化が起きないものもあります)。

クリック

画面に表示された絵や記号などをポイントして、マウスの左ボタンを1回押す操作です。

●操作の基本はクリック

クリックは次のようなときに使います。

画面を先に進める

利用したいソフトを選ぶ

ソフトを終わらせる

このPARTのまとめ

ダブルクリック

画面に表示された絵や記号などをポイントして、マウスの左ボタンをすばやく 2 回続けて押す操作です。ダブルクリックを利用した操作は、もう少しパソコンに慣れてくると、パソコンの中に入っているソフトを起動したりデータを調べるときなどに、よく使うようになります。

参照
パソコンの中にあるソフトやデータを見るには→『STEP3 活用』「PART1 デスクトップを使ってみよう」

ドラッグ

マウスの左ボタンを押したまま、机の上でマウスを滑らすように動かして、適当な位置まで来たら、ボタンから指を離すまでの操作です。ドラッグは、画面内での移動や大きさの変更に使います。また、絵を描くためのソフトでは、ドラッグで線を引くこともできます。

参照
画面内の移動やサイズ変更→「PART4 ウィンドウの扱いをマスターしよう」(p.29)
参照
絵を描く→ PART4 の「ペイントで簡単に絵を描く」(p.37)

右クリック

ウィンドウに表示されたボタンなどに矢印を合わせ、マウスの右ボタンを１回押す操作です。パソコンの操作に慣れてくると、大変便利ですが、慣れるまでは覚える必要がありません。

参照
右クリック→『STEP3　活用』PART2 の「ファイルやフォルダの名前を変える」

スクロール

ウィンドウに表示されていない部分を表示させるために、ウィンドウの中を上下左右に動かすことです。マウスのまん中にあるボタン(スクロールボタン)を使って操作することができますが、慣れるまでは覚える必要がありません。

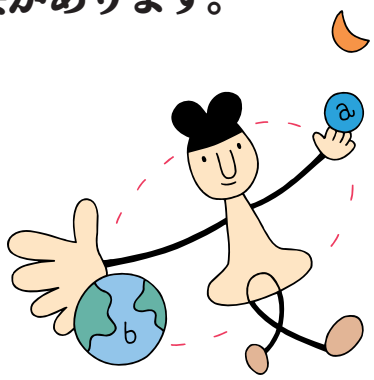
参照
スクロール→ PART4 の「スクロールしてみる」(P.38)、『リファレンス』PART2 の「スクロールボタンを使う」

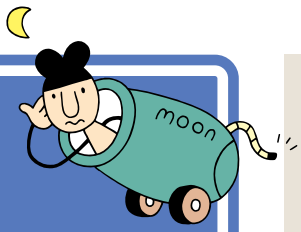
PART

4

ウィンドウの扱いをマスターしよう

「ウィンドウ」とは、ワープロなどのソフトを利用するための窓です。机の上でノートや資料を広げるような感じで、あなたのパソコンの画面を利用していくには、ウィンドウを動かしたり、大きさを自由に変えたりする操作をマスターしておく必要があります。





ランチ-NX は、ソフトの発射台

ランチといっても昼食のことではありません。英語で書くと「launch」、発射するとか打ち上げるという意味の言葉です。ランチ-NX は、このパソコンに入っている、いろいろなソフトを使い始めるための発射台のようなソフトです。

ランチ-NX の画面

パソコンの電源を入れたときに、いつも画面のまん中に表示されるのが、ランチ-NX の画面です。まず、じっくり画面を見て、次の 2 つの部分の場所を確認してください。

グループを選ぶボタンの集まり

ソフトを始めるボタンの集まり

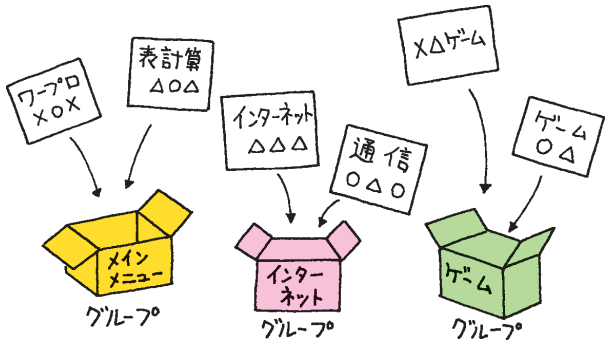
あなたのパソコンのモデルなどによって、細かいところは下の図と異なるかもしれませんが、気にしないでください。

ランチ-NX のメニューは使いやすいように変更することができます。

参照
ランチ-NX のメニューを変更するには→「パソコン探検箱」-「VALUE STAR を使いこなそう」-「パソコンの設定をする」

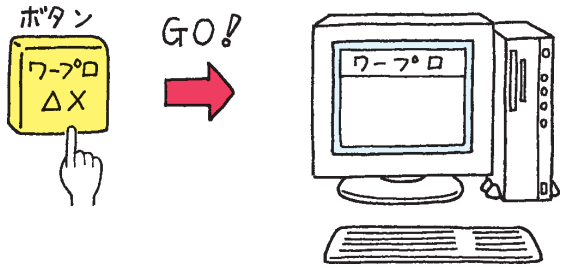
●グループを選ぶボタンの集まり

このパソコンには、たくさんのソフト（アプリケーションやデータ）が入っています。目的のソフトを探すときに苦労しなくてすむように、ソフトは分野別に分類されています。この分類のことを「グループ」と呼んでいます。グループを選ぶときに使うのが、これらのボタンです。



●ソフトを始めるボタンの集まり

前の「グループを選ぶボタン」で目的のグループを選択すると、そのグループに入っているソフトがここに表示されます。ここに表示されたボタンにマウスを使ってポインタを合わせ、クリックすると、そのソフトが始まります。



ポイント

ランチ-NXでグループを選択するときは、左側のボタンから目的のグループのボタンをクリックする。ソフトを始めるときには、右側のボタンから目的のソフトのボタンをクリックする。

たとえば「メインメニュー」というグループには、ワープロや表計算など、よく使うアプリケーションが入っています。「インターネット＆パソコン通信」というグループには、インターネットやパソコン通信用のアプリケーションが入っています。「ホーム＆ゲーム」というグループには、カラオケやゲームのアプリケーションが入っています。
また、「ユーザ」というグループには、最初は何も入っていません。あなたがアプリケーションを組み込んだとき、ボタンを追加できます。

ランチ-NXの画面が見えないときは

パソコンの電源を入れると、ランチ-NXは常に起動されています。ランチ-NXの画面が見えない場合は、次のように対処してください。

他の画面の下に隠れているとき

ワープロなど、他のソフトを利用している途中で、ランチ-NXの画面を見るには、画面の一番下にある「ランチ-NX」をクリックします。

1 「ランチ-NX」をクリックする

CyberCoach-NXを利用しているとき

マウスを使う練習など、CyberCoach-NXを利用している間は、ランチ-NXが使えなくなります。CyberCoach-NXを終了させてください。

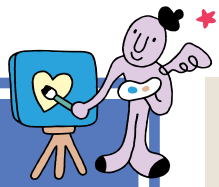
参照
CyberCoach-NXを終了させるには→PART3の「CyberCoach-NXを終わる」(p.26)

ランチ-NXの画面が見あたらないとき

次の画面のように、ランチ-NXの画面がどこにも見えないときは、画面が最小化されています。画面の一番下にある「ランチ-NX」をクリックしてください。

1 「ランチ-NX」をクリックする

参照
最小化について→このPARTの「ウィンドウを最小化する」(p.36)

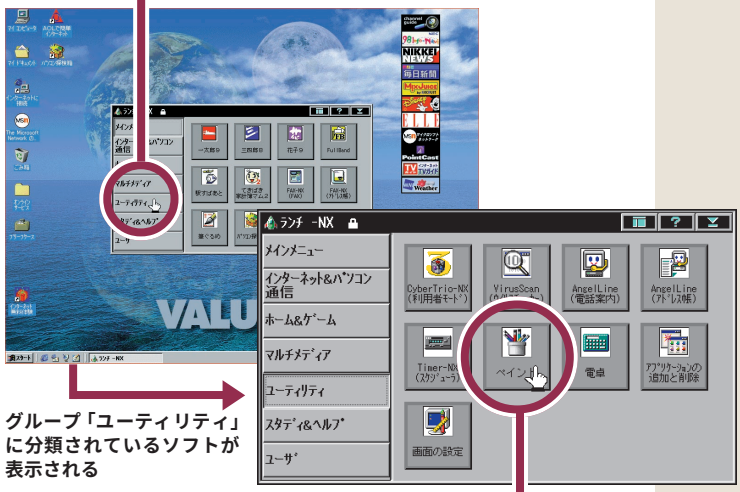


ペイントを始める

それでは、ペイントという絵を描くためのソフトを使って、ウィンドウを画面に表示させてみます。

ランチ -NX から「ペイント」を始める

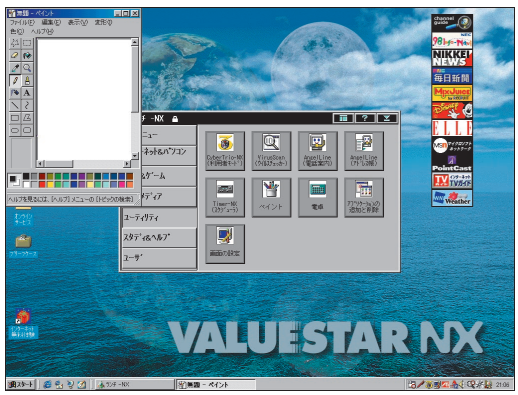
1 「ユーティリティ」をクリックする



グループ「ユーティリティ」に分類されているソフトが表示される

2 「ペイント」をクリックする

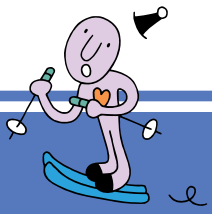
「ペイント」のウィンドウが表示される



ランチ -NX の上に重なるようにして表示されたものが、「ペイント」のウィンドウです。

用語 ウィンドウ

ペイントを起動すると、新しい画面が開くように見えます。このように画面の中に開く枠付きの画面のことを「ウィンドウ」と呼びます。このパソコンでは、同時に複数のウィンドウを開いて、さまざまなソフトを扱えるようになっています。たとえば、机の上で会議のときのメモをみながら議事録を作るように、複数の書類を同時に見ながら作業を進めていけるわけです。



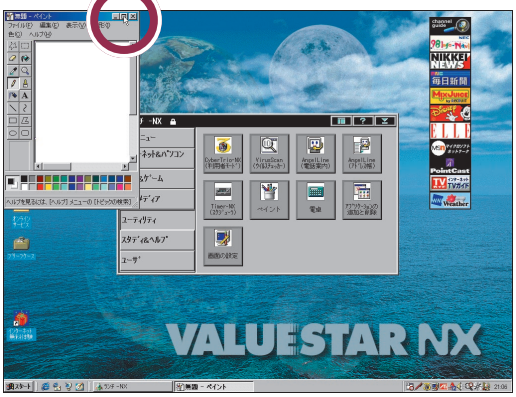
ウィンドウを最大化、最小化する

ウィンドウは、マウスのクリックひとつで画面いっぱいに広げたり、一時的に隠すことができます。練習してみましょう。

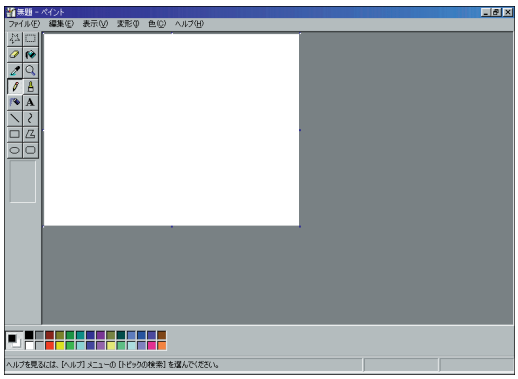
ウィンドウを最大化する

ウィンドウを画面いっぱいの大きさに広げてみましょう。

1 のまん中の をクリックする



クリックすると、ウィンドウが画面いっぱいに広がる



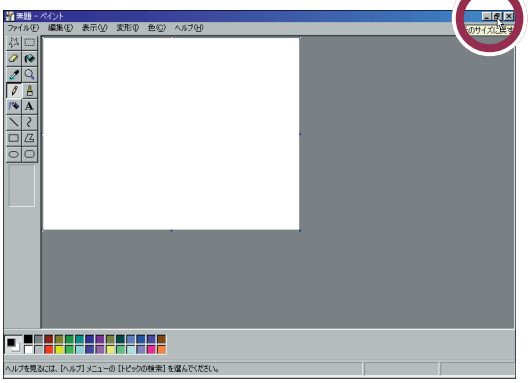
用語

最大化

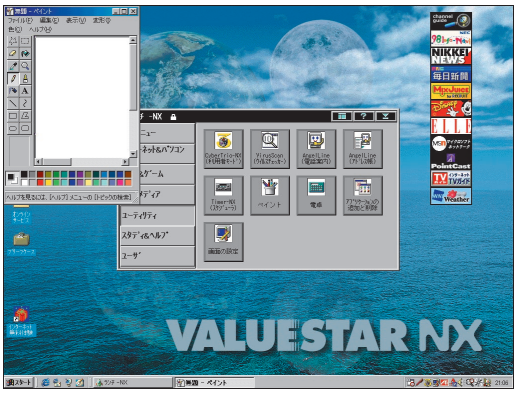
ウィンドウを画面いっぱいに広げること。 をクリックすることで最大化されます。最大化すると は に変わり、 をクリックすると、元の大きさ（最大化する前の大きさ）に戻ります。ソフトウェアによっては起動したときのウインドウが最初から最大化された状態で開くものもあります。

元の大きさのウィンドウに戻しましょう。

2 のまん中の をクリックする



ウィンドウが元の大きさに戻る

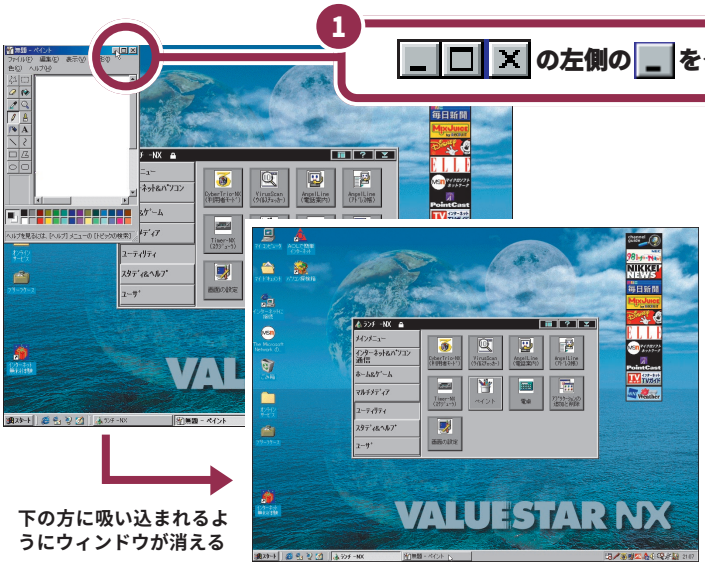


ポイント

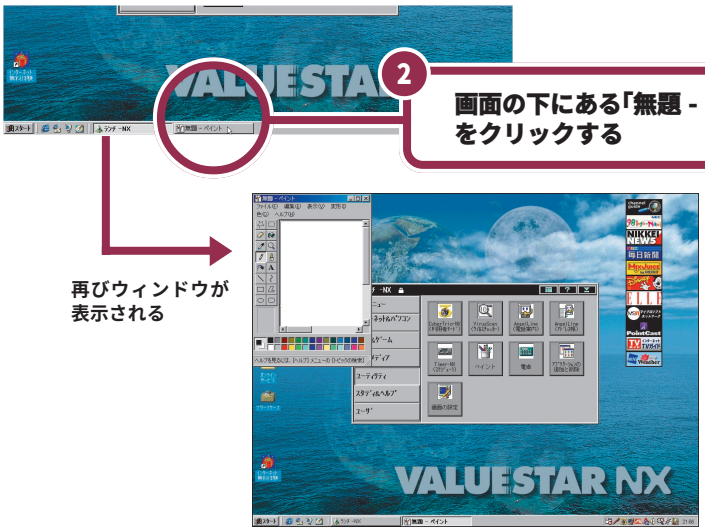
ウィンドウを画面いっぱいに広げたいときは、をクリックする。元の大きさに戻すときはをクリックする。

ウィンドウを最小化する

いちどにたくさんのウィンドウを開いて画面が見えにくくなったときなど、一時的にウィンドウを隠すことができます。



再び、ウィンドウを表示させましょう。



ポイント

ウィンドウを一時的に消したいときは、 をクリックする。消したウィンドウをもう一度表示させたいときは、画面の一番下に表示されている目的のウィンドウ名をクリックする。

用語

最小化

ウィンドウを一時的に隠すこと。 をクリックすることで最小化されます。最小化したウィンドウをもう一度表示するときは、画面の一番下に表示されているボタンに矢印を合わせてクリックします。

最小化したウィンドウは、一時的に隠れているだけです。ワープロなどのソフトを終了したときに、ウィンドウが消えるのとは異なっています。作業を終わるときには、最小化したウィンドウを元に戻し、きちんと終了させるようにしてください。

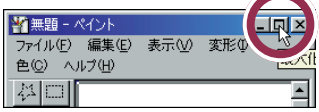
ペイントで簡単に絵を描く

ペイントを使って、簡単な絵を描くことができます。絵が描けたら、「スクロール」の練習をしてみましょう。

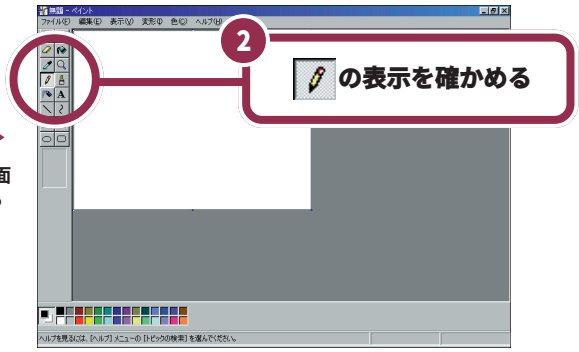
鉛筆ツールを使って好きな絵を描く

「PART3　マウスに慣れよう」で練習した、ドラッグという操作を使って絵を描くことができます。

1 [最小化][最大化][閉じる]のまん中の[最大化]をクリックする

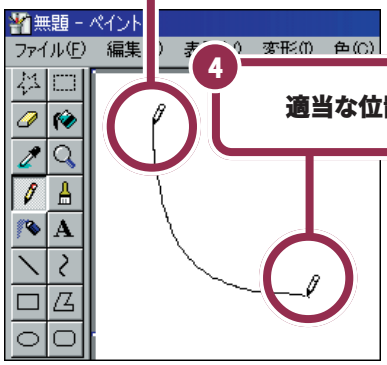


ウィンドウが画面いっぱいに広がる



2 [鉛筆]の表示を確かめる

3 ここでマウスの左ボタンを押し、ボタンを押したままマウスを手前に引きずって、

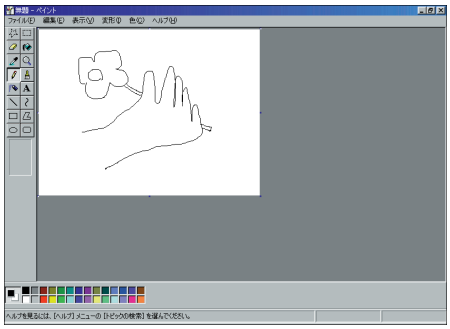


4 適当な位置でボタンを離す

[鉛筆]を「鉛筆ツール」といいます。このボタンが引っ込んだように見えるときは、鉛筆ツールを使って自由な線を引くことができます。
引っ込んでいない場合は、このボタンをクリックしてください。

「ドラッグ」という操作をおさらいしましょう。マウスの左ボタンを押したまま、マウスを机の上ですべらせて、適当な位置でボタンを離す操作が「ドラッグ」です。ドラッグは、ペイントで線を引くときだけでなく、画面上で何かを動かしたり、大きさを変えたりするときにも使います。

5 自由にドラッグして好きな絵を描く

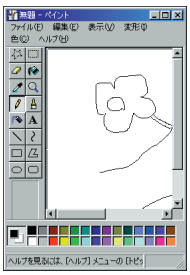


スクロールしてみる

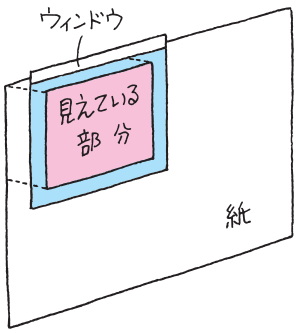
スクロールの練習をするためにウィンドウを元の大きさに戻しましょう。

のまん中の をクリックする

ウィンドウが元の大きさに戻る



今、ウィンドウに見えている部分は、ペイントで用意されているキャンバス（白い紙）の左上端の部分だけになりました。残りの部分は見えなくなりましたね。



見えていない部分を表示させるときには、次のような「スクロール」という操作をします。

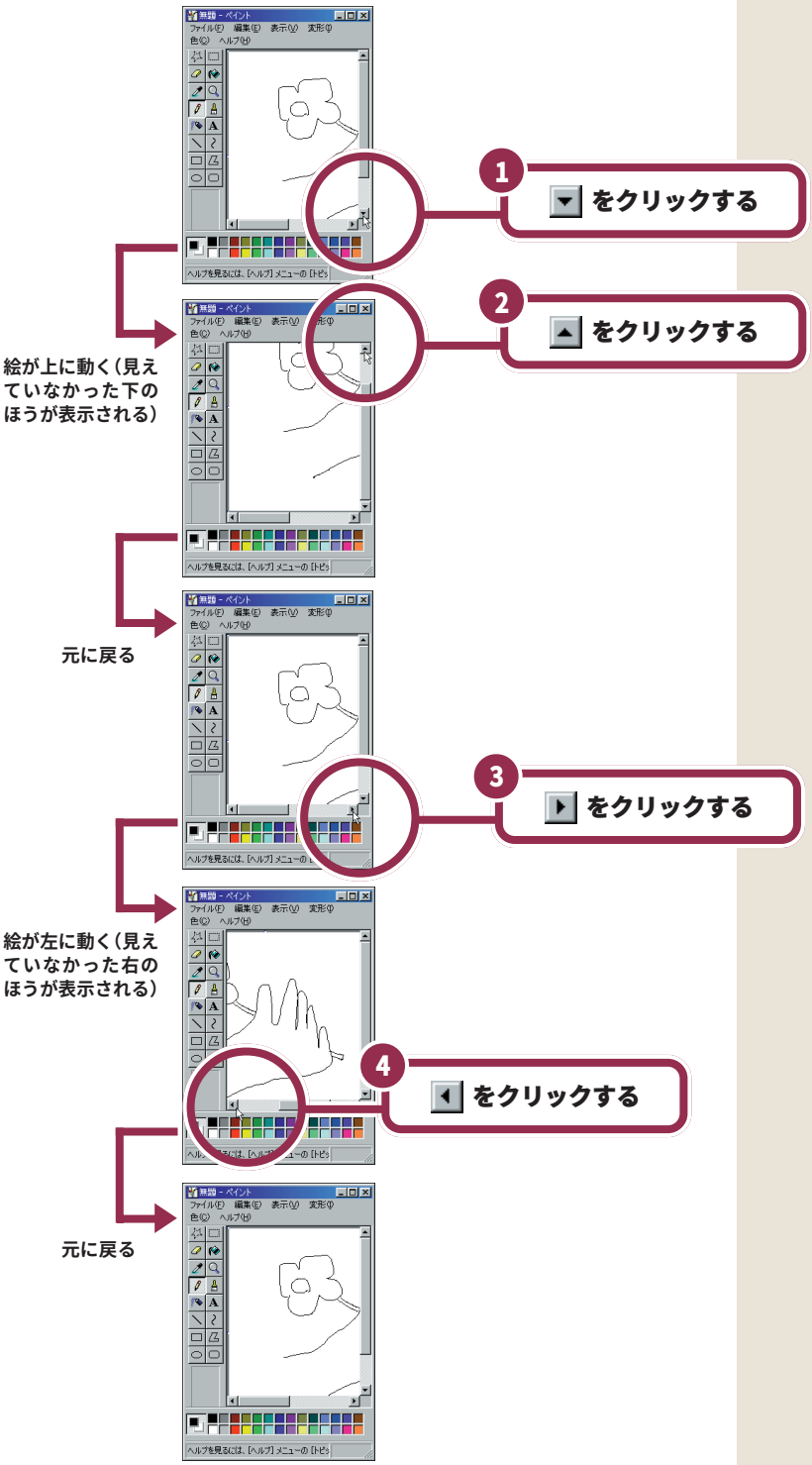
用語

スクロール

ウィンドウに表示されていない部分を表示させるために、ウィンドウの中身を上下左右に動かすこと。

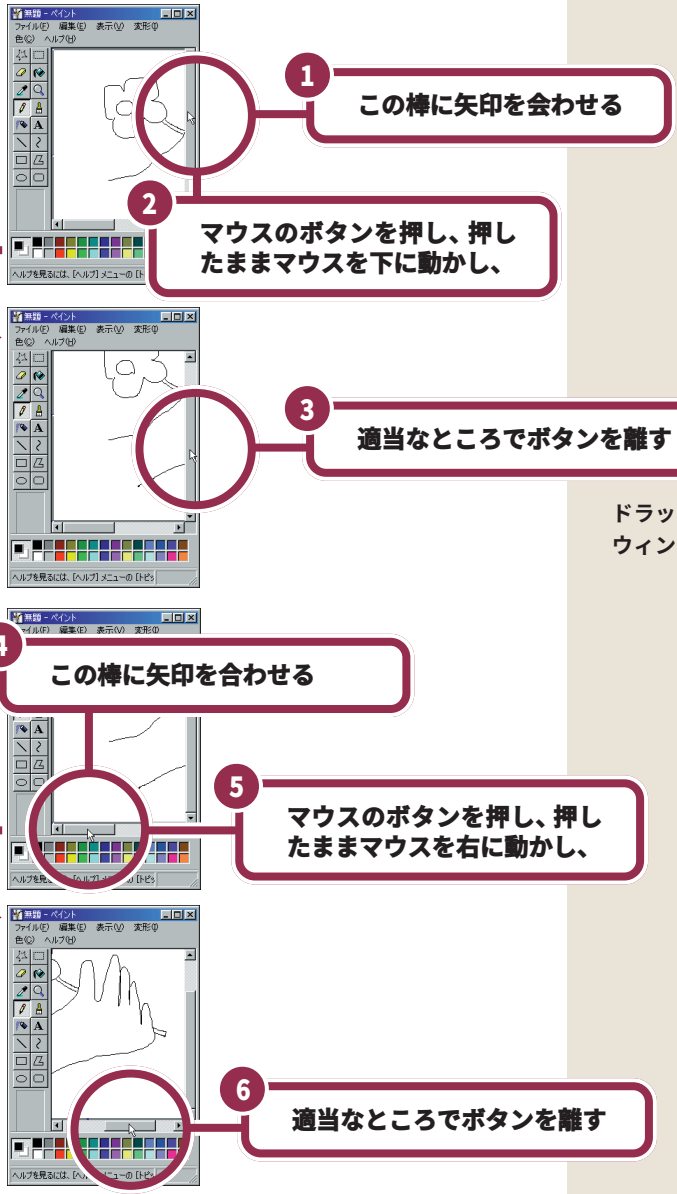
●画面上のボタンを使ったスクロール

ウィンドウに付いているボタンを使って、見える部分（ウィンドウの中に表示される範囲）を動かすことができます。

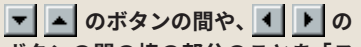


●画面上の棒（スクロールバー）を使ったスクロール

先ほど使ったボタンの間にある棒を使って、見える部分（ウィンドウの中に表示される範囲）を動かす操作です。



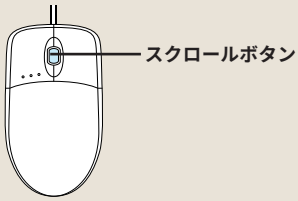
ドラッグ中は、ドラッグに合わせて、ウィンドウがスクロールされます。



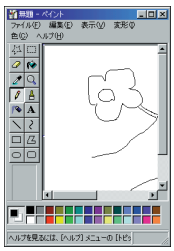
のボタンの間や、のボタンの間の棒の部分のことを「スクロールバー」と呼びます。

●マウスのまん中のボタン（スクロールボタン）を使ったスクロール

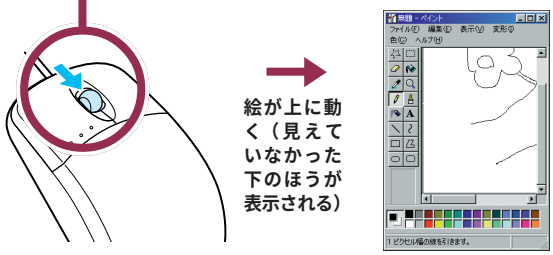
マウスのまん中のボタン（スクロールボタン）を使って、見える部分（ウィンドウの中に表示される範囲）を上下に動かすことができます。



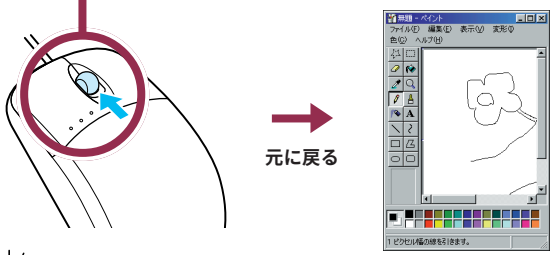
1 スクロールしたいウィンドウ（ここではペイント）が一番前にあることを確かめる



2 マウスのまん中のボタンを手前に引く



3 マウスのまん中のボタンを前方に押す



ポイント

ウィンドウより、キャンバス（絵を描いたり、文字を書く用紙）の方が大きい場合、ウィンドウには紙の一部分だけが表示される。ウィンドウに表示されていない部分を見るときは、スクロールを使う。スクロールをするには次の 3 つの操作法がある。

- をクリックする
- 棒（スクロールバー）をドラッグする
- スクロールボタンを前後に動かす

参照
ウィンドウを一番前にするためには
→この PART の「複数のウィンドウを扱う」（p.44）

チェック!!

スクロールできないときはキャンバス（白い紙）の上でマウスの左ボタンを 1 回押してください。

参照
スクロールマウスについて→『リファレンス』PART2 の「スクロールボタンを使う」

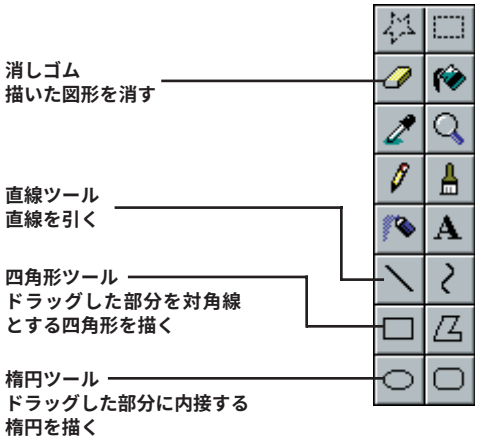
アプリケーションによっては、スクロールボタンによるスクロールができない場合があります。

直線を引いたり、色を付けたりするには

ペイントでは、鉛筆ツールで線を引くだけでなく、直線を引いたり、色を付けたりすることもできます。

ツールを使い分ける

鉛筆ツールの隣に並んでいるボタンをクリックすると、いろいろな線や図形を描くことができます。使いたいツールのボタンをクリックしてから、ウィンドウ内をドラッグして利用します。ここでは、その一部を紹介します。



線の色を変える

色をクリックして選ぶと、線の色を変えることができます。

1 画面左下から使いたい色をクリックする

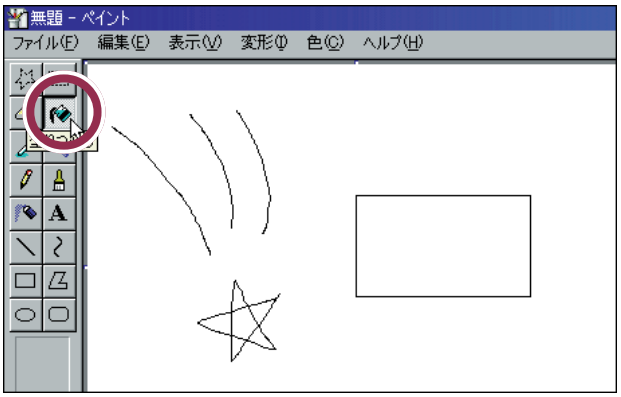
2 鉛筆ツール、直線ツール、四角形ツール、楕円ツールなどをクリックしてから、ウィンドウ内をドラッグする

色を塗りつぶす

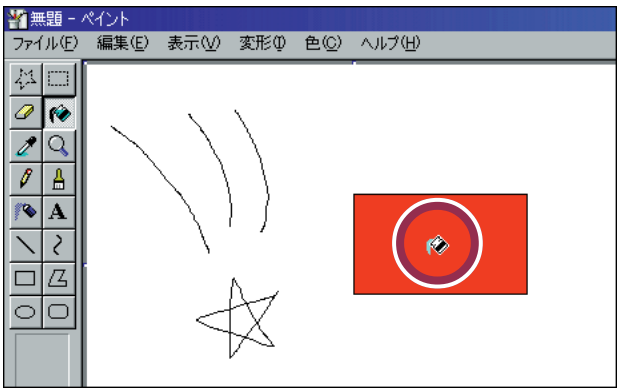
四角形や円などの内側は、好きな色で塗りつぶすことができます。

1 画面左下から使いたい色をクリックする

2 塗りつぶしツールをクリックする



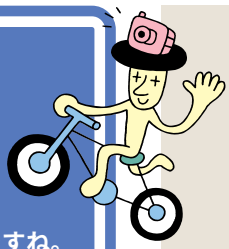
3 塗りつぶしたい図形の内側をクリックする



チェック!!

塗りつぶしツールは切れ目なく線で囲まれた図形の内側で利用します。切れ目があるときは、図形の外側までも塗りつぶされてしまいます。

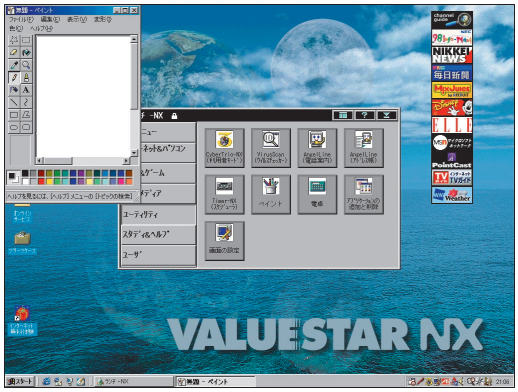
複数のウィンドウを扱う

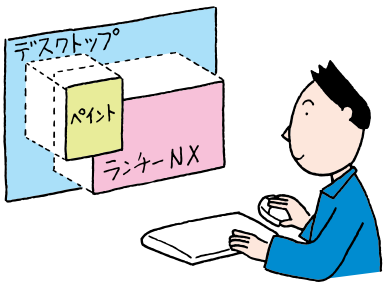


パソコンの画面の大きさは、机の上よりは狭いですね。ここで複数のウィンドウを扱うときは、重ねたり、動かしたり、大きさを変える操作が必要になります。

ウィンドウの重なり方

今、表示されている画面は、「デスクトップ」を背景にして、「ランチ-NX」のウィンドウが表示され、そのさらに手前に「ペイント」のウィンドウが表示されています。



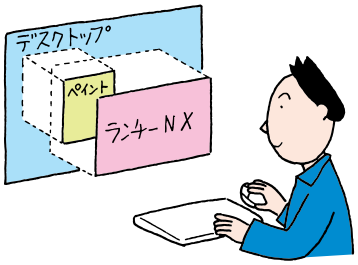


「デスクトップ」は、OS のいろいろな操作をするための画面ですが、ここでその機能を覚える必要はありません。常に一番奥に画面いっぱいの大きさで表示されている「背景」のようなものとして考えてください。

実際にはこんなふうにウィンドウを見ることはできません。あくまでも「横から見るとこんな感じ」という概念図です。

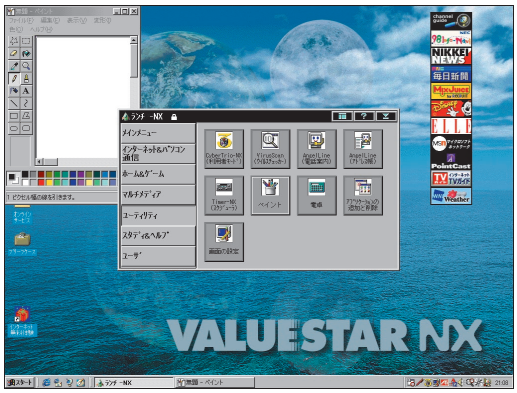
ウィンドウの重なり方を変える

「ペイント」と「ランチ-NX」のウィンドウの重なり方を、次のように変えてみましょう。



1 タスクバーの「ランチ-NX」をクリックする

「ランチ-NX」のウィンドウが一番手前に出る

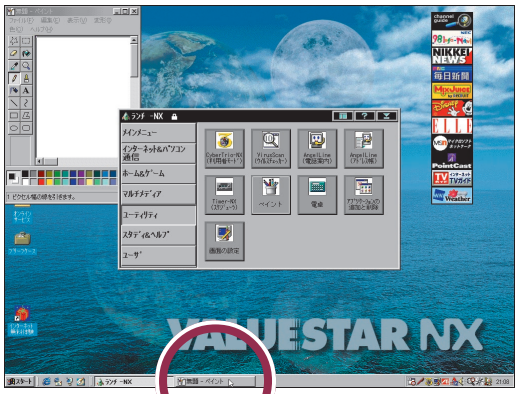


用語

タスクバー

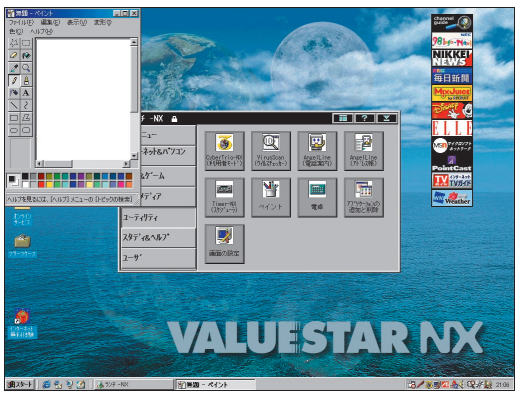
画面の一番下に表示されている横長の棒の部分のこと。
現在表示されているウィンドウ（隠れているウィンドウや一時的に消されているウィンドウも含む）の名前が表示される。目的のウィンドウの名前をクリックすると、そのウィンドウが一番前（手前側）に表示される。

それでは、もう一度「ペイント」のウィンドウを一番前に出してみましょう。



2 タスクバーの「無題 - ペイント」をクリックする

「ペイント」のウィンドウが一番手前に出る



ポイント

ウィンドウには、前後関係（重なり方）がある。
一番奥には、デスクトップという画面が表示される。
あるウィンドウを一番手前に持ってきたいときは、タスクバーに表示されているそのウィンドウ名の部分をクリックする。

ウィンドウを動かす

次に、ドラッグの操作で「ペイント」のウィンドウの場所を動かしてみましょう。

「ペイント」のウィンドウが移動する

ポイント

ウィンドウを動かしたいときは、タイトルバーをドラッグする。

用語

タイトルバー

ウィンドウの一番上に表示されている横長の棒の部分のこと。そのウィンドウの名前が表示されます。

ドラッグ中は、ドラッグに合わせて、ウィンドウが移動します。

チェック!!

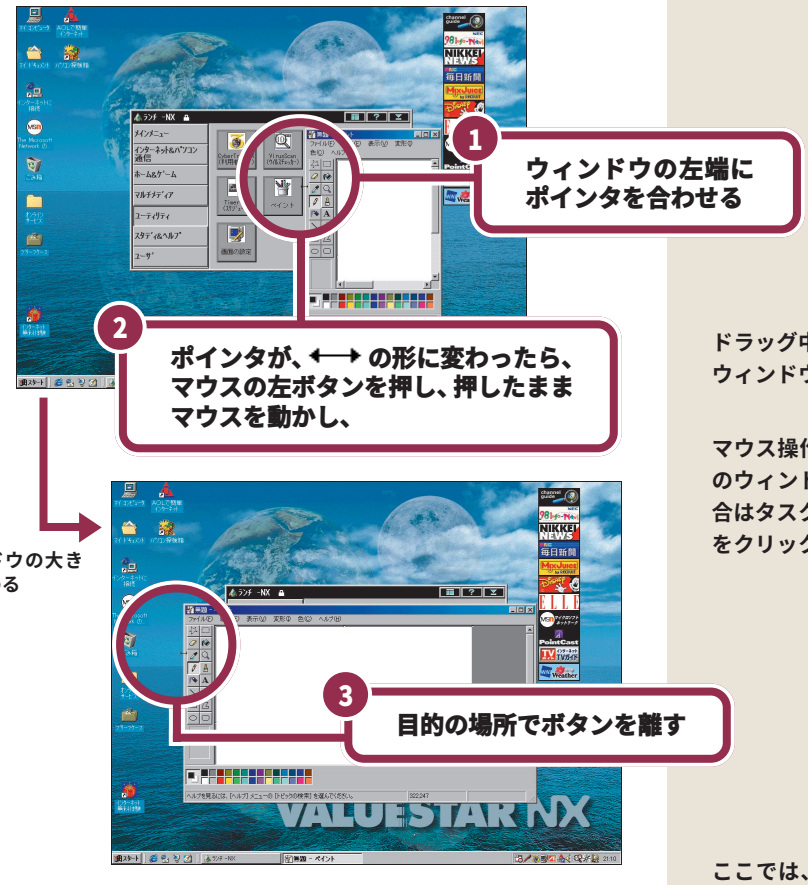
「最大化」されたウィンドウは、動かせません。

参照

最大化について→このPARTの「ウィンドウを最大化する」(p.34)

ウィンドウの大きさを変える

続いて、ドラッグの操作で「ペイント」のウィンドウの大きさを変更してみましょう。



ポイント

ウィンドウの大きさを変えたいときは、ウィンドウの上下左右の枠、または四隅をドラッグする。このとき、ポインタは、↔ ↕ ↘ ↗ の形に変わる。

ドラッグ中は、ドラッグに合わせて、ウィンドウの大きさが変わります。

マウス操作を失敗して、ランチ-NXのウィンドウが前に出てしまった場合はタスクバーの「無題 - ペイント」をクリックすれば戻ります。

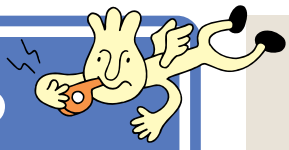
ここでは、ウィンドウの枠の左端の部分を使って、ウィンドウの大きさを変えてみました。
同じようにウィンドウの枠の上端、下端、右端を使ってもウィンドウの大きさを変えることができます。また、四隅の部分を使って、ウィンドウの大きさを縦横同時に変えることもできます。

チェック!!

「最大化」されたウィンドウの大きさを変えることはできません。

参照
最大化について→このPARTの「ウィンドウを最大化する」(p.34)

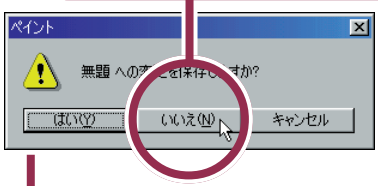
ペイントを終わる



お疲れさまでした。最後にペイントを正しい手順で終了しましょう。

1 の右端の をクリックする

2 「いいえ」をクリックする



「ペイント」が終了する

ここでは、描いた絵を保存しないで終わりますので、「いいえ」をクリックします。

このPARTのまとめ

ここでは、ランチ-NXやウィンドウの基本操作を練習しました。

ランチ-NX

ランチ-NXは、パソコンに入っている、いろいろなソフトを起動するためのアプリケーションです。
まず、グループボタンをクリックして、目的のソフトの入っているグループを選びます。続いて、目的のソフトのボタンをクリックすると、そのソフトが起動します。

ウィンドウの重なり方

画面に複数のウィンドウが表示されたとき、それらのウィンドウには前後関係が生まれます。手前にあるウィンドウは、後ろのウィンドウを隠します。また、一番奥には、常にデスクトップの画面が表示されます。
画面の一番下に表示されているタスクバーを使って、後ろにあるウィンドウを前に出すことができます。

ウィンドウの位置や大きさを変える

ウィンドウの最上部にある青色のタイトルバーをドラッグすることで、ウィンドウの位置を移動することができます。
ウィンドウの枠、あるいは四隅をドラッグすることで、ウィンドウの大きさを変えることができます。

最大化、最小化

ウィンドウを画面いっぱいに広げるときは、 をクリックします。画面いっぱいに広げたウィンドウを元の大きさに戻すときは、 をクリックします。
ウィンドウがじゃまになったときは、 をクリックして、ウィンドウを一時的に隠すことができます。隠したウィンドウをもう一度表示させるときは、タスクバーに表示されている目的のウィンドウ名をクリックします。

スクロール

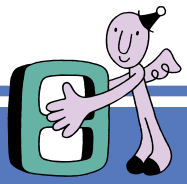
ウィンドウより、紙（絵を描いたり、文字を書く用紙）の方が大きい場合、ウィンドウには紙の一部分だけが表示されます。ウィンドウに表示されていない部分を見る操作のことをスクロールと呼びます。
スクロールには、 をクリックする方法と、スクロールバーをドラッグする方法があります。マウスのスクロールボタンに対応しているアプリケーションでは、マウスのスクロールボタンで操作することもできます。

PART

5

キーボードに慣れよう

パソコンのキーボードを見ると、キーがやたらに並んでいて、「こんなものを使いこなせるんだろうか」って不安になるかもしれません。でも、だいじょうぶ。最初は誰でも1本指でポツポツ打ち始めるのです。「習うより慣れろ」という気持ちで、キーボードへの第一歩を踏み出しましょう。



一太郎を始める

このパソコンには、一太郎というワープロソフトが入っています。ここでは一太郎を使って、キーボードに慣れる練習をします。

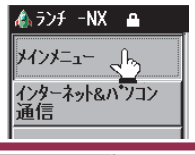
一太郎を使う準備をする

パソコンをお買い上げ後、最初に一太郎を起動するときは、次の手順で使用許諾契約に同意していただく必要があります。

1 一太郎９「J-Sheet（ジェイシート）」を用意する

2 「メインメニュー」に矢印を合わせる

3 矢印が手の形に変わったら、クリックする



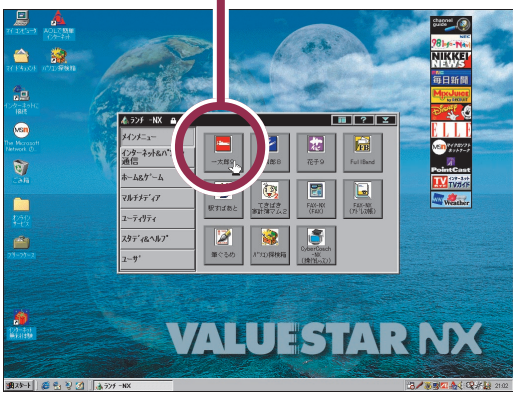
用語

ランチ -NX

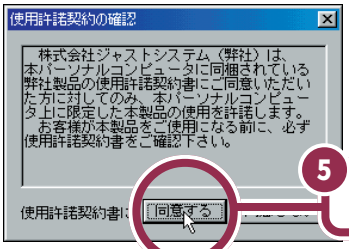
このパソコンに入っているいろいろなソフトを起動するためのアプリケーションです。詳しくは、PART4の「ランチ-NXは、ソフトの発射台」をご覧ください。

「メインメニュー」をクリックすると、画面右側に並んでいるボタンの内容が変わります。

4 「一太郎 9」をクリックする

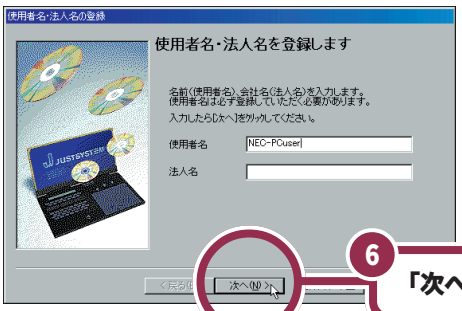


約 5 秒後にこの画面が出る



5 「同意する」をクリックする

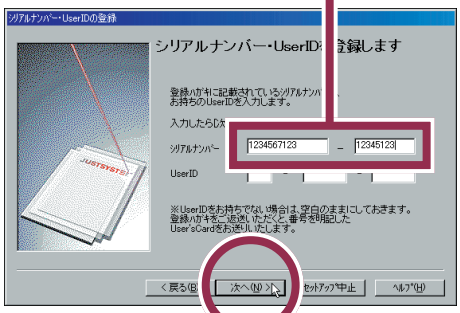
「使用許諾契約の確認」という画面が表示されます。一太郎を使うためには、ソフトウェアを違法にコピーしないという契約に同意する必要があります。同意しない場合は、一太郎を使うことができません。



6 「次へ」をクリックする

「使用者名・法人名を登録します」という画面では、あらかじめ使用者名の欄に Windows 98 セットアップ時に入力した名前が入っています。ここでは、何も変更せずに「次へ」をクリックします。

7 一太郎 9 のシリアルナンバーを打ち込む

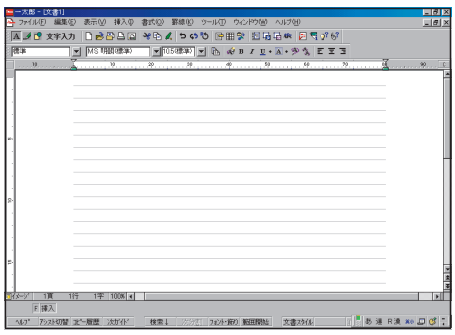


画面内のシリアルナンバーの数字は仮のものです

8 「次へ」をクリックする

9 「完了」をクリックする

10 秒ぐらいで、
一太郎の画面が出る



これで一太郎 9 を使う準備ができました。

ポイント

一太郎モデルでワープロを起動するときは、ランチ-NX の「メインメニュー」から「一太郎 9」をクリックする。お買い上げ後、最初に使うときだけ、使用許諾契約に同意してシリアルナンバーを入力する。

シリアルナンバーは、J-Sheet 上の「登録ハガキ」に記載されています。

シリアルナンバーは、キーボードの数字キーを使って入力します。「ユーザーID」のほうは、空欄のままにしておきます。

シリアルナンバーを打ち込むのは、パソコンを購入して最初に一太郎を起動するときだけです。次からは、ランチ -NX の画面で「一太郎 9」をクリックすると、最初から左の画面が表示されます。

文字の入れ方を決める

文字の入れ方には、2 種類の方法があります。ひとつはローマ字のつづりを打っていく方法で、これを「ローマ字入力」といいます。もうひとつは、直接ひらがなを打つ方法で、こちらは「かな入力」といいます。お買い上げ後、最初に一太郎を起動したときは、ローマ字入力に設定されています。

ローマ字入力とかな入力

ローマ字入力とかな入力にはそれぞれ特長があります。次の説明を読んで自分にあった方を選んでください。

参照
ローマ字のつづり方→付録「ローマ字つづり一覧」(p.186)

●ローマ字入力の特長

【A】を押すと「あ」と打つことができます。【T】【A】と続けて押すと、「た」が入ります。ローマ字入力は、母音(A I U E O)と子音(KGSZTDNHPBMYRW)の組み合わせで日本語を入力します。使うキーの種類は少なくてすみますが、その分、キーを打つ回数は多くなります。次のような人に向いています。

- ローマ字に慣れている人
- インターネットを使いたい人(インターネットでは、アルファベットをよく使います)
- 英単語など、アルファベットを使うことが多い人

●かな入力の特長

【ち】(アルファベットの【A】と同じキー)を押すと、「ち」と打つことができます。ローマ字入力に比べて、使うキーの種類は多くなりますが、その分、キーを打つ回数は少なくなります。キーに書かれた文字をそのまま打つと、ひらがなが打てます。次のような人に向いています。

- ローマ字に慣れていない人
- キー配列を覚えて速くキーを入力したい人

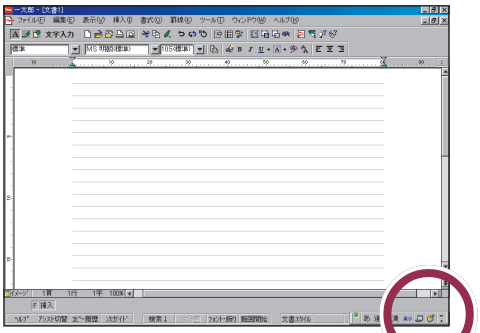
ローマ字入力の人は、そのまま p.59 に進む

パソコンをお買い上げ後、最初に一太郎を起動したときは、あらかじめローマ字入力に設定されています。ローマ字入力で文字を打っていく場合、次の説明を読み飛ばして「ひらがなを打つ(ローマ字入力)」(p.59)に進んでください。

かな入力の人は、次のページに進む

かな入力に切り替えるには

かな入力で文字を打つ場合、以下の手順にしたがって設定を変更してください。初回に以下の操作を行えば、次回以降は、電源を入れ直しても最初からかな入力に設定されています。

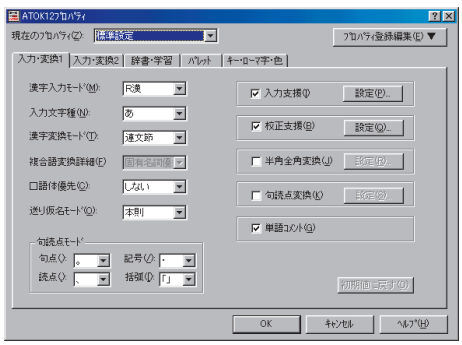


1 日本語入力ツールバーの右端にある ◀ をクリックする

ツールバーが長くなる

2 ツールバーの ▣ をクリックする

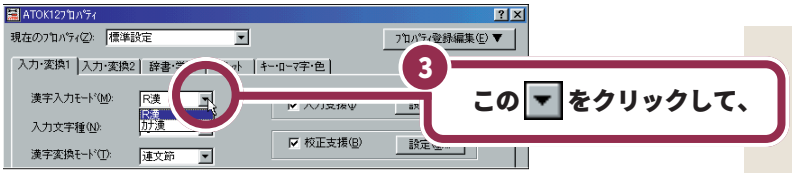
この画面が表示される



チェック!!

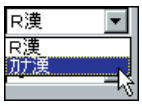
ローマ字入力を利用する場合は、設定を切り替える必要はありません。「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.59）に進んでください。

◀ ボタンは小さいので、1 度でうまくクリックできない場合があります。クリックしてもツールバーが長くならないときは、もう一度クリックしてみてください。

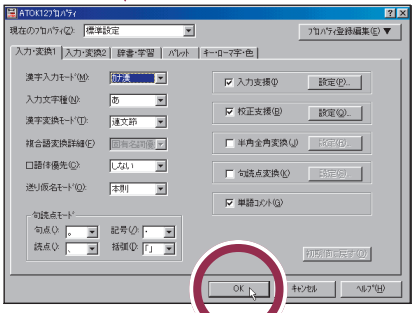


3 この▼をクリックして、

4 マウスを下に動かして、「カナ漢」をクリックする



「R漢」が「カナ漢」に変わる



5 「OK」をクリックする

6 日本語入力ツールバーの右端にある▶をクリックする

ツールバーが短くなる

これで、ローマ字入力からかな入力への切り替えが完了しました。電源を切って入れ直しても、この設定は変わりません。

ポイント

かな入力にするためには、「ATOK12のプロパティ」画面で、「R漢」を「カナ漢」に変更する。

かな入力の練習は、p.62へ進む

チェック!!

「カナ漢」のクリックを忘れずに

▼をクリックしてマウスを下に動かすと、「カナ漢」が青く反転します。ここで、必ずマウスをクリックしてください。マウスのクリックを忘れると、「カナ漢」が反転したように見えても、設定は変更されていません。その時は、もう一度手順3から操作してください。

チェック!!

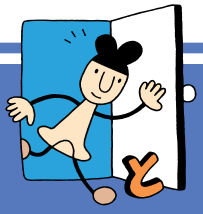
「カナ漢」の確認を忘れずに

「OK」をクリックする前に漢字入力モードが「カナ漢」と表示されているか確認してください。

●かな入力からローマ字入力に切り替えるには

かな入力からローマ字入力に切り替えることもできます。この場合、「かな入力に切り替えるには」(p.56)で説明した手順と同じように操作します。まず、「ATOK12 プロパティ」の画面を出してください。漢字入力モードの欄に「カナ漢」と表示されているはずです。p.57 の手順 4 で「R 漢」をクリックし、残りの手順を同じように進めてください。

ひらがなを打つ（ローマ字入力）

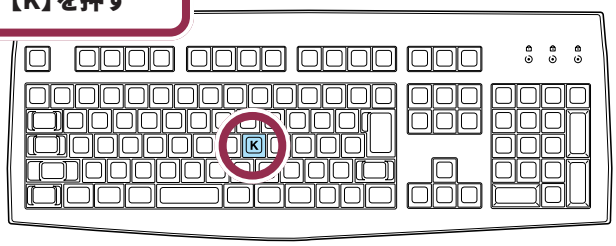


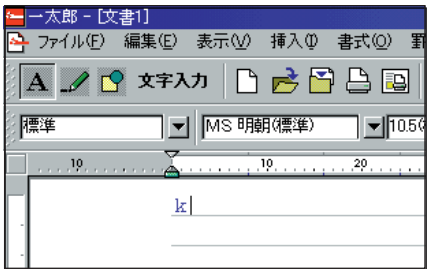
ここは、ローマ字入力で文字を打っていくことに決めた人のためのページです。最初に「こんにちは」と打ってみましょう。

参照
かな入力に設定を変更した人は→このPARTの「ひらがなを打つ（かな入力）」（p.62）

「こんにちは」と打つ

1 【K】を押す

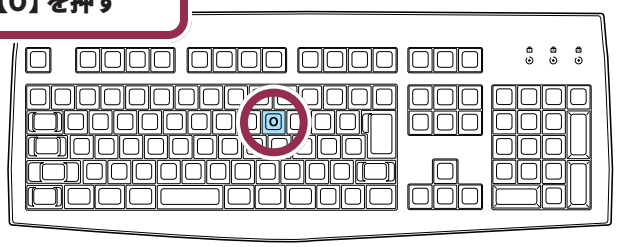


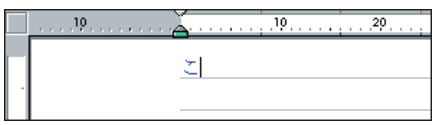


「k」と表示される

用語
カーソル
ワープロのウィンドウ内で点滅している「｜」を「カーソル」と呼びます。カーソルの位置から、右方向に文字が入っていきます。

2 【O】を押す

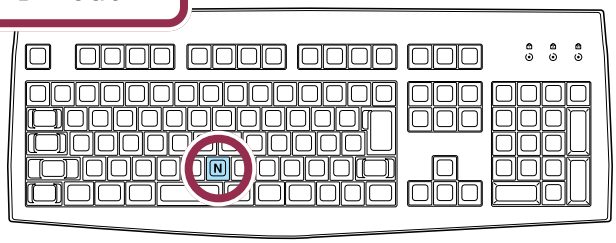




「こ」に変わる

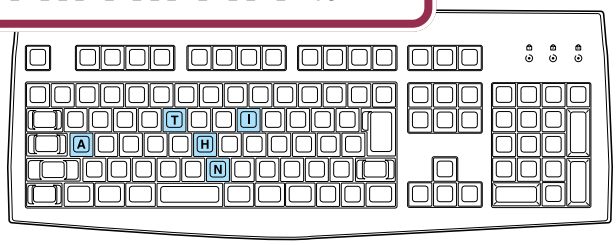
ローマ字入力の場合、「あいうえお（AIUEO）」以外のひらがなは、まず最初のアルファベットが出て、次にひらがなに変わります。

3 【N】を2回押す



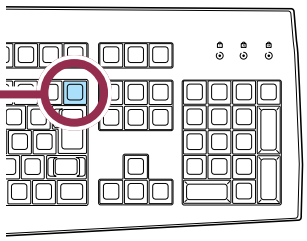
【N】を続けて 2 回押すと「ん」が出る

4 【N】【I】【T】【I】【H】【A】と押す



文字を打ち間違えたら

1 Back Space を押す



最後に打った文字が消える

2 正しい文字を打ち直す

ポイント

打ち間違えたときは、Back Space を押すと、後ろから文字を消すことができる。

【N】を続けて 2 回押すと「ん」が出る

「ん」と打つには、【N】を続けて 2 回押します。

「ち」は、【C】【H】【I】でも OK

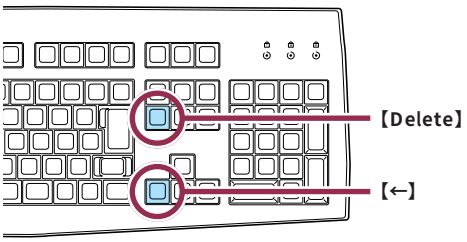
ヘボン式のローマ字つづりでは、「ち」を「CHI」と書きますが、その方法でもだいじょうぶです。

カーソルの左側の文字が消える

【BackSpace】を押すと、カーソルの左側の文字が消えます。
つまり、文字を間違えたらすぐに【BackSpace】を押すようにすれば、消す文字の数が少なくなります。

●途中に間違えた文字があるとき

- 【BackSpace】を何度か押すと、右から順に打った文字が消えます。間違えたところまで戻してから、打ち直してください。
- 【←】(矢印のキー)を押してカーソルを前に戻してから、【Delete】を押す方法もあります。【Delete】を押した場合、カーソルの右側の文字を消すことができます。



【BackSpace】と【Delete】の違い

【BackSpace】は、カーソルの左側の文字を消すことができます。

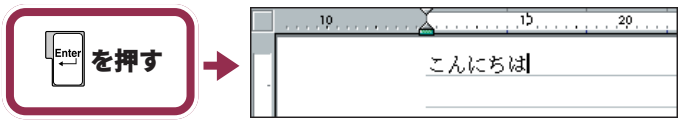
たいに が たに になる

【Delete】は、カーソルの右側の文字を消すことができます。

たいに が たい になる

ひらがなのまま、文字を確定する

一太郎でひらがなを打つと、青い色の文字で表示されます。青い色の文字は、これから漢字に変換できることを意味しています。ここでは、「こんにちは」をひらがなのまま確定します。



青い文字が黒く変わる

黒い色の文字は確定済み

青い色から黒い色に変わったのは、その文字が確定されたことを意味しています。文字の確定は、漢字を打つときにも行います。

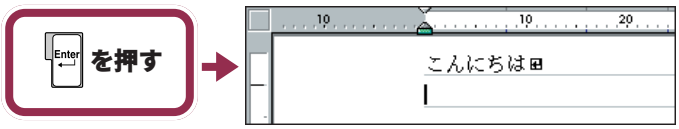
打った文字が後から漢字やカタカナに変わってしまわないようにするための操作を「文字の確定」と呼びます。

ポイント

ひらがなが間違いなく打てたら、Enterを押して、文字を確定する。

改行する

改行するときは、【Enter】を押して、カーソルを次の行の先頭に送ります。



カーソルが次の行の先頭に移動する

改行するために【Enter】を押すと、カーソルより後ろの部分すべてが次の行へ移動します。

ローマ字入力でのひらがなの練習は、これで終わりです。続けて「漢字に変換する」(p.65)に進んでください。

「漢字に変換する」(p.65)に進む

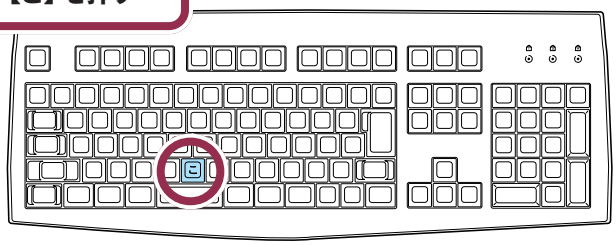
ひらがなを打つ（かな入力）

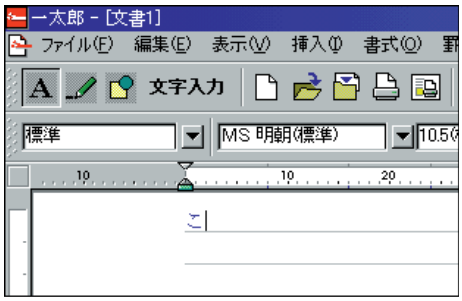
ここは、かな入力に設定を変えた人のためのページです。最初に「こんにちは」と打ってみましょう。

参照
ローマ字入力で使用する人は→このPARTの「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.59）

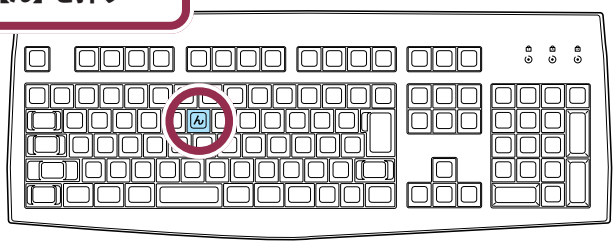
「こんにちは」と打つ

1 【こ】を押す





2 【ん】を押す

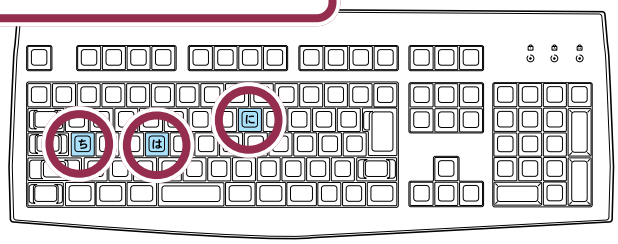


用語

カーソル

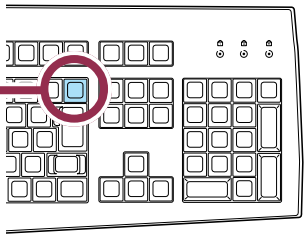
ワープロのウィンドウ内で点滅している「｜」を「カーソル」と呼びます。カーソルの位置から、右方向に文字が入っていきます。

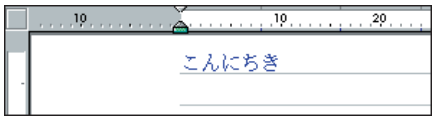
3 【に】【ち】【は】と押す



文字を打ち間違えたら

1 Back Space を押す





最後に打った文字が消える

2 正しい文字を打ち直す

ポイント

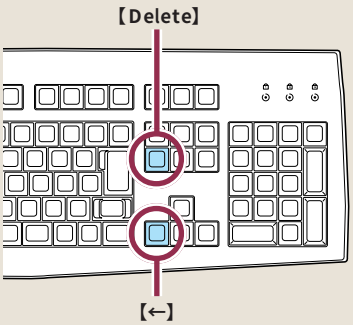
打ち間違えたときは、Back Space を押すと、後ろから文字を消すことができる。

●途中に間違えた文字があるとき

- 【BackSpace】を何度か押すと、右から順に打った文字が消えます。間違えたところまで戻してから、打ち直してください。
- 【←】(矢印のキー)を押してカーソルを前に戻してから、【Delete】を押す方法もあります。【Delete】を押した場合、カーソルの右側の文字を消すことができます。

カーソルの左側の文字が消える

【BackSpace】を押すと、カーソルの左側の文字が消えます。
つまり、文字を間違えたらすぐに【BackSpace】を押すようにすれば、消す文字の数が少なくなります。



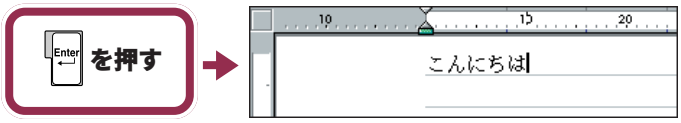
【BackSpace】と【Delete】の違い

【BackSpace】は、カーソルの左側の文字を消すことができます。
たい|こ が たに になる

【Delete】は、カーソルの右側の文字を消すことができます。
たい|こ が たい になる

ひらがなのまま、文字を確定する

一太郎でひらがなを打つと、青い色の文字で表示されます。青い色の文字は、これから漢字に変換できることを意味しています。ここでは、「こんにちは」をひらがなのまま確定します。



青い文字が黒く変わる

打った文字が後から漢字やカタカナに変わってしまわないようにするための操作を「文字の確定」と呼びます。

ポイント

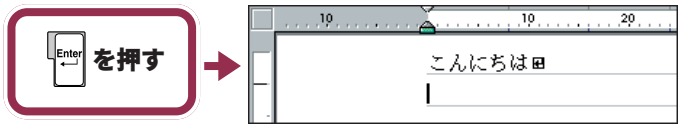
ひらがなが間違いなく打てたら、Enter を押して、文字を確定する。

黒い色の文字は確定済み

青い色から黒い色に変わったのは、その文字が確定されたことを意味しています。文字の確定は、漢字を打つときにも行います。

改行する

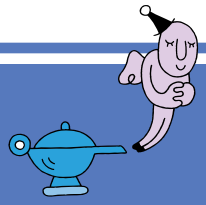
改行するときは、【Enter】を押して、カーソルを次の行の先頭に送ります。



カーソルが次の行の先頭に移動する

改行するために【Enter】を押すと、カーソルより後ろの部分すべてが次の行へ移動します。

漢字に変換する

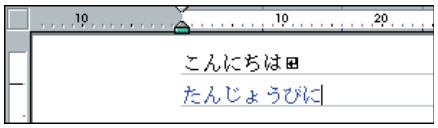


今度は、漢字を混ぜて「誕生日に」と打ってみます。

「誕生日に」と打つ

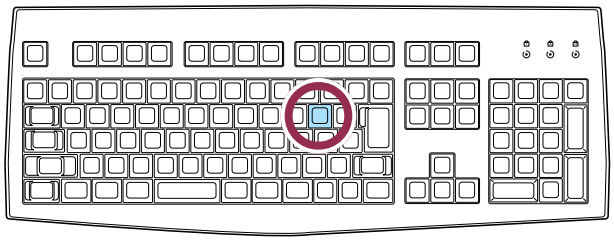
漢字を打つときも、最初はひらがなで打っていきます。ローマ字入力の方は、右側のつづりを参考にしてください。かな入力の方は、「じ」や小さい「ょ」を打つ方法を説明していますので、参考にしてください。

1 「たんじょうびに」とひらがなで打つ



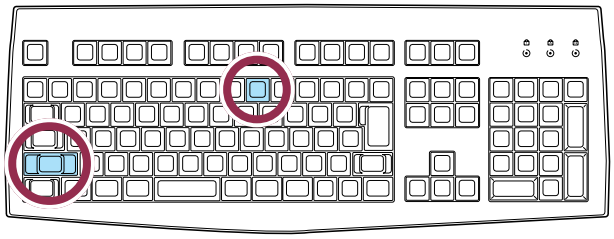
●「じ」(濁音)の打ち方：かな入力

「し」に続けて濁点のキーを押します。同じようにして「び」も打つことができます。



●小さい「ょ」(拗音)の打ち方：かな入力

【Shift】を押したまま、【よ】を押します。同じようにして小さい「ゃ」「ゅ」も打つことができます。



マイペースで OK！

ここからは、ローマ字入力もかな入力も共通の説明です。文字キーの位置は、自分でキーボードから見つけてください。慣れないうちは、キーを探すのに時間がかかるかもしれません。ゆっくり、マイペースで操作してください。

ローマ字入力の場合

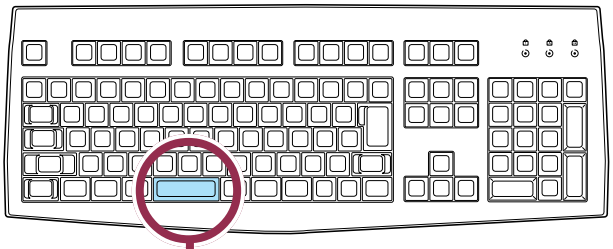
【T】【A】【N】【N】【Z】【Y】【O】【U】【B】【I】【N】【I】

「JO」でも、「じょ」と打てる。

「じょ」を「ZYO」と打つ代わりに、「JO」と打つこともできます。ローマ字入力の方は、付録の「ローマ字つづり一覧」(p.186)を参考にしてください。

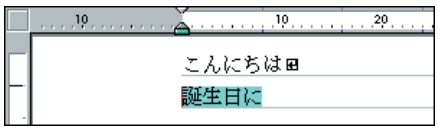
かな入力の場合

【た】【ん】【し】【゛】【Shift】＋【よ】【う】【ひ】【゛】【に】



2 【スペース】を押す

漢字に変換され、文字の上に青い帯がかかる



青い帯がかかった文字は、まだ変換が確定していないことを示します。

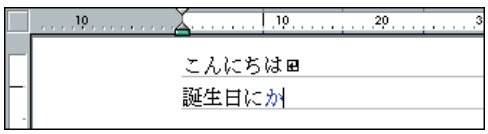
ポイント

漢字に変換するには、ひらがなを打ってから、【スペース】を押す。

漢字に変換するには【変換】も使用できますが、ここでは【スペース】を使用して説明しています。

「会食をします」と打つ

1 「か」とひらがなで打つ



「誕生日に」が黒い色に変わる

ローマ字入力の場合

【K】【A】

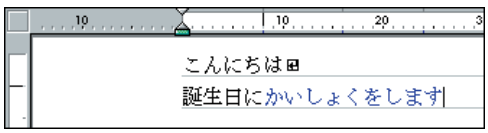
かな入力の場合

【か】

●正しく変換されたときは、続けて次の文字を打つと確定できる

「会食をします」の先頭の文字（か）を打ったところで、「誕生日に」が黒い文字に変わりました。【スペース】を押して正しい漢字に変換されたときは、次の文字を続けて打つと、直前の変換が確定されます。

2 続けて「いしょくをします」とひらがなで打つ



ローマ字入力の場合

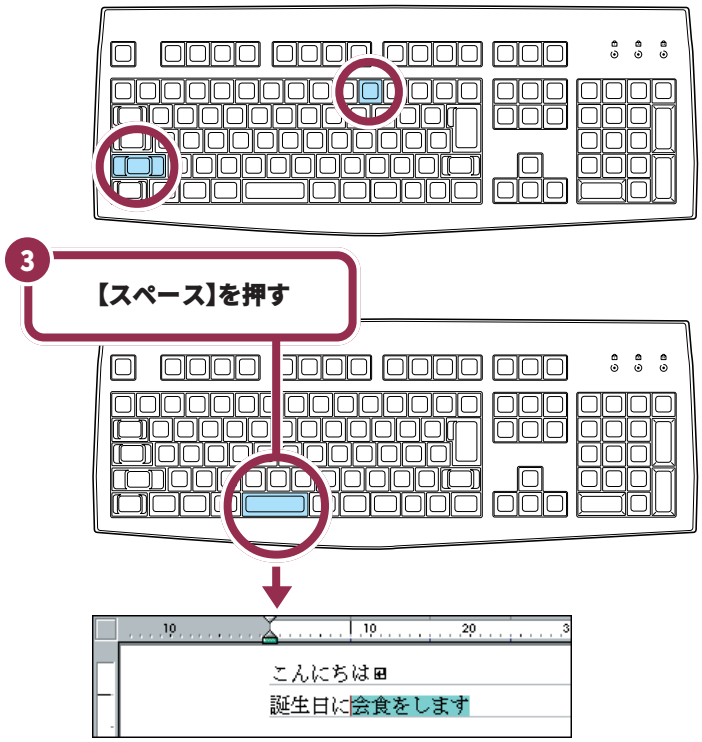
【I】【S】【Y】【O】【K】【U】【W】【O】【S】【I】【M】【A】【S】【U】

かな入力の場合

【い】【し】 【Shift】＋【よ】 【く】【Shift】＋【わ】 【し】【ま】【す】

●「を」の打ち方：かな入力

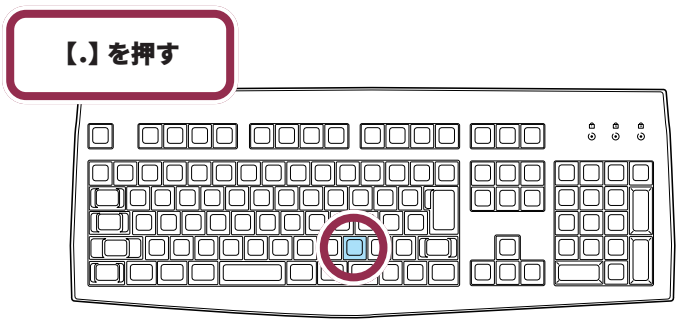
【Shift】を押したまま、【わ】を押します。「っ」「ぁ」などの小さな文字も、同じようにして打つことができます。



「。」を打つ

「。」（句点）や「、」（読点）は、頻繁に使う記号なので、キーボードから直接打てるようになっています。ローマ字入力の場合とかな入力の場合で打ち方が違います。

●「。」の打ち方：ローマ字入力

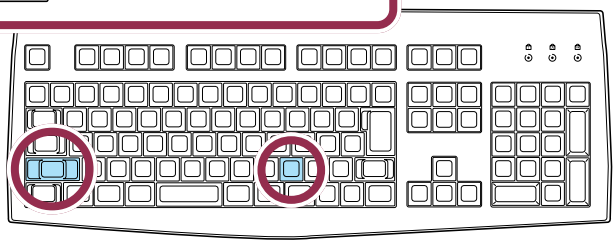


ローマ字入力では、ピリオドのキーを押す

「。」を打つと、「会食をします」が確定します。

●「。」の打ち方：かな入力

Shiftを押したまま【る】を押す

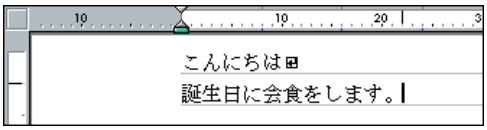


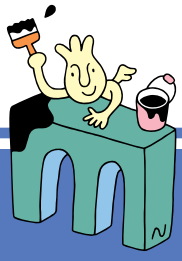
かな入力では、【Shift】を押したまま【る】を押す

「。」を確定する

「。」や「、」を打ったあとも、文字の確定が必要です。ひらがなで「こんにちは」と打ったときと同じように、【Enter】を押して確定します。

Enterを押して、確定する

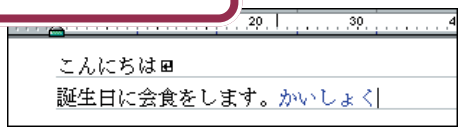




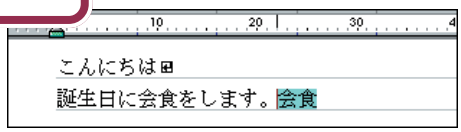
同音語を見る

「かいしょく」という読みに対応する単語は、他にも「快食」「海食」「解職」などがあります。それらの単語に変換する方法も練習しておきましょう。

1 「かいしょく」とひらがなで打つ

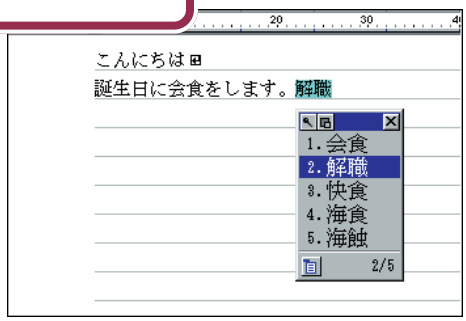


2 【スペース】を押す

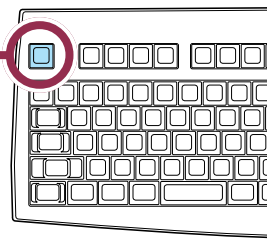


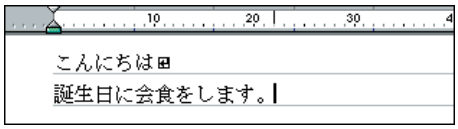
3 もう一度【スペース】を押す

「かいしょく」の同音語の一覧が表示され、2番目の候補「解職」が反転する



4 いまは同音語を見るだけなので、Esc を押す





候補の一覧の下に「2/5」と出ているのは、「かいしょく」という読みで変換できる単語が5種類あることを意味しています。同音語の候補が10種類以上あるときは、一覧の右下に ▼▼ が表示されます。▼▼ をクリックすると、候補の続きを見ることができます。

チェック!!

一覧に表示される候補の順番は、本書の例と異なることがあります。これは、新たな漢字を変換するたびに、次回からその漢字を最初に表示するように作られているためです。画面の表示がこのマニュアルと違っていても故障やトラブルではありません。

●【スペース】を 2 回押すと、同音語の候補が表示される

ここで練習したように、【スペース】を 2 回続けて押すと、打ったひらがなと読みが同じ単語が一覧に表示されます。この一覧から目的の単語をクリックするか、キーボードから単語の番号を押すと、変換が完了します。

●一覧から単語を選んだときは、すぐに確定する

【スペース】を押して一度で正しい漢字に変換されたときは、次の文字を続けて打って文字を確定させました。一覧から単語を選んだときは、同時に変換が確定されます。【Enter】を押す必要はありません。

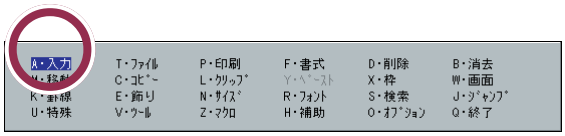
●入力を取り消すときは、【Esc】を押す

青い文字で表示されたひらがなや、青い帯が表示された漢字は、【Esc】を押すと、消すことができます。ただし、変換が確定して文字が黒く表示されているときには、【Esc】を押して入力を取り消すことはできません。

こんなときは

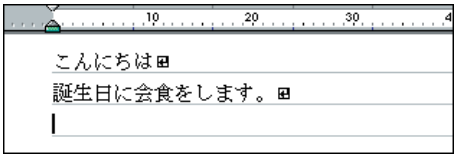
間違って【Esc】を 2 回押してしまったときや、文字が確定してから【Esc】を 1 回押したときは、次の画面がウィンドウの左下に出てきます。「A・入力」をクリックすると、消すことができます。

1 「A・入力」をクリックする



改行する

Enter を押す

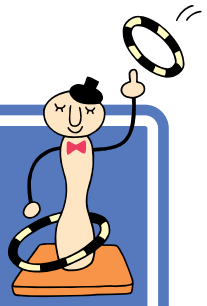


カーソルが次の行の先頭に移動する

2 番目の候補を選ぶときは【Enter】でも OK

同音語の候補一覧が表示されたときは、2 番目の候補が反転しています。ここで【Enter】を押すと、2 番目の候補が確定します。

左の画面は、以前から一太郎を利用している人向けに表示される機能一覧です。はじめて一太郎を使う人には不要な画面なので、消してしまいましょう。



カタカナを打つ

今度はカタカナを打ってみましょう。打ち込む文字の種類を変えるときは、画面右下にある、「ツールバー」を使います。

ツールバーを確認する

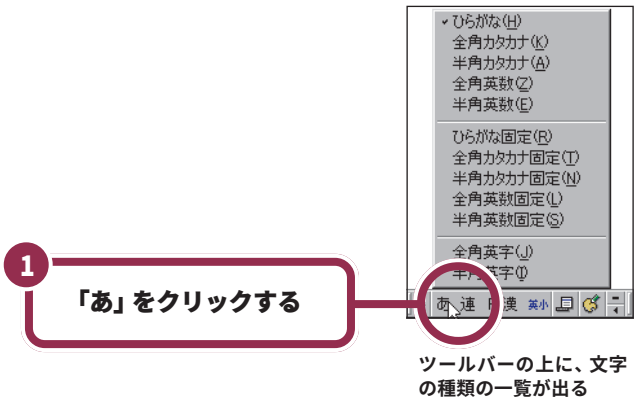
画面の右下には次の表示があります。これを「ツールバー」と呼びます。いま、どんな文字が打てる状態なのか、このツールバーを見るとわかります。現在は、ひらがなが打てる状態なので「あ」と表示されています。

現在打てる文字の種類が表示される

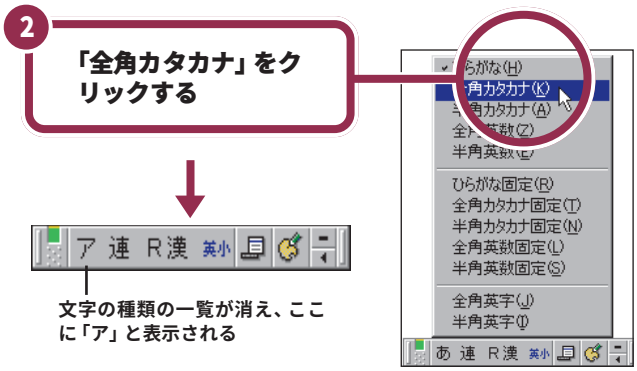
かな入力のときは、ここに「カナ漢」と表示される

カタカナが打てるようにする

カタカナを打つには、ツールバーを使って文字の種類を切り替えます。



ツールバーの上に、文字の種類の一覧が出る



文字の種類の一覧が消え、ここに「ア」と表示される

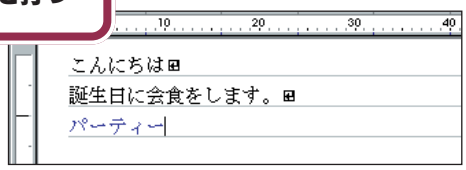
これで、打てる文字の種類がひらがなからカタカナに切り替わりました。

文字の種類がたくさんあるように見えますが、慣れないうちは全部を覚える必要はありません。

カタカナには、「全角カタカナ」と「半角カタカナ」の2種類があります。ここでは、「全角カタカナ」を使って練習します。「半角カタカナ」を使うと、通常の半分の幅のカタカナを打つことができます。

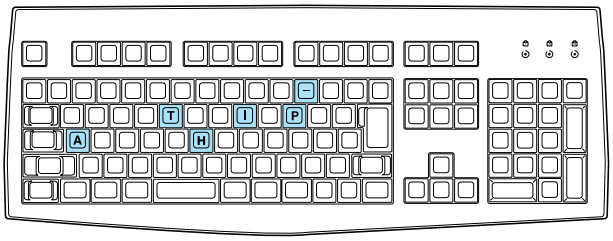
「パーティー」と打つ

1 「パーティー」と打つ



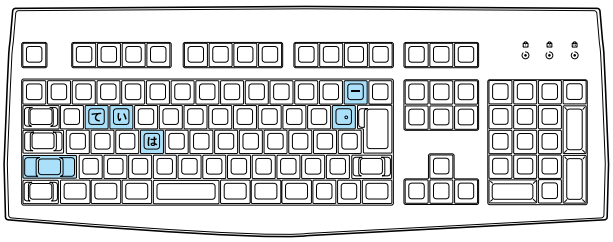
●「パーティー」の打ち方：ローマ字入力

【P】【A】【-】【T】【H】【I】【-】

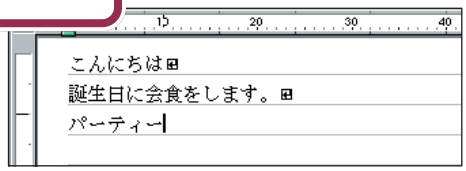


●「パーティー」の打ち方：かな入力

【は】【゜】【ー】【て】【Shift】+【い】【ー】



2 Enter を押して確定する



「ー」（長音）：ローマ字入力

［ー］を押します。

「ティ」：ローマ字入力

【T】【H】【I】と押します。
【T】【E】【L】【I】と押しても、「ティ」と打つことができます。

「パ」（半濁音）：かな入力

「ハ」に続けて、［゛゜］を押します。

「ー」（長音）：かな入力

［ー］を押します。

「ィ」の打ち方：かな入力

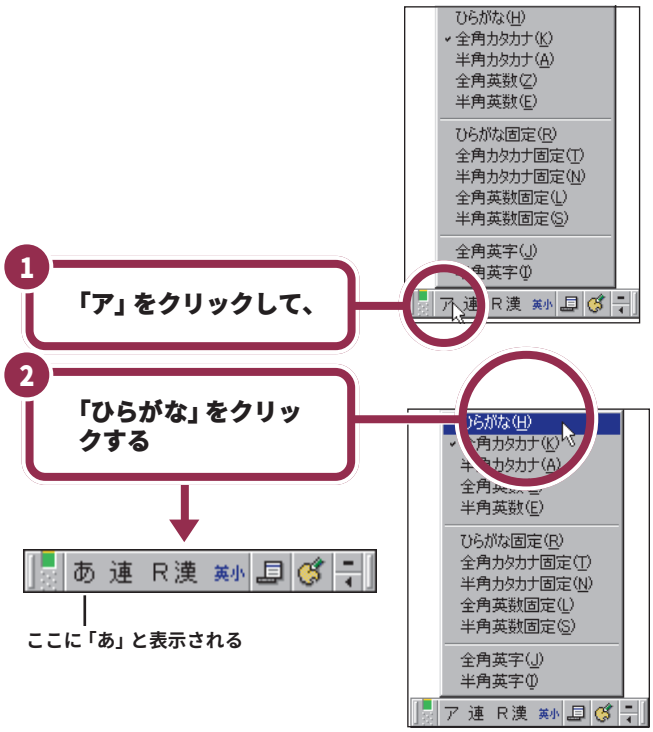
【Shift】を押したまま、【い】を押します。

漢字と同じようにカタカナも変換できる

「パーティー」や「ディナー」など、日本語の中に定着した外来語は、ひらがなを打って【スペース】を押してもカタカナに変換できます。

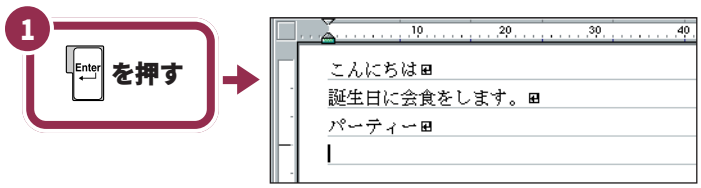
ひらがなが打てる状態に戻す

もう一度ツールバーを使って、ひらがなが打てる状態に戻します。

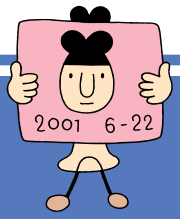


これで、打てる文字の種類がひらがなに切り替わりました。

改行する



カーソルが次の行の先頭に移動する

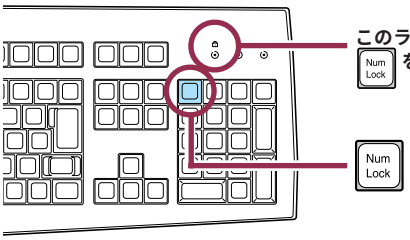


数字を使って日付を打つ

カタカナの次は数字の打ち方を練習します。数字はキーボードの右側にある数字キーを使って打つと便利です。

数字が打てることを確かめる

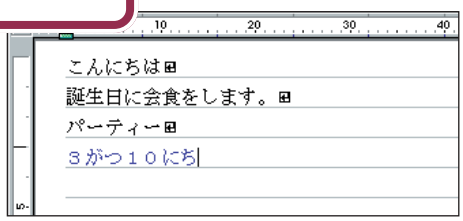
キーボード右側の 1 のランプが点灯していれば、数字キーから数字を打つことができます。



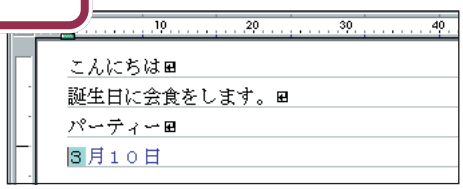
「3月10日」と打つ

数字と漢字の読みを続けて打って、まとめて変換することができます。

1 「3がつ10にち」と打つ



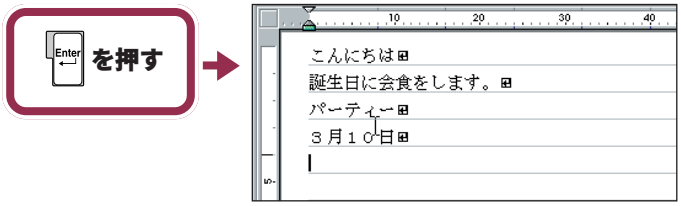
2 【スペース】を押す



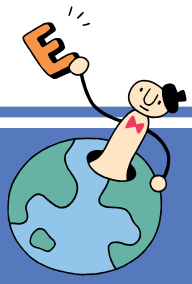
3 Enter を押して、確定する

「3がつ10ひ」と打っても構いません。ただし、「10か」と打って「10日」と変換することはできません。

改行する



カーソルが次の行の先頭に移動する



英字を打つ

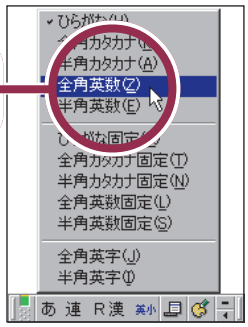
英字（アルファベット）を打つときも、カタカナを打ったときのように、文字の種類を切り替えます。

英字が打てるようにする

英字を打つには、ツールバーを使って文字の種類を切り替えます。

1 「あ」をクリックする

2 「全角英数」をクリックする



文字の種類の一覧が消え、ここに「A」と表示される

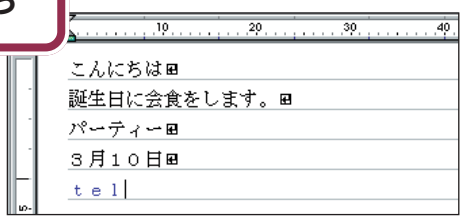
これで、打てる文字の種類がひらがなから英字に切り替わりました。

英字には、「全角英数」と「半角英数」の 2 種類があります。ここでは、「全角英数」を使って練習します。「半角英数」を使うと、通常の半分の幅の英字や数字を打つことができます。

参照
半角文字を打つには→ PART 6 の「半角文字で英数字を打つ」（p.90）

「tel」と打つ

1 「tel」と打つ



英字を打つ場合、ローマ字入力でもかな入力でも、使うキーは共通です。

●大文字を打つときは、【Shift】を押したまま

英字が打てる状態のとき、【Shift】を押したまま文字キーを押すと、大文字を打つことができます。

●続けて大文字を打つときは、A を点灯させる

【Shift】を押したまま【CapsLock】を押すと、キーボード右側にあるAのランプが点灯します。このランプが点灯しているときは、【Shift】を使わずに文字キーを押すだけで、大文字が打てます。もう一度【Shift】を押したまま【CapsLock】を押せば、ランプが消えて元に戻ります。

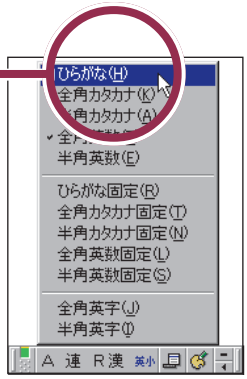
2 Enter を押して確定する

ひらがなが打てる状態に戻す

もう一度ツールバーを使って、ひらがなが打てる状態に戻します。

1 「A」をクリックする

2 「ひらがな」をクリックする

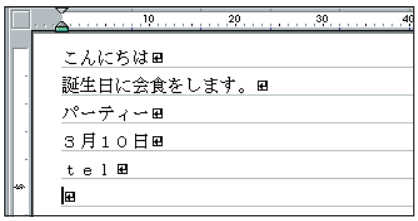


ここに「あ」と表示される

これで、打てる文字の種類がひらがなに切り替わりました。

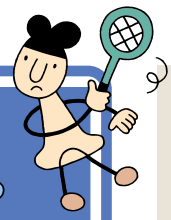
改行する

Enter を押す →



カーソルが次の行の先頭に移動する

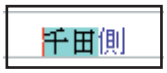
これで、ひらがな、漢字、カタカナ、数字、英字と、一通りの文字の打ち方を練習しました。



自分の名前と住所を打ってみる

最後に、自分の名前と住所を打つ練習をしましょう。自分の名前と住所を打つ機会は非常に多いので、必ず実際に操作して試してください。一度で正しく変換できないときは、このページの説明を参考にしてください。

途中で分かれて変換されてしまう場合



「千田川(せんだがわ)」という苗字を例に説明します。「せんだがわ」と打って【スペース】を押すと、右の図のように、「千田」と「側」に分かれて変換されてしまいます。これは、パソコン側で、「千田川」という苗字をひとつの単語として認識することができず、「せんだ」と「がわ」の２つの区切り(文節)に分けて変換しようとしたために起きることです。このような場合、次のようにして変換します。

1. 【↓】を押して、文字にかかる青い帯を「側」の上に移す
2. 【スペース】を押して、「側」の同音語を表示する
3. 「川」をクリックする(または「川」の番号を押す)

用語

文節

パソコンは、ひらがなの読みを漢字に変換するときに、単語の前後関係などを分析して、変換の区切りを判断しています。この区切りの単位を「文節」と呼びます。複数の文節が含まれた、長い文でもいちどに変換することができますが、長い読みを入れるほど、パソコンが文節の区切りを間違える確率も高くなります。

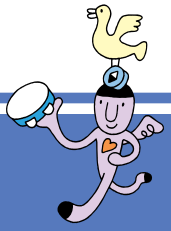
文節の区切りがおかしいとき

「尾佐竹（おさたけ）」という苗字を例に説明します。「おさたけ」と打って【スペース】を押すと、右の図のように、「長」と「竹」に分かれて変換されてしまいます。
これは、「おさ」と「たけ」の２つに文節が分かれたためです。このような場合、次のようにして文節の区切りを直してから変換します。

1. 【←】を１回押す
2. 「長竹」が「おさたけ」に戻り、「お」が反転する
3. 【スペース】を２回押して、「お」の同音語を表示する
4. 「尾」をクリックする（または「尾」の番号を押す）
5. 「尾」が正しくなると、「さたけ」も「佐竹」に変換される

うまく変換できないときは、一文字ずつ変換できる

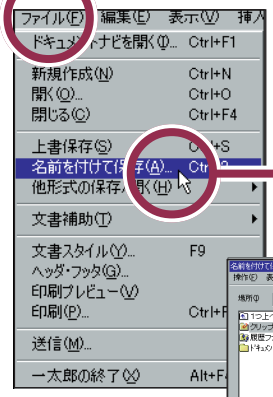
一太郎に慣れるまでは、一度でうまく変換できないときは、一文字ずつ変換するのが手っ取り早い方法です。上で説明した「尾佐竹」の場合なら、「お」と打って【スペース】を押し、同音語から「尾」を選びます。同じようにして「さ」を「佐」に、「たけ」を「竹」に変換すれば、簡単に正しい文字に変換できます。



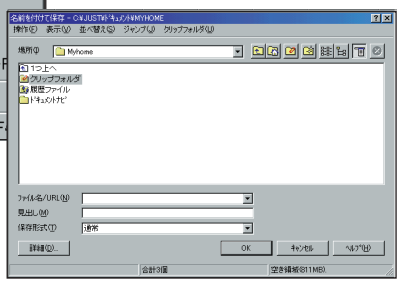
文書を保存する

このまま、終わってしまうと、せっかく作った文書が消えてしまいます。記念すべきワープロ第1号文書をパソコンの中に保存しておきましょう。

1 「ファイル」をクリックする



2 「名前を付けて保存」をクリックする



保存するための画面が表示される

3 「ファイル名」の欄に「｜」が点滅していることを確かめる

4 「れんしゅう1」とひらがなを打つ

「ファイル名」の欄に、文字が入る

5 【スペース】を押す

「練習1」と漢字に変換される

用語

ファイル名

パソコンの中では、さまざまなデータが「ファイル」という単位で保存されています。いまワープロで作ったばかりの文書も、ファイルの1つとして保存されます。あとから探しやすいように、それぞれのファイルには名前（ここでは、「練習1」）を付けます。

チェック!!

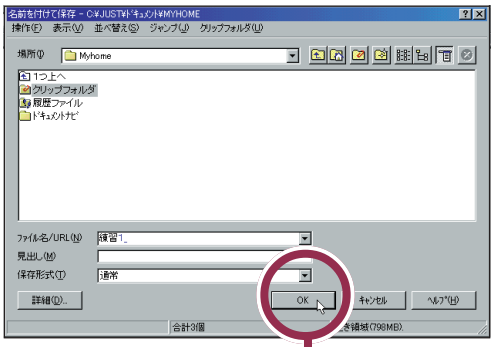
ファイル名に使用できない文字

半角文字や記号の中にはファイル名として使ってはいけないものがあります。次の半角文字は使用できません。

\ / : * ` < > |

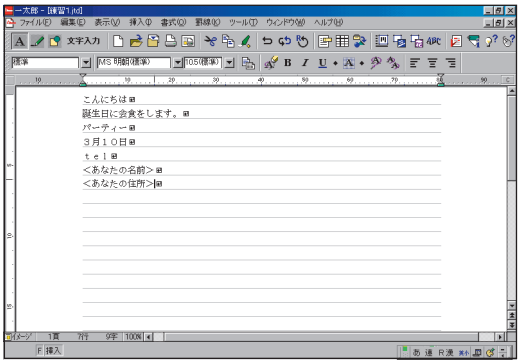
参照
半角文字について→ PART6 の「半角文字で英数字を打つ」(p.90)

6 Enter を押して、文字を確定する



7 「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、
この画面に戻る



8 ウィンドウ左上の表示が「一太郎－[練習 1.jtd]」になっていることを確かめる

ポイント

新しくワープロで作った文書を保存するときは、「ファイル」をクリックし「名前を付けて保存」をクリックする。好きなファイル名を付けてから、「OK」をクリックする。

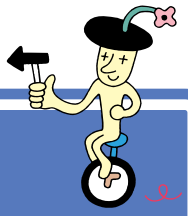
自分が作ったデータは、一度消してしまうと元に戻すことはできません。万一のアクシデントに備えて、自分で作った大切なデータ(文書)は、フロッピーディスクなどにバックアップを取るようにしてください。

参照
データのバックアップを取るには→PART8の「バックアップを取る」(p.128)

一太郎を起動すると最初に、ウィンドウ左上には便宜的に「文書1」という名前が付けられています。このウィンドウで文書を作成し、名前を付けて保存すると、ウィンドウ左上の表示は、あなたが付けたファイル名に置き換えられます。

.jtdって何？

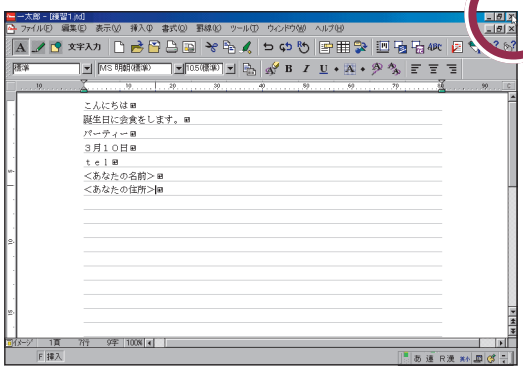
画面に「練習 1.jtd」と表示されるのは、ワープロがファイル名の後ろに「.jtd」を自動的に付けているためです。これは、いろいろな文書がたくさん保存されたときに、ワープロの文書だけを素早く探し出すための符号で拡張子と呼ばれています。



一太郎を終わる

パソコンで自分の名前や住所が打てるようになれば、たいしたものです。すぐにワープロを使いこなせるようになりますよ。でも、いまはここで一息入れましょう。

1 上のほうの [×] をクリックする



一太郎が終了し、
ランチ-NXに戻る

参照
もっとワープロを練習するには→「PART6 ワープロをもっと楽しもう」(p.85)

このPARTのまとめ

ここでは、ワープロを利用して、いろいろな文字を打つ操作を練習しました。

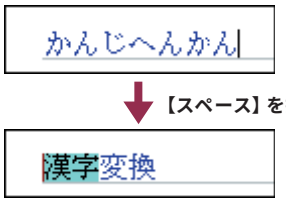
ローマ字入力？　それとも、かな入力？

自分に合った入力方法を選んでください。→「文字の入れ方を決める」(p.55)

ひらがなを打つ

ローマ字入力の場合、文字キーの上のアルファベットを見て、ローマ字のつづりを打っていきます。かな入力の場合、文字キーの上のかな文字をみて打ちます。キーの上段に書かれた文字（「を」や小さい「ゃ」など）は、【Shift】を押したまま打ちます。

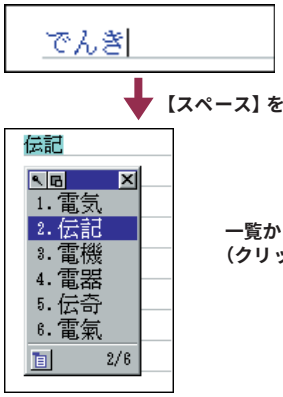
漢字に変換する



漢字に変換するには【変換】も使用できますが、ここでは【スペース】を使用して説明しています。

ひらがなを打ってから【スペース】を押します。

同音語を選ぶ



一覧から目的の単語を選ぶ
（クリックするか、番号を押す）

一度で思い通りの漢字にならないときは、もう一度【スペース】を押すと、同音語の一覧が表示されるので、目的の単語をクリックするか、その番号を押します。

このPARTのまとめ

文字を確定する

青い字で表示された文字や、漢字に変換して青い帯がかかった文字は、そのままではまだ確定していません。次のようにして確定する必要があります。

【Enter】を押す
ひらがな、カタカナ、英字など、変換の必要がない文字を確定するには、【Enter】を押します。

続きの文字を打つ
ひらがなを打って【スペース】を押し、目的の漢字に変換されたときは、続けて次の文字を打つと、変換された部分が確定します。次の文字がないときは、【Enter】を押しても確定します。

同音語の一覧から選ぶ
【スペース】を２回押して、同音語の一覧が表示されたときは、目的の漢字の番号を選ぶと、文字が即座に確定します。

文字を消す

文字を打ち間違えたら【BackSpace】を押します。するとカーソルの左側の文字が消えます。また、【Delete】を押すと、カーソルの右側の文字を消すことができます。

改行する

【Enter】を押して、カーソルを次の行頭に送ります。【Enter】を押すと、カーソルより後ろの部分すべてが次の行へ移動します。

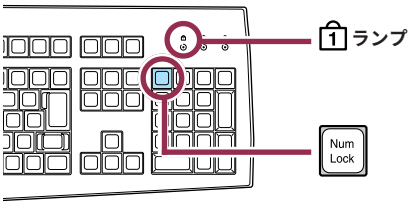
カタカナを打つ

ここをクリックして、文字の種類の一覧から「全角カタカナ」を選ぶ

日本語入力ツールバーの あ をクリックして、「全角カタカナ」をクリックすると、カタカナを打つことができます。「マンション」や「パソコン」などのように日本語に定着した外来語は、ひらがなを打ってから【スペース】を押してもカタカナに変換できます。

このPARTのまとめ

数字を打つ



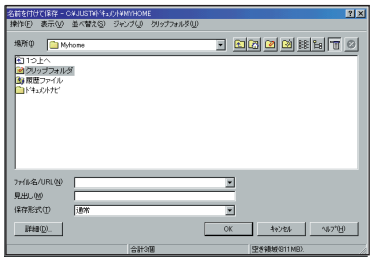
数字は、キーボード右側の数字キーを使って打つと便利です（ローマ字入力の場合、文字キーの一番上の列にある数字のキーも使えます）。キーボード右側の数字キーを使うには、1 のランプが点灯していることを確かめてください。ランプが消えているときは、【NumLock】を押します。

英字を打つ

ここをクリックして、文字の種類の一覧から「全角英数」を選ぶ

日本語入力ツールバーの あ をクリックして、「全角英数」をクリックすると、英字を打つことができます。大文字を打つには、【Shift】を押したまま文字キーを押します。

文書を保存する



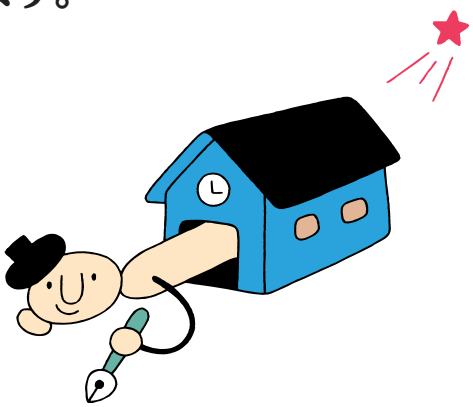
新しく作った文書を保存するときは、「ファイル」をクリックしてから、「名前を付けて保存」をクリックします。次に、好きなファイル名を入力してから、「OK」をクリックします。この文書を開いてから、もう一度保存するときの方法は、「PART6 ワープロをもっと楽しもう」で説明します。

PART

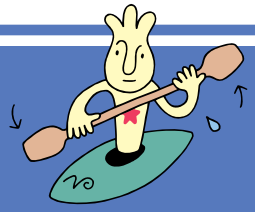
6

ワープロをもっと楽しもう

もう少し本格的にワープロを使ってみましょう。ここでは、前のPARTで作った文書を呼び出し、文章を追加します。そして移動や削除など簡単な編集操作を学んだあと、美しい文書に仕上げて印刷します。



プリンタを準備する



このパートの最後の方では、作った文書を印刷します。プリンタをお持ちの方はプリンタの準備を整えておきましょう。

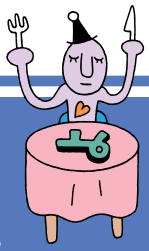
プリンタの準備のしかたについては、『拡張の手引き』「PART1 プリンタを使う」で説明しています。
プリンタをお持ちの方は、ここでいったんパソコンの電源を切り、『拡張の手引き』を開いてプリンタを準備してください。
プリンタの準備が終わったら、プリンタの電源が入っていることを確認し、またここに戻ってきて操作を進めましょう。

プリンタをお持ちでない方は、そのまま次のページへ進んでください。

USB プリンタは、電源を入れたまま接続できる

USB 対応プリンタをお持ちの方は、パソコンの電源を入れたまま接続することができます。詳しくは、『拡張の手引き』「PART1 プリンタを使う」およびプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

参照
電源を切る操作については→コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合「PART1 電源の入れ方と切り方を覚えよう（コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合）」（p.1）
ボックスレスタイプの場合「PART2 電源の入れ方と切り方を覚えよう（ボックスレスタイプの場合）」（p.9）



一太郎を始める

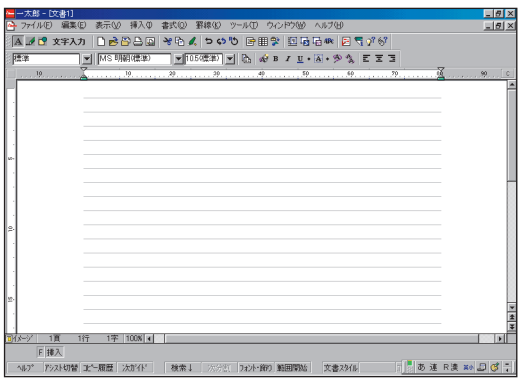
ランチ-NX を使って「一太郎」を始めます。

1 「メインメニュー」をクリックする

電源を入れた直後など、はじめからランチ-NX が「メインメニュー」になっている時は、手順 2 の操作からはじめてください。

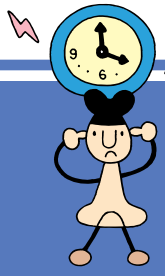
2 「一太郎 9」をクリックする

「一太郎」が始まる

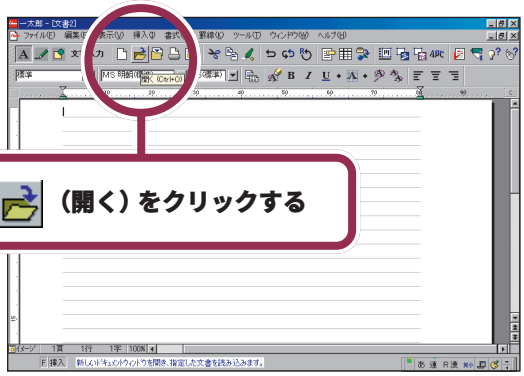


一太郎を始めると、自動的に新しい文書（白紙の状態の文書）が表示されます。

文書を呼び出す



前のPARTで作っておいた文書「練習 1」を呼び出してみましょう。

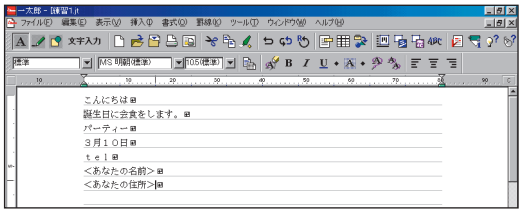


1 （開く）をクリックする

2 「練習 1」が青色で表示されていることを確認して、

3 「OK」をクリックする

保存してあった文書が呼び出され、表示される



ポイント

保存してある文書を呼び出すときは、（開く）をクリックしたあと、目的の文書を選び、「OK」をクリックする。

この PART では、機能を選ぶときにできるだけ画面上部のボタンを使っていきます。これらのボタンは「メニューバー」（「ファイル」とか「編集」とかの文字が表示されている部分）の中に含まれている機能の中から特によく使う機能を抽出してボタン化したものです。

また、ボタンをポイントし、少し待つとボタンの下にそのボタンの機能名が表示されます。

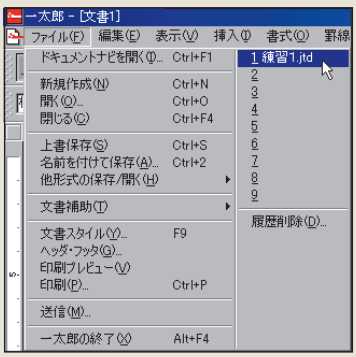
用語

開く

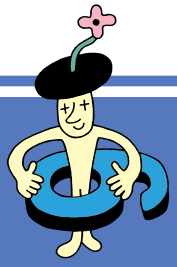
保存してあるデータを、もう一度画面に呼び出すこと。

「練習 1」が青色で表示されていない場合は、「練習 1」の左側の をクリックしてください。
クリックして選択したら、手順 3 に進んでください。

「練習 1」が表示されていない場合には、いったん「キャンセル」をクリックします。続いてウィンドウの左上にある「ファイル」をクリックします。すると次のような画面が表示されます。ここで「練習1.jtd」をクリックすれば、目的の「練習 1」の文書が呼び出されます。



文章を追加する



呼び出した文書「練習 1」に、新たな数行分の文章を追加しましょう。

ここでは、ちょっと難しいかもしれませんが、がんばって次のような文章を追加しましょう。あわてることはありません。ゆっくり慎重に操作を進めてください。
文中には、まだ打ち方を習っていない文字や記号が含まれています。これらの打ち方については、次のページで説明していますのでご覧ください。

参照
文字を打つ方法を、復習したい場合には→「PART5 キーボードに慣れよう」(p.51)

こんにちは
誕生日に会食をします。
パーティー
３月１０日
ｔｅｌ
<あなたの名前>
<あなたの住所>

↓

こんにちは
誕生日に会食をします。
パーティー
３月１０日
ｔｅｌ
<あなたの名前>
<あなたの住所>

パーティーに参加します。
見渡す限りの青い空。風が心地よく、昼寝には最高の季節です。
先月末、無事長かったLondon出張から帰ってきました。
「青空倶楽部」のパーティーも盛況だったようですね。おめでとうございます。
次回には何があっても参加します。詳細をご連絡ください。
1998年4月

半角文字で英数字を打つ

前のページの「London」や、「1998年」の数字をよく見てください。数字や英字の文字幅が、PART 4で練習した文字の半分になっていますね。このように、漢字やひらがな1文字分の半分の幅の文字を「半角文字」と呼びます。半角文字の打ち方はローマ字入力とかな入力で少しだけ違います。

●半角文字を打つ方法：ローマ字入力

まず、キーボードの上の方にある F10 を1回押します。

画面右下の表示が、

から

に変わるのを確認してください。

このあと、英文字の小文字（abc）を打つときは、そのままキーボードの文字キーを押します。
英文字の大文字（ABC）を打つときは、キーボードの ⇧Shift を押したまま、文字キーを押します。
数字を打つときは、テンキーまたは文字キーの1段目にある数字キーを押します。

半角文字を打ち終えたら、F10 を3回押し、画面右下の表示を

から

に戻します。

●半角文字を打つ方法：かな入力

まず、キーボードの上の方にある F10 を1回押します。

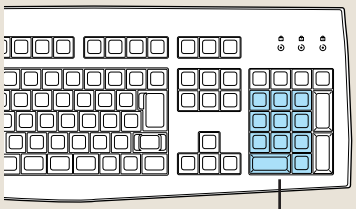
画面右下の表示が、

から

に変わるのを確認してください。

このあと、英文字の小文字（abc）を打つときは、そのまま、キーボードの文字キーを押します。

英文字の大文字（ABC）を打つときは、キーボードの ⇧Shift を押したまま、文字キーを押します。
数字を打つときは、テンキーまたは文字キーの1段目にある数字キーを押します。


テンキー

チェック!!

テンキーで数字を入力するときは、キーボード右上の 1 下のランプが点灯していることを確かめます。消えていれば、【NumLock】を押します。

次に、F10 を「3回」押し、画面右下の表示を

から

に戻します。

日本語入力のオンとオフを切り替える

一太郎を起動すると、文字キーを押したときにひらがなが打てるようになっています。この状態のことを「日本語入力がオン」の状態と呼びます。

●日本語入力のオンとオフの見分け方

画面の右下に注目します。

日本語入力がオンになっている

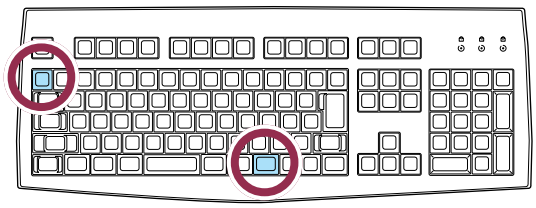
日本語入力がオフになっている

●日本語入力オン／オフの使い分け

英文の手紙を打つ場合など、半角の英数字を続けて打つときには、日本語入力をオフにしたほうが効率よく作業できます。一太郎9の場合は、ソフトを起動した直後には日本語入力がオンに設定されていますが、ソフトによっては、日本語入力がオフの状態で起動されるものもあります。このようなソフトで日本語を入れたいときは、日本語入力をオフからオンに切り替えます。

●日本語入力のオンとオフを切り替える方法

キーボードの下の方にある Alt を押したまま、左上の方にある 半角/全角 を1回押します。



これで、日本語入力がオンのときはオフに、オフのときはオンに切り替わります。画面右下の表示が変化するのを確認してください。

が表示されていれば、日本語入力がオンになっています。日本語入力がオンのときは、その上に あ も表示されます。

が表示されていれば、日本語入力がオフになっています。この状態では、文字キーを押すと半角の英字や数字が打てます。

Alt は2カ所にあります。どちらでも押しやすいほうを使ってください。

用語

【Alt】

「オルト」と読みます。このキーを押したまま他のキーを一緒に押すことで、いろいろな機能が使える場合があります。

文字の直し方

文字の訂正方法には、いくつかの方法があります。

●確定する前の文字を消して、打ち直す：Esc

変換が確定する前（文字が青く表示されている状態）であれば、Esc を1回押すと、いちどに消すことができます。Esc を押してから、消えた文字を打ち直します。

●後ろから前に 1 文字ずつ消していく：Back Space

Back Space を押すと、カーソル（文字が打ち込まれる位置を示す、黒い縦棒）の位置から、左方向に 1 文字ずつ消すことができます。間違った所を消してから、正しく打ち直します。

●カーソル位置の右にある文字を 1 文字ずつ消す：Delete

間違えた文字の左隣をクリックすると、カーソルがその場所に移動します。そこで、Delete を押すと、カーソルの右側にある文字が消えます。間違った所を消してから、正しく打ち直します。

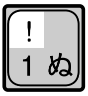
参照
何文字かまとめて一度に消すには→
このＰＡＲＴの「文字を削除する」
（p.94）

記号を打つ

記号を打つには、文字キーを使って打つ方法と、画面に記号の一覧を表示して、そこから選ぶ方法の 2 種類があります。ここでは全角の記号を打つ方法を説明します。

●文字キーを使って打つ：ローマ字入力

ローマ字入力の時は、⇧Shift を押したまま文字キーを押すと、キーの左上に書かれた記号を打つことができます。



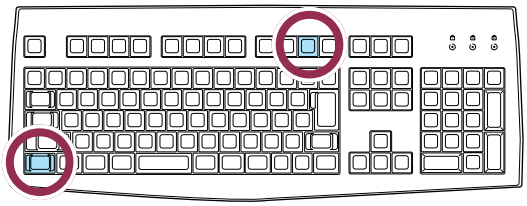
ただし、「、」 <、ね 、「。」 >。る や、かぎかっこ（「　」） {「 }」む は、⇧Shift を押さずに、そのままキーを押します。

●文字キーを使って打つ：かな入力

かな入力の時は、カタカナ ひらがな を押してから ⇧Shift を押したまま文字キーを押すと、キーの左上に書かれた記号を打つことができます。記号を入力した後は、もう一度 カタカナ ひらがな を押してひらがなを入力できる状態に戻してください。

●画面に記号の一覧を表示して、そこから選ぶ：文字パレット

Ctrl を押したまま、F11 を押します。



次の画面が表示されたら、「記号表」をクリックします。

記号は、何種類かに分類されています。まず画面の左側で分類をクリックし、次に右側の一覧から使いたい記号をクリックします。その後で「確定」をクリックすると、選んだ記号を打つことができます。
最後に画面の右上にある ✕ をクリックして、文字パレットの画面を閉じます。

チェック!!

Ctrl は 2 カ所にあります。どちらでも押しやすいほうを使ってください。

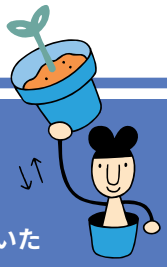
用語

【Ctrl】

「コントロール」と読みます。このキーを押したまま他のキーを一緒に押すことで、いろいろな機能が使える場合があります。

参照

文字パレットで記号を打つには→『困ったときのQ&A』PART1の「文字を入力しようとしたら…」



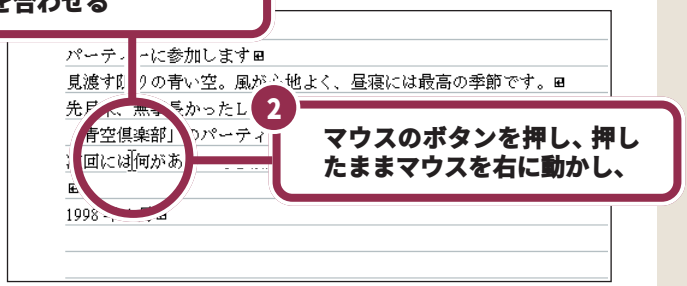
文章を編集する

ワープロならではの機能を活用して、書いた文章を編集してみましょう。

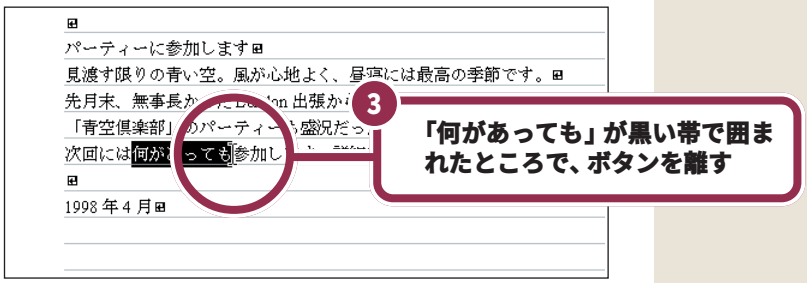
文字を削除する

「次回には何があっても参加します。」の文章中の「何があっても」の部分を削除しましょう。

1 「は」と「何」の間に I を合わせる



2 マウスのボタンを押し、押したままマウスを右に動かし、



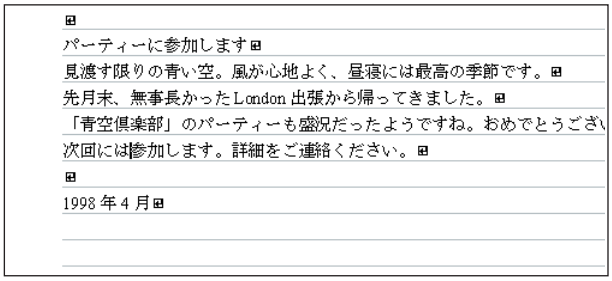
3 「何があっても」が黒い帯で囲まれたところで、ボタンを離す

●まちがった部分が黒い帯で囲まれてしまった場合には

もし、まちがった部分が黒い帯で囲まれてしまった場合には、適当な文字のところに I を合わせて、クリックします。これで黒い帯が解除されますので、もう一度操作をやり直してください。

このようにドラッグで作った黒い帯のことを「選択範囲」と呼ぶ。文字を削除したり、移動したり、大きさを変えるときには、最初にこの操作を行う。

4 Delete（デリート）を押す



黒い帯の範囲が削除される

ポイント

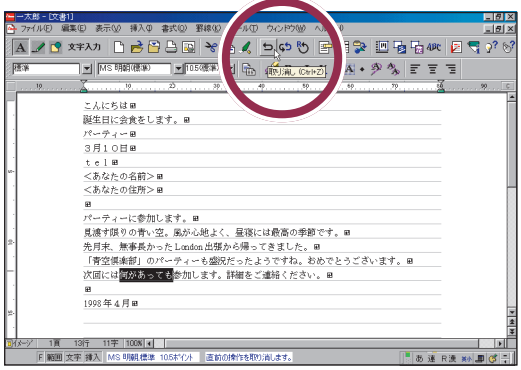
文字の削除は「ドラッグで黒い帯（選択範囲）を指定」「Delete を押す」という 2 つの手順で行う。

文字をまちがって削除してしまっても、あわてないでください。次のページでは、操作の取り消し方法を学びます。その操作で元の文章に戻したあと、もう一度この操作をし直してください。

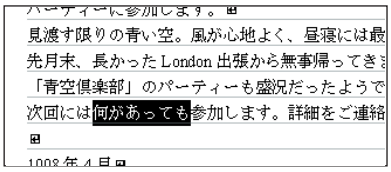
前の操作を取り消す

前の操作を取り消して、その操作の以前の状態の文書に戻すことができます。ここでは前の削除の操作を取り消してみましょう。

（取り消し）をクリックする



削除前の状態に戻る



ポイント

前の操作を取り消して、その操作以前の状態に戻したいときは、（取り消し）をクリックする。

用語

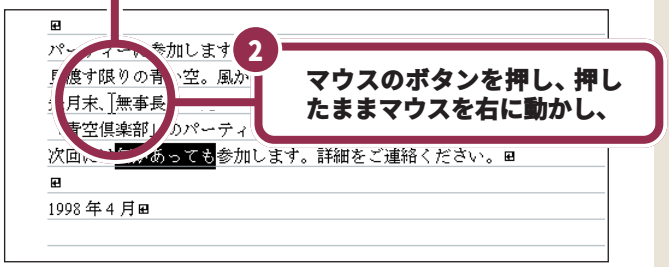
取り消し

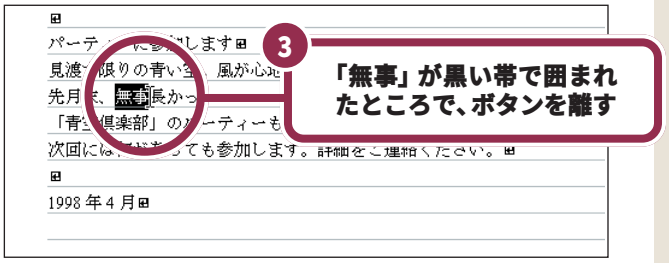
前の操作を取り消し、それ以前の状態に戻すこと。アプリケーションによっては「元に戻す」「アンドゥー」などと呼ぶこともある。

文字を移動する

「先月末、無事長かった London 出張から帰ってきました。」を、「先月末、長かった London 出張から無事帰ってきました。」に変えましょう。

1 「、」と「無」の間に I を合わせる

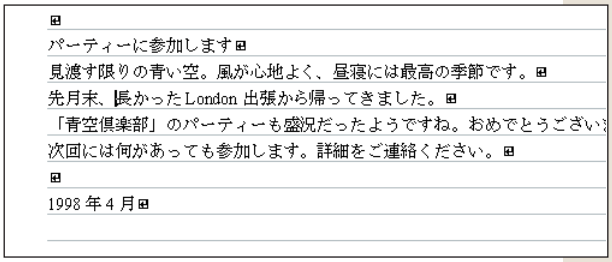




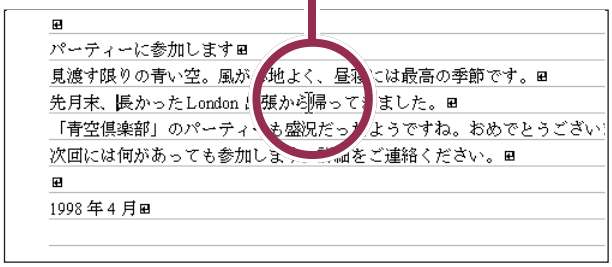
もし、まちがった部分が黒い帯で囲まれてしまった場合には、適当な文字のところに I を合わせて、クリックします。これで黒い帯が解除されますので、もう一度操作をやり直してください。

4 （切り取り）をクリックする

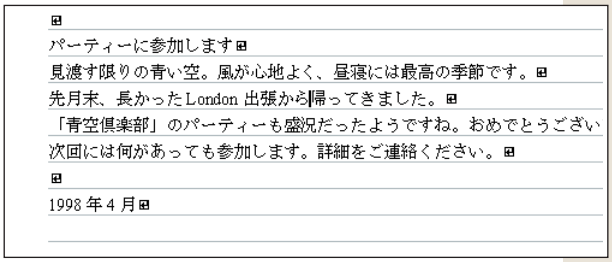
黒い帯の範囲が削除される



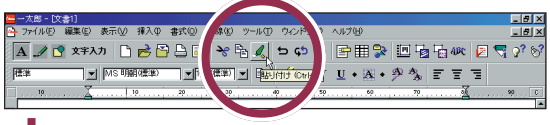
5 「ら」と「帰」の間に I を合わせてクリックする



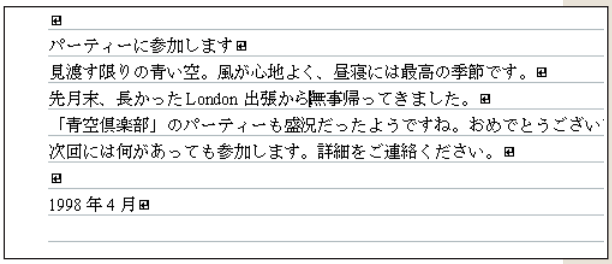
クリックしたところに縦棒が表示される



6 （貼り付け）をクリックする



先ほど切り取った文字が縦棒の位置に挿入される



ポイント

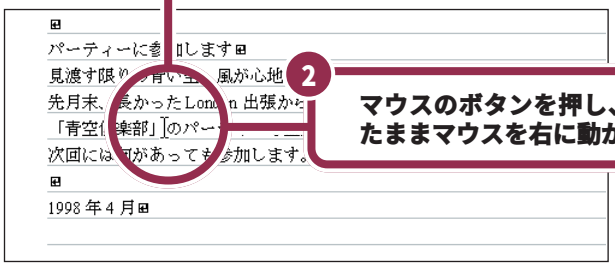
文字の移動は「ドラッグで黒い帯（選択範囲）を指定」「（切り取り）をクリック」「貼り付け先をクリック」「（貼り付け）をクリック」という4つの手順で行う。

（切り取り）をクリックすると、黒い帯の部分の文字が削除されると同時に、その文字がパソコンの中に一時的に記憶されます。このあと、（貼り付け）をクリックすると、記憶されていた文字が貼り付けられるのです。

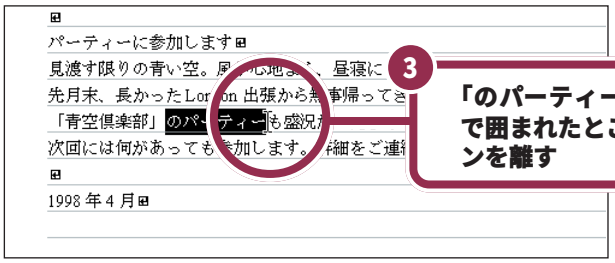
文字を複写する

「「青空倶楽部」のパーティーも盛況だったようですね。」の中の「のパーティー」を、「次回には何があっても参加します。」の「次回」の後ろにコピーして、「次回のパーティーには何があっても参加します。」に変えてみましょう。

1 （」）と「の」の間に I を合わせる

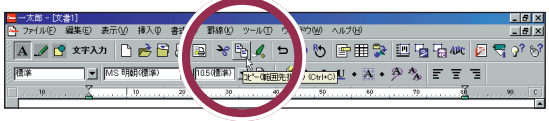


2 マウスのボタンを押し、押したままマウスを右に動かし、

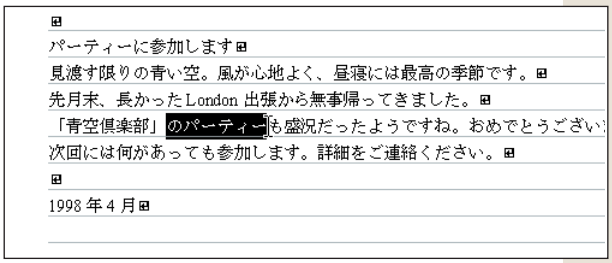


3 「のパーティー」が黒い帯で囲まれたところで、ボタンを離す

4 （コピー）をクリックする

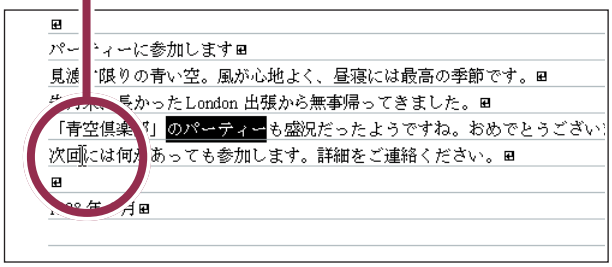


画面に変化はありません

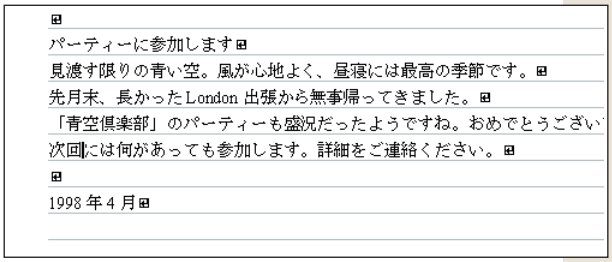


もし、まちがった部分が黒い帯で囲まれてしまった場合には、適当な文字のところに I を合わせて、クリックします。これで黒い帯が解除されますので、もう一度操作をやり直してください。

5 「回」と「に」の間に I を合わせてクリックする

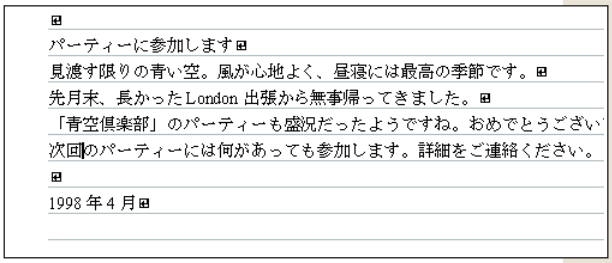


クリックしたところに縦棒が表示される



6 （貼り付け）をクリックする

先ほどコピーした文字が縦棒の位置に挿入される



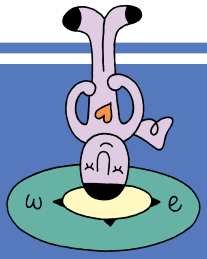
ポイント

文字の複写は「ドラッグで黒い帯（選択範囲）を指定」「（コピー）をクリック」「貼り付け先をクリック」「（貼り付け）をクリック」という4つの手順で行う。

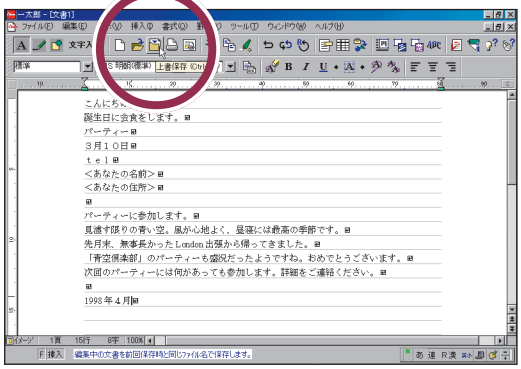
（コピー）をクリックすると、黒い帯の部分の文字がパソコンの中に一時的に記憶されます。（画面上では何も変化がありません）このあと、（貼り付け）をクリックすると、記憶されていた文字が貼り付けられるのです。

文書を保存する

ここまでの操作で編集した文書を、
いったん保存しておきましょう。



（上書保存）をクリックする



文書が保存される（画面に変化はありません）
「練習 1」の文書は新しいものに置き換えられ、
古いもの（呼び出したときの文書）はなくなる

この保存は「上書保存」と呼ばれるもので、「元もとあった文書を、表示中の文書で上書きする」という保存です。したがって、この「上書保存」を行うと最初に呼び出した文書は、編集を加えた文書に置き換わることになります。

ポイント

元の文書を置き換える形で、編集中の文書を保存するときは、（上書保存）をクリックする。

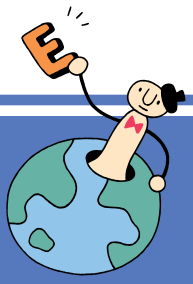
用語

上書保存

保存されている文書を、表示中の文書で置き換えること。この上書保存を行うと保存されている古い文書はなくなります。

チェック!!

「上書保存」しないで一太郎を終了してしまうと、ここで新しく作った文書は消えてしまいます。



文書の体裁を整える

こんどは、打った文字の大きさや書体、行内での文字の揃え方を変更して、美しい文書に仕上げましょう。

文字の大きさを変える

「パーティーに参加します」の文字を大きくしましょう。
パソコンでは、文字の大きさを「ポイント」という単位で指定します。現在画面に書かれている文字の大きさは、すべて10.5ポイント（標準サイズ）になっています。ここでは、「パーティーに参加します」の文字を30ポイントに変更します。

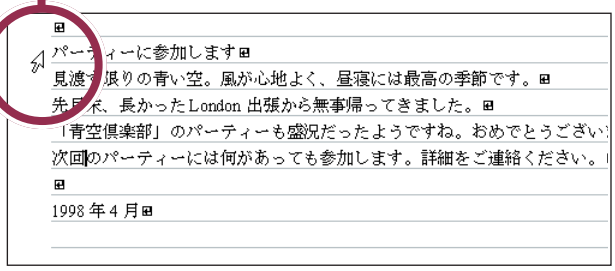
用語

ポイント

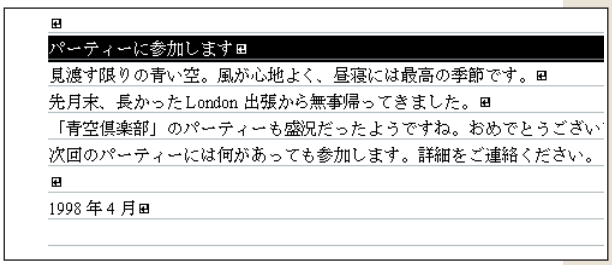
パソコンで使用する文字の大きさの単位のこと。新聞や文庫本の本文の文字の大きさは、8ポイント～12ポイントぐらいです。

1 「パ」の左側に を合わせて、クリックする

行の左端にポインタを移動すると、ポインタの形が から に変わります。



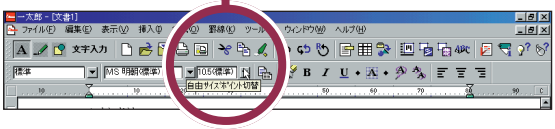
クリックした行が黒い帯で囲まれる



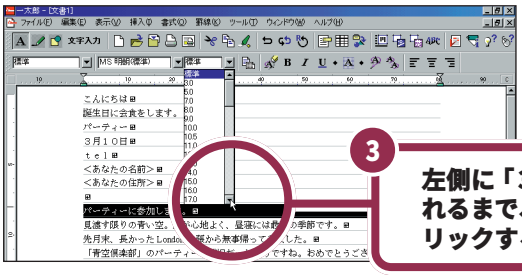
ポイント

黒い帯の選択範囲を指定するとき、行の先頭の文字の左側をクリックすると、その1行をまとめて選択できる。

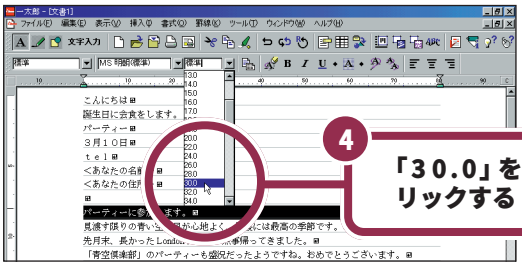
2 ▼（自由サイズポイント切替）をクリックする



文字の大きさの一覧が表示される

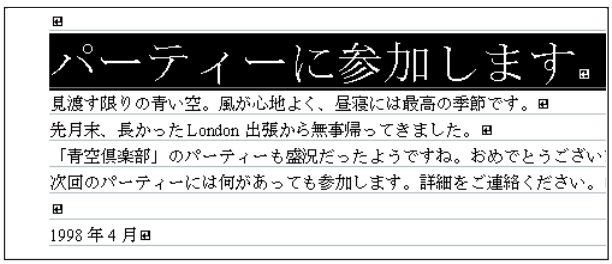


3 左側に「30.0」が表示されるまで、何回も▼をクリックする



4 「30.0」をクリックする

文字の大きさが変わる



パーティーに参加します。
見渡す限りの青い空。風が心地よく、昼寝には最高の季節です。
先月末、長かったLondon出張から無事帰ってきました。
「青空倶楽部」のパーティーも盛況だったようですね。おめでとうございます。
次回のパーティーには何があっても参加します。詳細をご連絡ください。
1998年4月

▼を何回もクリックするかわりに、▼にポインタを合わせてマウスのボタンを押し続けると、連続して一覧内の表示が変わります。また「30.0」を通りすぎてしまった場合は、▲で戻します。

ポイント

文字の大きさの変更は「黒い帯（選択範囲）を指定」「▼（自由サイズポイント切替）をクリック」「表示された一覧の中から目的の大きさをクリック」という3つの手順で行う。

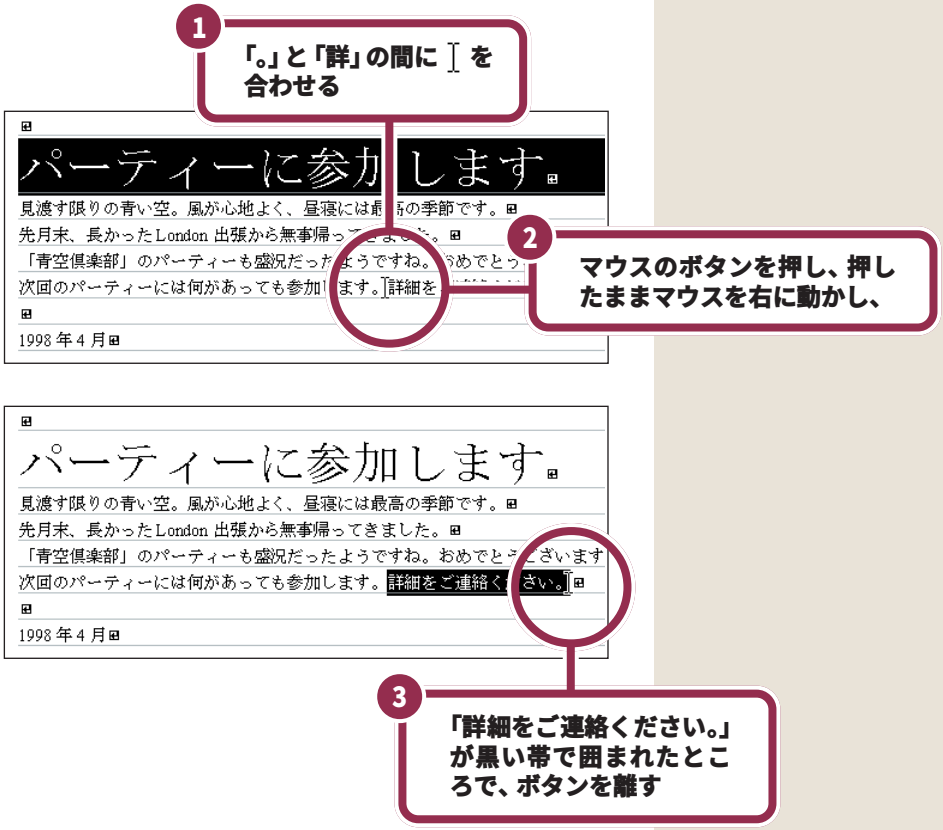
文字の書体を変える

「詳細をご連絡ください。」の文字の書体を変えてみましょう。
書体とは、文字の形のことです。
ここでは、「MS 明朝」という書体を「MS ゴシック」という書体に変えてみます。

MS 明朝
書体の見本

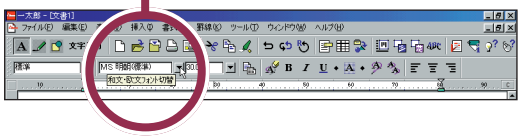
MS ゴシック
書体の見本

用語
書体
文字の形のこと。「フォント」とも呼びます。

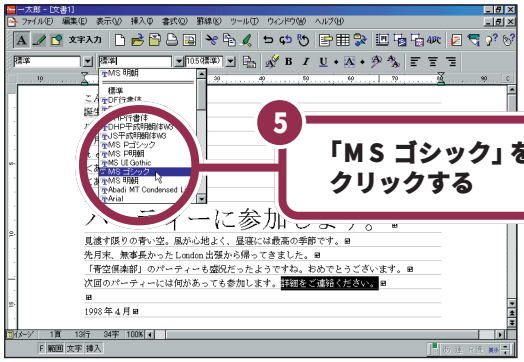


もし、まちがった部分が黒い帯で囲まれてしまった場合には、適当な文字のところに I を合わせて、クリックします。これで黒い帯が解除されますので、もう一度操作をやり直してください。

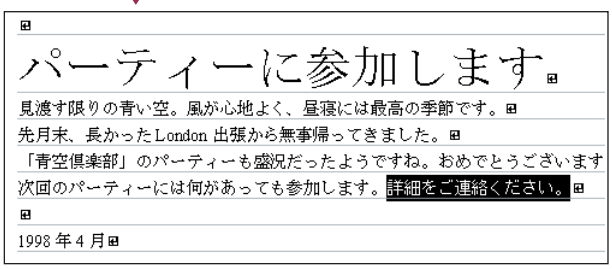
4 （和文・欧文フォント切替）をクリックする



書体の一覧が表示される



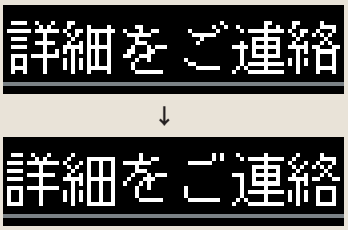
文字の書体が変わる



ポイント

文字の書体の変更は「黒い帯（選択範囲）を指定」「（和文・欧文フォント切替）をクリック」「表示された一覧の中から目的の書体をクリック」という３つの手順で行う。

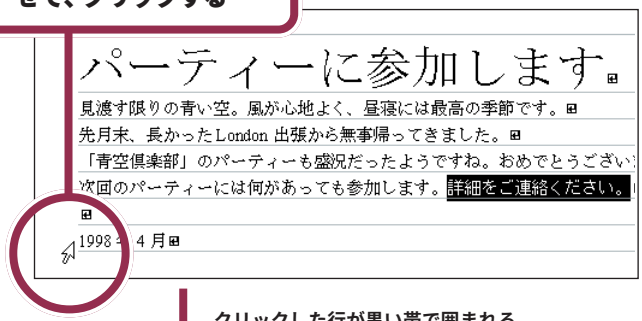
文字が小さいので、書体がどのように変わったか、よく見ないと分からないかもしれませんが、よく見ると漢字のハネや角に変化があることが分かります。



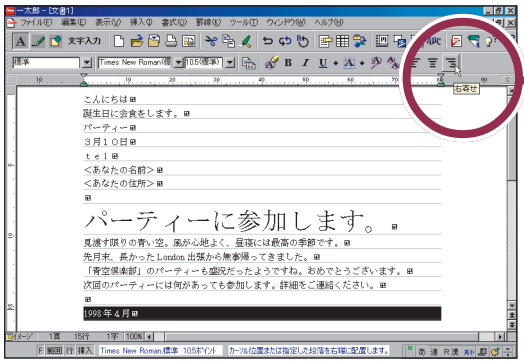
文字の揃え方を変える

最後の行の「1998年4月」の文字を行の右端（用紙の右端）に合わせましょう。

1 「1」の左側に を合わせて、クリックする

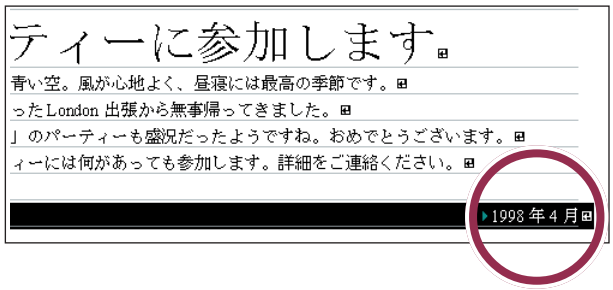


クリックした行が黒い帯で囲まれる



2 （右寄せ）をクリックする

文字が行の右端に揃う



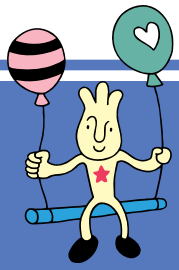
ポイント

文字の揃え方の変更は「揃えたい行の左側をクリック」「 のどれかをクリック」という2つの手順で行う。

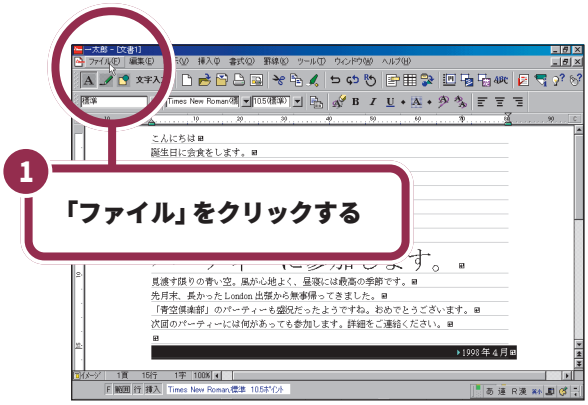
（右寄せ）のかわりに、（センタリング）をクリックすると、文字を行の中央に揃えることができます。また、右端または中央に揃えた文字を、左端に揃え直したい場合は、（左寄せ）を使います。

センタリングや右寄せを実行すると、その行の先頭に赤い三角マークが表示されます。このマークを削除することでも、センタリングや右寄せを解除することができます。

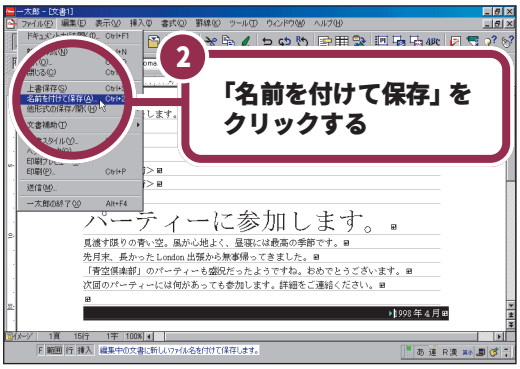
別の名前で文書を保存する



体裁を整えた文書を、新しい文書として、別の名前を付けて保存します。



機能の一覧が表示される



保存のためのウィンドウが表示される

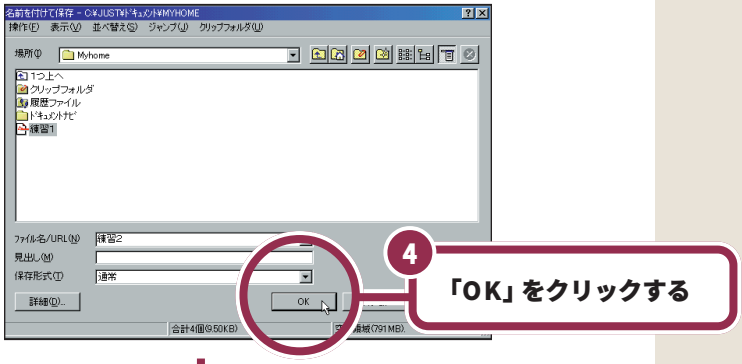
用語

名前を付けて保存

表示中の文書を、全く新しい文書として保存すること。

参照

ここに「練習 2」を打つ操作がわからない場合には→ PART5 の「文書を保存する」(p.79)



文書が保存される(ウィンドウの左上に表示されている文書名が「練習2」に変わります)

この「名前を付けて保存」を行うと、現時点での文書を、前の文書(呼び出した文書)とは、異なる文書として保存します。したがって、前の文書(前回「上書保存」した文書)は、そのまま残ります。

この機能を使えば、「ある文書を元にして、内容を少し手直しして別の文書として保存する」というワープロらしい活用法が可能です。例えば、以前に作った文書「歓送迎会のお知らせ」を呼び出し、少し修正を加えて「忘年会のお知らせ」を作ったりすることができます。

ポイント

編集した文書を別の文書として保存するときは、「ファイル」の「名前を付けて保存」を使う。

自分が作ったデータは、一度消してしまうと元に戻すことはできません。万一のアクシデントに備えて、自分で作った大切なデータ(文書)は、フロッピーディスクなどにバックアップを取るようにしてください。

参照
データのバックアップを取るには→PART8の「バックアップを取る(p.128)

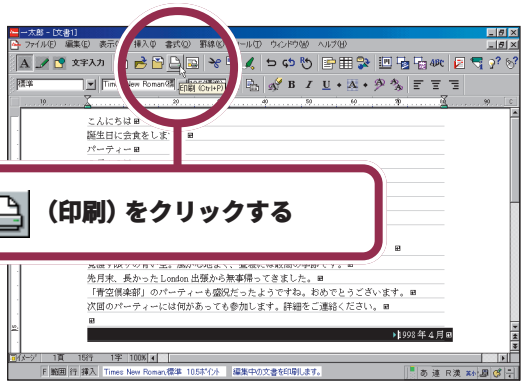
文書を印刷する

プリンタがある場合には、完成した文書をプリンタで印刷しましょう。

プリンタを持っていない方や、プリンタの準備を行っていない方は印刷できませんので、この部分は読みとばしてください。

1 プリンタが印刷可能な状態になっていることを確認する

参照
プリンタの状態の確認については→プリンタに付属のマニュアル、および『拡張の手引き』「PART1 プリンタを使う」



2 （印刷）をクリックする

印刷の設定画面が表示される

お使いのプリンタによって、この画面は多少異なります。

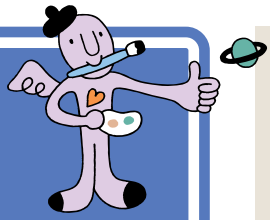
3 「OK」をクリックする

印刷が始まる

ポイント
文書を印刷するときは、（印刷）をクリックする。

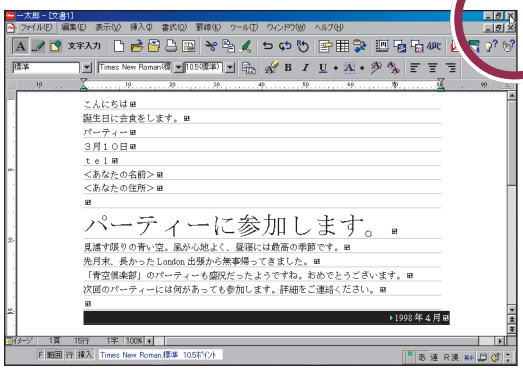
参照
もし、印刷がうまくできないときは、まずプリンタの電源ケーブルやプリンタケーブルの接続を確認したあと→『困ったときのQ&A』PART1の「印刷しようとしたら…」

一太郎を終わる



お疲れさまでした。
ここで一太郎を終わりましょう。

1 上の方の ✕ をクリックする



一太郎が終了し、元の画面に戻る

下の方の ✕ をクリックした場合には、その文書だけを閉じます。一太郎は終わりません。表示中の文書の作成を終わり、別の文書や新しい文書を開きたいときに使います。

ポイント

多くのアプリケーションで画面右上に 2 つの ✕ が表示される。そのうち、上の ✕ は、アプリケーションを終わるためのボタン、下の ✕ は、編集中の文書（あるいはデータ）を閉じるためのボタン。

さらに一太郎を使いこなす

ここでは、さらに一太郎の機能を使いこなしたい方のための指針を紹介します。

パソコンで一太郎を学ぶ

パソコンに付属しているCD-ROMに入っている「パソコン大学一年生 for 一太郎9」を使えば、パソコンの画面を見ながら、一太郎の基本から応用までを学ぶことができます。

1 「パソコン大学一年生 CD-ROM」を正しい手順でパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

2 「スタディ＆ヘルプ」をクリックする

参照
CD-ROM をセットする方法については→ PART9 の「CD-ROM の扱い方」(p.158)

「パソコン大学一年生 for 一太郎 9」が始まる

あとは、画面とスピーカから流れる声の指示にしたがって操作してください。

「パソコン大学一年生 for 一太郎 9」が終わったら、正しい手順で CD-ROM を取り出してください。

参照
CD-ROM を取り出す方法については→ PART9 の「CD-ROM の扱い方」(p.158)

マニュアルで一太郎を学ぶ

このパソコン(一太郎モデル)の中には、一太郎の基本操作を学ぶためのマニュアルが添付されています。このマニュアルを使えば、基本的な一太郎の操作を学ぶことができます。

このPARTのまとめ

ここでは、「一太郎 9」の基本操作を練習しました。

文書の呼び出し

保存してある文書を呼び出すときは、 （開く）をクリックしたあと、目的の文書を選んで、「OK」をクリックします。

文章の編集

文章を削除するときは、ドラッグなどで対象となる文字を選んだあと、 （デリート）を押します。
文章を移動するときは、ドラッグなどで対象となる文字を選んだあと、 （切り取り）をクリックします。続いて、貼り付け先をクリックし、（貼り付け）をクリックします。
文章を複写するときは、ドラッグなどで対象となる文字を選んだあと、 （コピー）をクリックします。続いて、貼り付け先をクリックし、 （貼り付け）をクリックします。

文書の体裁の変更

文字の大きさを変更するときは、ドラッグなどで対象となる文字を選んだあと、 （自由サイズポイント切替）をクリックし、一覧から目的の大きさをクリックします。
文字の書体を変更するときは、ドラッグなどで対象となる文字を選んだあと、 （和文・欧文フォント切替）をクリックし、一覧から目的の書体をクリックします。

文書の保存

文書を保存する方法には、元の文書と置き換える「上書保存」と、新しい文書として保存する「名前を付けて保存」があります。
「上書保存」するときは、 （上書保存）をクリックします。
「名前を付けて保存」するときは、「ファイル」をクリックしたあと、「名前を付けて保存」をクリックします。

文書の印刷

作成した文書を印刷するときは、 （印刷）をクリックします。

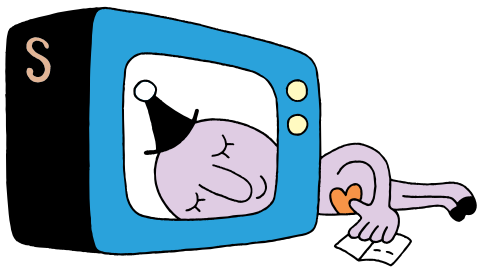
PART

7

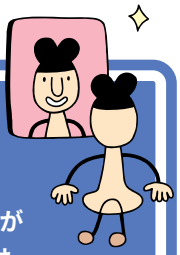
ちょっとだけ勉強

ここまで読み進めてきたあなたは、パソコンの基本的な操作を一通り体験したことになります。もう、インターネットでも、ワープロでも、自分の目的に合わせてパソコンを楽しく使っていくことができます。でも、パソコンと長く付き合っていくためには、少しだけパソコンの仕組みを理解しておきましょう。

パソコンの電源は入っていなくても構いません。パソコンの前から離れて、ゆったりソファーにでも腰掛けてお読みください。



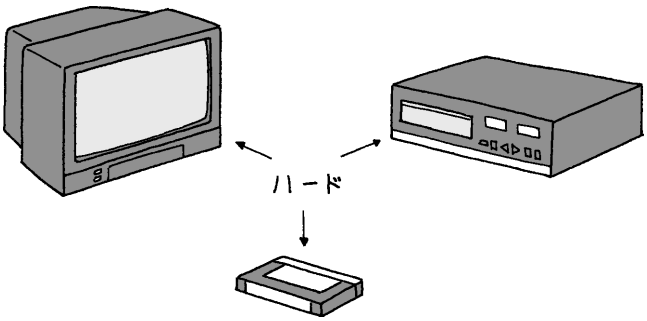
ハードとソフト？



「ハードとソフト」パソコンを知っている人がよく口にする言葉です。はたしてこの意味はどういうことなのでしょう？

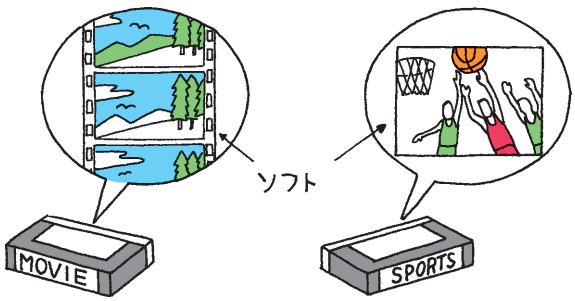
ハードって何？

「ハード」とは「形のあるもの」のことです。実際に手で触れたり、持ち運んだりすることができます。
ご家庭のテレビを思い浮かべてください。テレビ本体やビデオデッキ、ビデオテープなどは、みな「ハード」です。



ソフトって何？

「ソフト」とは「形のないもの」のことです。それそのものに手で触れたりすることはできません。
テレビの場合、ニュースやスポーツ、ドラマ、映画、CM といった「番組」がソフトにあたります。

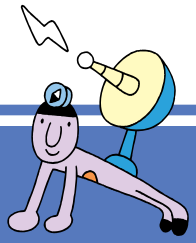


ポイント

ハードは、手で触れられるもの。ソフトは手で触れられないもの。

ハードはハードウェア（Hardware）の略、ソフトはソフトウェア（Software）の略です。

ビデオテープはハード？ソフト？
答：ハードです。ビデオテープそのものは、手で触れることができるのでハードです。しかし、そのビデオテープに録画された番組はソフトです。映画などのビデオテープが「ソフト売場」に置かれている理由は、「テープそのものではなく、中身（映画）を売っている」と考えれば、おわかりいただけると思います。

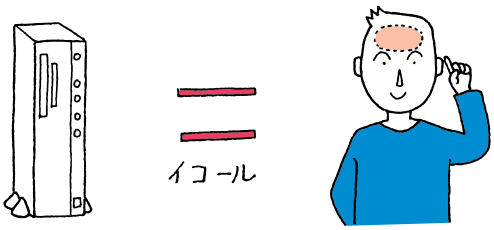


ハードの話

さて、パソコンの世界の「ハード」には、どんなものがあるのでしょう。簡単に紹介しましょう。

本体

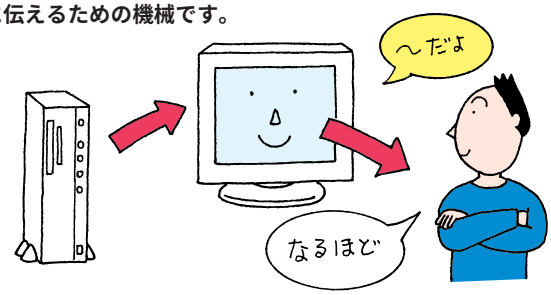
本体は、見かけに派手さはありませんが、パソコンの中心となる機械です。パソコン全体の頭脳にあたる役割を担っています。本体以外の機械（キーボードやマウス、ディスプレイ、プリンタなど）は、本体から出される命令に忠実に従っているだけで、実はほとんど何も考えていないのです。



本体の中には、「フロッピーディスクドライブ」や「ハードディスク」「CD-ROMドライブ」などと呼ばれる機械も組み込まれています。これらについては、少し後ろで説明します。

ディスプレイ

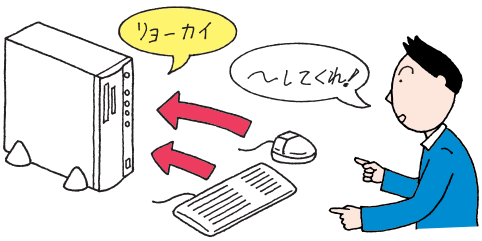
ディスプレイは、本体自身の考えていることや、してもらいたいことを、あなたに伝えるための機械です。



ディスプレイは 2 種類あります。ひとつは、CRT ディスプレイと呼ばれるものです。「CRT ディスプレイ」は、「ブラウン管を使った表示装置」という意味です。
もうひとつはブラウン管を使わない液晶ディスプレイと呼ばれるものです。「液晶ディスプレイ」はノートパソコンなどでもよく使われています。

マウス、キーボード

マウスやキーボードは、あなたのしたいことや書きたいことを本体に伝えるための機械です。

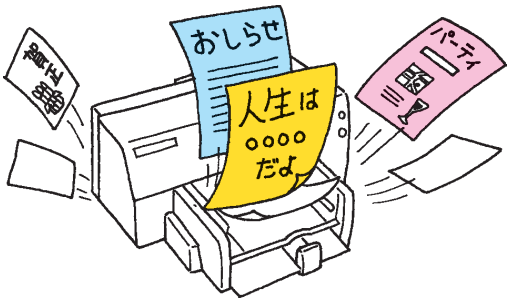


チェック!!

マウスやキーボードはコーヒーが嫌いです。マウスやキーボードは、いつも一番手近にあるため飲み物をこぼしてしまう事故があとを絶ちません。気をつけてください。

プリンタ

プリンタ（別売）は、いろいろな情報を紙に印刷する機械です。印刷できる色の数や、最大の紙の大きさ、印刷する方式などによって、いろいろなものがあります。



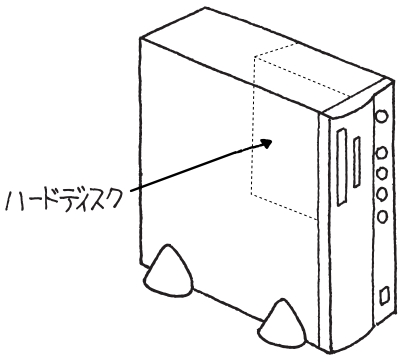
「印刷する」「プリントする」「プリントアウトする」「印字する」。これらは、みな同じ意味を持つ用語です。

情報を記憶するための装置

先ほど「本体はパソコンの頭脳である」と言いました。しかし、正確には少し違います。本体は「考えること」は得意なのですが、「覚えること」はちょっと苦手。電源を切るとそれまで覚えていたことをすべて忘れてしまいます。
こんな本体の特徴を助ける「記憶するための装置」を紹介しましょう。

●ハードディスク

本体の中に組み込まれている装置です。次に説明するフロッピーディスクの何百、何千枚分もの情報を覚えてくれる機械です。電源を切っても覚えた情報を失うことはありません。



チェック!!

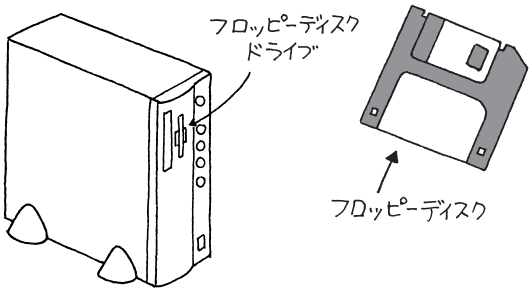
パソコンの電源を切る操作は、必ず正しい手順で行ってください。いきなりコンセントを抜いたりすると、ハードディスクの内容が壊れてしまうことがあります。

チェック!!

ハードディスクは振動に弱い機械です。特に電源が入っているときに本体を動かしたりしないように注意してください。

●フロッピーディスク

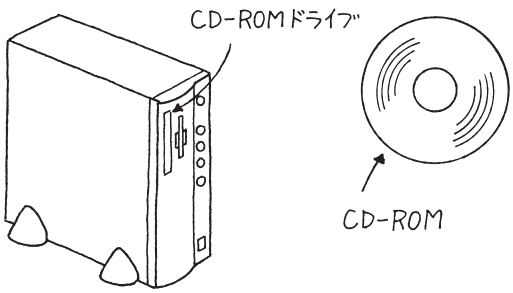
持ち運びのできる記憶媒体です。フロッピーディスクを使えば、あなたの作ったワープロの文書を友達に渡したり、友達の作ったペイントの絵をあなたのパソコンで見たりすることができます。本体の前面には、このフロッピーディスクを差し込む機械「フロッピーディスクドライブ」が付いています。



「ペイント」は、絵を描くためのアプリケーションです。アプリケーションについては、少し後ろで説明します。

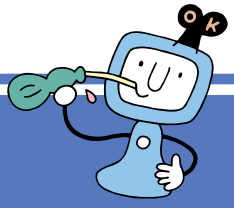
●CD-ROM（シーディーロム）

読み込み専用の記憶媒体です。CD-ROMに覚えさせてある情報（たとえばワープロの文書）を読み込む（＝呼び出す）ことはできますが、あなたの作ったワープロの文書を覚えさせることはできません。本体の前面には、このCD-ROMをセットする機械「CD-ROMドライブ」が付いています。



CD-ROMの「ROM」は、Read Only Memory（リードオンリーメモリー）の頭文字をとったもの。「読み込みだけができる装置」ということです。DVD-ROMモデルの場合には、CD-ROMドライブのかわりにDVD-ROMが付いています。通常のCD-ROMに加えて、DVD-ROMディスクからも情報を読み込むことができます。

本体はパソコンの頭脳。
ディスプレイは、パソコンがあなたへ情報伝達するための機械。
マウス、キーボードは、あなたがパソコンへ情報伝達するための機械。
プリンタは、紙に印刷する機械。
記憶装置は、覚えることの苦手な本体を助ける機械。
ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMなどがある。

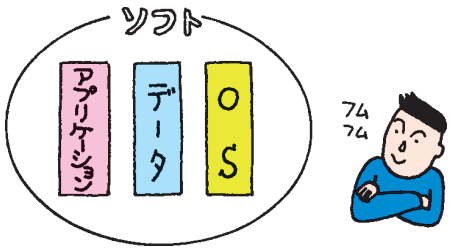


ソフトの話

続いて、パソコンの世界の「ソフト」について説明しましょう。

ソフトの種類

ここから、パソコンの世界の独特な概念の説明に入ります。多少難しい部分があるかもしれませんが、大切な知識ですので、じっくり読み進めてください。
まず最初に「パソコンのソフトには、アプリケーション、データ、OS（オーエス）の 3 種類がある」ということを頭に入れておいてください。



ソフトな道具箱＝アプリケーション

アプリケーションは、作品を創るための道具箱です。
たとえば、現実の世界であなたが水彩画を描くとしましょう。用意するものは、スケッチブックや絵具、筆、筆を洗う容器、水などですね。これらをひとつの箱にまとめておけば、いつでも写生に出かけられるので便利です。この便利な箱がパソコンの世界で「アプリケーション」と呼ばれるものです。「ある目的を達成するために必要な道具を集めてある道具箱」とも言えます。
道具箱はその目的に応じて使い分けます。たとえば、手紙を書きたいときは「一太郎」というワープロと呼ばれるアプリケーションを使います。ワープロの道具箱の中には、紙、鉛筆、定規‥などが入っています。絵を書きたいときは「ペイント」というアプリケーションを使います。ペイントの道具箱の中には、紙、鉛筆、筆、絵具、消しゴム、定規‥などが入っています。

アプリケーションのことを「応用ソフト」と呼ぶこともあります。

もちろん、ここでいう「紙」や「鉛筆」などは、あくまでもソフトの中だけで存在するもので、形あるものではありません。

ゲームもアプリケーション？そうです。ゲームの場合、何か作品を創るということはしませんが、あなたに達成感や爽快感を与えるための道具箱だと考えれば、納得していただけるでしょう。

ソフトな作品＝データ

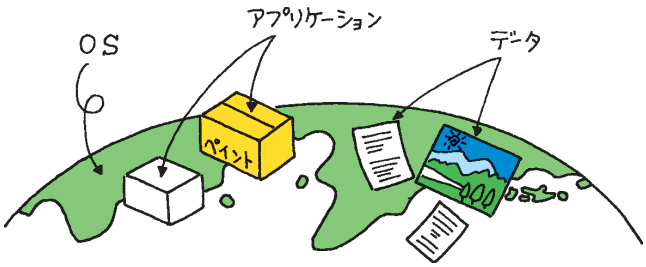
データは、アプリケーションで創ったあなた（あるいは他の人）の作品です。
たとえば、現実の世界であなたが描いた水彩画や、巨匠が描いた油絵。これがデータにあたります。
「ワープロ」アプリケーションで書いた企画書や手紙。「ペイント」アプリケーションで描いた風景画、猫の絵‥これらがパソコンのデータです。

ソフトな地球＝ OS

パソコンは、アプリケーションとデータだけでは動きません。アプリケーションやデータの土台となるためのソフト「OS」が必要です。
現実の世界の例でいえば、地球がなければ、あなたも紙も筆も存在しません。この「地球」ほど大切な基盤がパソコンの OS なのです。
このパソコンには、「Windows 98（ウィンドウズきゅうじゅうはち）」という OS が入っています。パソコンの電源を入れると最初に始まる（起動する）のが、この Windows 98 です。
ただ、もう少しパソコンに慣れるまで、しばらくは OS を意識する必要はないでしょう。

OS のことを「基本ソフト」と呼ぶこともあります。

「OS」は、Operating System（オペレーティングシステム）の頭文字をとったものです。



ポイント

ソフトには、アプリケーション、データ、OS の 3 種類がある。
アプリケーションは、ある目的を達成するために必要な道具を集めてある道具箱。
データは、アプリケーションで作った作品。
OS は、アプリケーションとデータの土台。

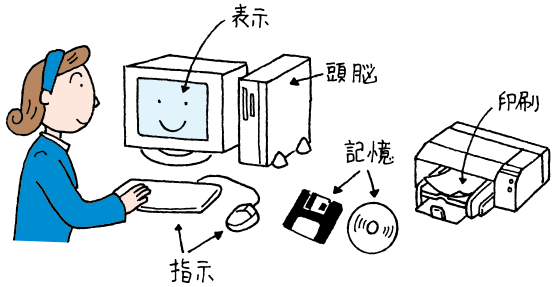
本来「ソフト」とはアプリケーション、データ、OS のすべてを含める用語です。しかし、時にはアプリケーションを指すときに「ソフト」という用語が使われている場合があります。

このPARTのまとめ

ここでは、パソコンの基本的な用語や考え方を勉強しました。

ハード

手で触れることのできるものです。
パソコンのハードには、本体、ディスプレイ、マウス、キーボード、プリンタ、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM などがあります。



ソフト

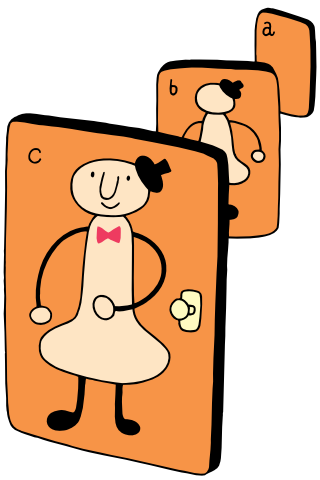
手で触れることのできないものです。パソコンのソフトには、アプリケーション、データ、OS の 3 種類があります。

PART

8

パソコン利用の心得

ここでは、パソコンの世界に足を踏み入れるときの心得を紹介しています。
パソコンは正しく使っていれば、とても便利な道具です。しかし、その反面、精密機械だからこそ、弱い部分もあるのです。
この心得を読んで、正しく快適にパソコンと付き合っていきましょう。



パソコンは怖くない

パソコンを怖がっていては何もできません。失敗しても、パソコンが壊れてしまうことはまずありません。でも、パソコンを壊さないように守ってほしいことをここでは紹介します。

最初は難しい用語や考え方もあるかもしれませんが、分かってしまえば簡単です。はじめは失敗しても当たり前。失敗を恐れずにどんどんチャレンジしていきましょう。

ただし、次の４つのことは守ってください。守らないとパソコンが壊れてしまうことがあります。

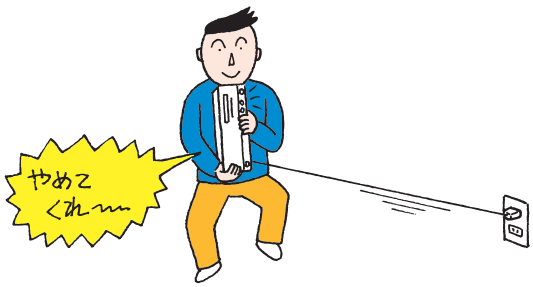
電源が入っているときに電源プラグを抜かない

パソコンの電源が入っているときに、コンセントの電源プラグを抜いたり、本体背面の電源ケーブルを抜いたりしないようにしてください。特に、他の人が足で引っかけてしまう場所に電源ケーブルがないかどうか確認してください。故障やデータの消失の原因になります。

他にも「停電」や「ブレーカーが落ちる」といった状況にも気をつけてください。

電源が入っているときに本体を移動しない

本体の中に入っているハードディスクは、構造上、振動に弱いものです。パソコンの電源が入っているときに本体を動かすと、このハードディスクが壊れてしまうことがあります。特に何かに「コツン」とぶつけたりするのが一番危険です。



お子様に注意

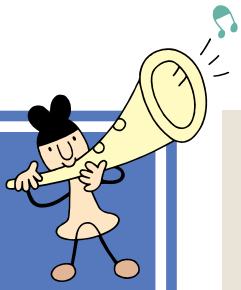
お父さんやお母さんが、本体にフロッピーディスクを入れているところを見て、小さい子がまねをします。おもちゃや硬貨を入れられないように注意してください。また、ボタンひとつでディスクトレイが出たり、入ったりするのも、子供にとっては楽しいおもちゃです。パソコンどころか、お子さんがケガをしてしまっては大変です。十分注意してあげてください。

何があってもあわてない

パソコンを使っているとき、どんなことが起こってもあわてないでください。失敗が失敗を呼び、大失敗につながります。次の手順で落ち着いて対処してください。

1. 現状　何がどうなったかを自分なりに判断する。
2. 原因　直前に何をしたか、思い出す。
3. 対処　アプリケーションを使っている場合には、「元に戻す」「取り消し」などの機能がないかどうか調べて、あったらその機能を使う。

参照
いろいろな困った状況での対処の方法については→『困ったときのQ＆A』



あなたのデータは あなたが守る

あなたのパソコンに入っているあなただけのデータを失わないためにも、「万が一」に備えることが大切です。

コンピュータウイルスにご注意！

コンピュータウイルスには、あなたの大切なデータを壊してしまうものもあります。とにかく、パソコンに慣れるまでは、出所のわからないCD-ROMやフロッピーディスク、データを使わないようにしましょう。

参照
コンピュータウイルスのチェックをしたいときは→『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除〈VirusScan〉」

バックアップを忘れずに

パソコンは精密機械。特にデータが入っているハードディスクはデリケートです。振動や衝撃、ほこりなどに弱く、扱い方に注意しないと故障の原因にもなります。故障とまでは行かなくても、データ作成中に停電が起きたりすると、作成中のデータが壊れることもあります。

たとえば、ハードディスクの故障や、あとから追加したアプリケーションによって動作が不安定になるなど、再セットアップが必要になったと仮定しましょう。
ハードディスクを新しいものに交換する、再セットアップするなどすれば、ハードディスクそのものは、ご購入時の状態に戻ります。このハードディスクにOS(Windows 98)やアプリケーションを組み込む作業は、手間と時間はかかりますが、難しいことではありません。しかし、失われたあなたの大切な文書や住所録、描いた絵などのデータ、受け取ったメールなどは、二度と戻りません。
このような場合に備えて、必要なデータのコピーを別の場所に保存しておくことが大切です。これを「バックアップを取る」と言います。

	データの一例
取り戻せないもの 自分で作ったデータや各種設定など	ワープロの文書 入力した伝票データ 送受信したメール インターネットの設定 メールのアドレス帳など
取り戻せるもの 再セットアップや再インストールすれば、元に戻るもの	OS(Windows 98) アプリケーションなど

パソコンの調子がおかしくなることもある。
大切なデータは、あらかじめバックアップをとっておくと安心。

バックアップを取る

ここではバックアップの具体的な方法と、上手にバックアップを取るためのヒントを見ていきます。

バックアップはいつ取るの？

「万が一」の事態はいつ起こるか分かりませんから、特に大切なデータは、データの作成ごとにバックアップを取る習慣をつけましょう。

データを作成したり、更新するたびにバックアップを取るのは面倒という方は、「毎週×曜日はバックアップ」などと日を決めて、必要なデータのバックアップを取る習慣をつけるとよいでしょう。

また、普段はバックアップを取っていない方もWindows 98を再セットアップしたり、アプリケーションのマニュアルなどにバックアップを取るように説明してあるときは、必要なデータのバックアップを必ず取ってください。

バックアップを取る方法

バックアップとは、必要なファイルを、現在使用しているハードディスクから、別の場所にコピーをして、予備を作っておくことです。パソコン本体にはフロッピーディスクドライブが最初からついているため、フロッピーディスクにバックアップを取る方法が一番最初に考えられます。しかし、フロッピーディスクは1枚の容量が少なく、大きなデータのコピーには不向きです(主なディスクの容量は次の表の通り)。

名　前	容　量	特　徴
フロッピーディスク	約1.4Mバイト	・手軽にデータを保存できる ・比較的容量が小さい ・別売のフロッピーディスクの購入が必要
MO PDなど	数百Mバイト	・大容量 ・別売MOやPDと、それらが扱える装置の購入が必要

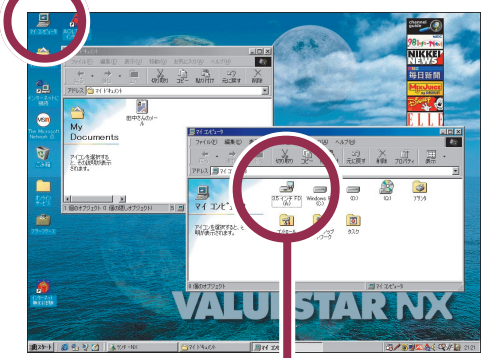
再セットアップ前には、必ずデータのバックアップを取るようにする。

フロッピーディスクにデータをコピーする

ここでは、My Documents フォルダに保存されているデータをフロッピーディスクにコピーする方法を一例として紹介します。

1 デスクトップの「マイドキュメント」をダブルクリックする

2 (マイ コンピュータ)をダブルクリックする



3 「マイ コンピュータ」ウィンドウ内の(フロッピーディスクドライブ) をダブルクリックする。

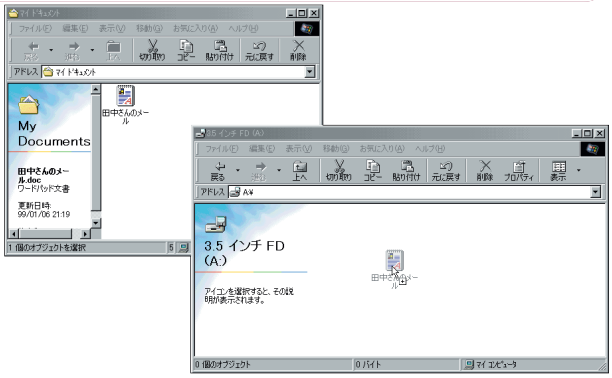
参照
データが保存される場所→アプリケーションのマニュアルおよびヘルプ

参照
ファイルとフォルダ→『STEP3　活用』PART1の「ドライブを開いてみよう」

参照
フロッピーディスクの使い方→『STEP3　活用』PART4の「フロッピーディスクを使う」

参照
保存したデータを探す→『STEP3 活用』PART3の「ファイルを探す」

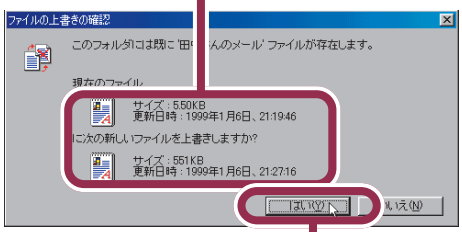
4 「マイドキュメント」ウィンドウ内のバックアップを取りたいファイルのアイコンを「3.5インチFD」ウィンドウにドラッグしてマウスポインタが になったらマウスの左ボタンを離す



以上でファイルがフロッピーディスクにコピーされました。

なお、次に同じファイルをコピーすると次のような画面が表示されます。

1 ファイルの日付を見て、上書きする方が新しいことを確認する



2 「はい」を選択する

参照
フロッピーディスクにコピーをする詳しい方法→『STEP3　活用』PART3の「ファイルをコピーする」

コピーをする対象がかわっても、この基本的な動作は変わりません。

バックアップのためのヒント

●ファイルはいつも決まった場所に保存・整理しておく

自分で作ったファイルを保存する場所を決めておき、必ずそこに保存するようにすれば、「どこに行ったかわからない」ということもなくなり、バックアップもやりやすくなります。
Windowsには、「My Documents」というフォルダが用意されていますので、そこに保存するようにするのもいいでしょう。

●Dドライブを使う

Cドライブに保存したデータは、Dドライブにもコピーを取っておくことをおすすめします。
Cドライブのシステムのみが壊れて再セットアップが必要になったときに、再セットアップ方法として「Cドライブのみ再セットアップする」を選ぶと、Dドライブのデータは失われないからです。

Dドライブにコピーを取っておいても、内蔵のハードディスク自身が壊れた場合はデータは失われてしまいます。本当に必要なデータは、フロッピーディスクやMOディスク、外付けハードディスクなどにバックアップを取るようにしてください。

参照
Dドライブにデータのコピーを取る
→『困ったときのQ&A』PART3の「Cドライブのみ再セットアップする（カスタム再セットアップ）」

参照
Cドライブのみ再セットアップする
→『困ったときのQ&A』PART3の「Cドライブのみ再セットアップする（カスタム再セットアップ）」

バックアップこんなときは

データが１枚のフロッピーディスクに入りきらない

もっとたくさんのデータが保存できるMOディスクドライブや、外付けハードディスクを増設して、そこにコピーしてください。MOディスクドライブや外付けハードディスクの増設のしかたは、ご購入のタイプ別に『拡張の手引き』の該当するPARTをそれぞれ参照してください。コンパクトタイプの場合「PART7 ハードディスクを増設する」「PART10 その他の機器を使う」、ミニタワータイプの場合「PART7 ハードディスクを増設する」PART8 その他の機器を使う」、ボックスレスタイプの場合「PART6 ハードディスクを増設する」「PART12 その他の機器を使う」

自分で作ったファイルがどこにあるのか分からない

Windowsの検索機能を使って探してみましょう。
検索機能の使い方は、『STEP3 活用』PART3の「ファイルを探す」を参照してください。

アプリケーションによっては、ファイルの保存場所が決められていて、どこに保存するかを指定しない場合は、自動的にそこに保存されます。
このパソコンにインストールされているアプリケーションの一部について、ファイルがどこに保存されているかが、『困ったときのQ&A』PART3の「Cドライブのみ再セットアップする（カスタム再セットアップ）」で紹介されています。
参考にして必要なファイルをバックアップしてください。

チェック!!

日付による検索もできます。購入日以降に作成・更新されたデータを探すときに便利です。

チェック!!

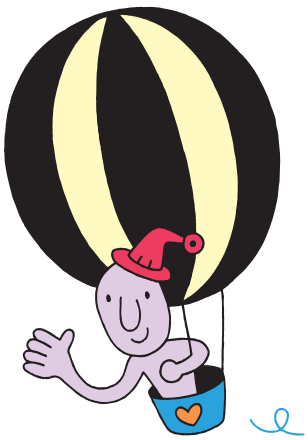
フォルダの中のどのファイルをバックアップしていいかわからないときは、フォルダごとバックアップしておくといいでしょう。

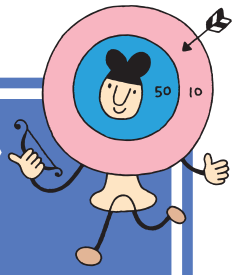
PART

9

さらに広がるパソコンワールド

ここでは「もっと、もっとパソコンを活用したい」という方のために、このパソコンに入っている他のソフト（アプリケーションやデータ）を紹介します。また、市販のソフトの買い方や、さらに可能性を広げるパソコン機器についても説明します。





アプリケーションを使おう

このパソコンには、まだまだいろいろなアプリケーションが入っています。ここでは、あなたのパソコンに入っている主なアプリケーションを紹介しましょう。

チェック!!

パソコンに添付されているアプリケーションは、ご購入されたモデルによって異なります。

パソコンの使い方を学びたい

●このパソコンについて知りたい

「パソコン探検箱」

「ランチ-ＮＸ」→「メインメニュー」にあります。

パソコンの画面で見る便利なことを集めたマニュアルです。このパソコンで、何ができるかを説明しています。実際にパソコンを操作しながら、使ってみましょう。

参照

使い方→このPARTの「パソコン探検箱を見てみよう」(p.174)

●パソコンの使い方を知りたい

「CyberCoach-NX(サイバーコーチエヌエックス)(操作レッスン)」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」または「スタディ＆ヘルプ」の中にあります。

マウスやWindows 98の操作、文字入力、アプリケーションの使い方を音声とアニメーションで分かりやすく説明してくれます。自分でも実際に操作して、楽しく覚えましょう。

参照

使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「パソコンの使い方を学ぶ」

●Windows 98の使い方を知りたい

「パソコン大学一年生 for Windows98」

「ランチ-NX」→「スタディ＆ヘルプ」の中にあります。

Windowsの操作方法を、基礎から活用のしかたまで4つのステップに分けて、画面と音声で分かりやすく説明してくれます。

●文字を打つ練習をしたい

「MAGIC（マジック） FLIGHT（フライト）（タイプレッスン）」

「ランチ-NX」→「スタディ＆ヘルプ」の中にあります。

初心者の人でも、ゲーム感覚で楽しく簡単にキーボードを打つ練習ができます。

参照

使い方→『STEP3 活用』付録の「パソコンでWindows 98を学ぶ」

チェック!!

「パソコン大学一年生」を使うときは、CD-ROMが必要です。添付の「パソコン大学一年生CD-ROM」を用意してください。

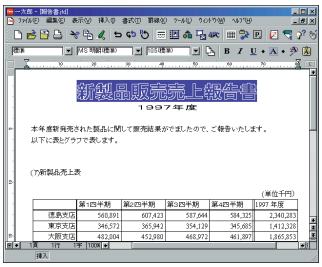
生活の中で役立てたい

●案内状、回覧文書、手紙などを作りたい

「一太郎9」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

文書を作成する、「ワープロ」と呼ばれるアプリケーションです。文字はもちろん、表や図形などを文書の中に入れたり、画像を貼り付けることもできますので、表現力のある案内状、手紙などを作成できます。



「パソコン大学一年生 for 一太郎9」

「ランチ-NX」→「スタディ＆ヘルプ」の中にあります。

「一太郎9」の使い方を、初めての人でも簡単に使いこなせるように、画面と音声で分かりやすく説明してくれます。

参照
使い方→「PART5 キーボードに慣れよう」(p.51)、「PART6 ワープロをもっと楽しもう」(p.85)

参照
使い方→PART6の「さらに一太郎を使いこなす」(p.111)

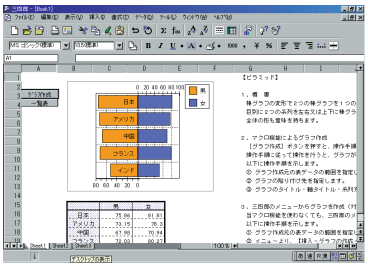
チェック!!
「パソコン大学一年生」を使うときは、CD-ROMが必要です。添付の「パソコン大学一年生CD-ROM」を用意してください。

●表やグラフを作りたい

「三四郎8」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

縦横に並んだ数字を計算したり、集計したりする「表計算」と呼ばれるアプリケーションです。表やグラフも簡単に作れます。住所録や名簿の作成にも便利です。



「パソコン大学一年生 for 三四郎8」

「ランチ-NX」→「スタディ＆ヘルプ」の中にあります。

「三四郎8」の使い方を初めての人でも簡単に使いこなせるように、画面と音声で分かりやすく説明してくれます。

参照

使い方→「一太郎9パック」に含まれているマニュアル

チェック!!

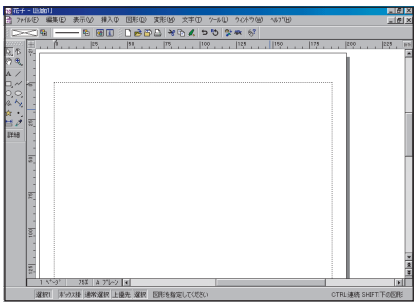
「パソコン大学一年生」を使うときは、CD-ROMが必要です。添付の「パソコン大学一年生CD-ROM」を用意してください。

●正確な図形を作りたい

「花子9」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

精密な図形を、初心者の方でも作成できる図形プロセッサです。5000点以上の豊富な部品、優れたファイル互換により、多種多様なグラフィックを作成することができます。



参照

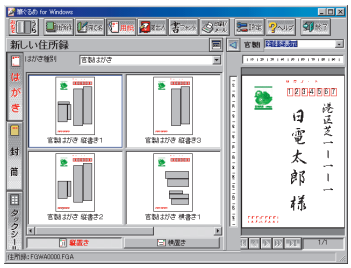
「一太郎9パック」に含まれているマニュアル

●はがきを作成したい

「筆ぐるめ」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

毛筆書体を使っての年賀状や暑中見舞いはもちろん、ちょっとした時候のあいさつも簡単に作成できます。住所管理もできるので面倒な宛名書きも簡単にできます。



参照

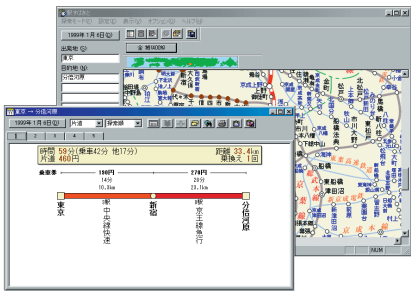
使い方→ 「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「年賀状を作る（1）（筆ぐるめ宛て名編）」または「年賀状を作る（2）（筆ぐるめデザイン編）」

●お出かけ先までの時間や経路を知りたい

「駅すぱあと」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

出発地と目的地を指定すれば、日本全国の駅間を移動するための乗り換え方や所要時間、運賃などを調べることができます。お出かけ先までの近道やいちばん安い運賃で行く方法が簡単に分かります。



参照

使い方→ 「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「経路や交通費を調べる（駅すぱあと）」

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「ちょっとした小道具」

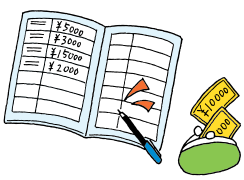
または「スタート」-「プログラム」-「駅すぱあと 全国版」-「駅すぱあとオンラインマニュアル」

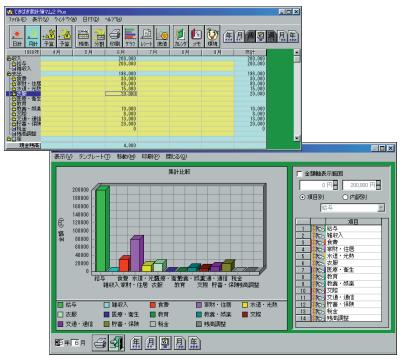
●家計簿をつけたい

「てきぱき家計簿マム２Plus」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

計算が面倒な家計簿も「てきぱき家計簿マム２Plus」を使えば、簡単につけることができます。グラフもつくることができますので、月ごとに家計の分析も簡単にできます。





参照

使い方→ 「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「家計簿をつける（てきぱき家計簿マム）」

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「表やグラフを作る、家計簿をつける」

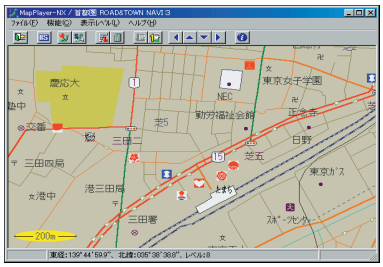
または、「てきぱき家計簿マム２Plus 操作マニュアル」

●カーナビゲーション用の道路地図を見たい

「MapPlayer-NX（カーナビCD）」

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。

カーナビゲーション用地図CD-ROMを見ることができます。目的地までの道路情報などをあなたのパソコンで調べることができます。



© ZENRIN

●スケジュールや住所録などを管理したい

「FullBand」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

スケジュールや住所録を管理したり、また、ちょっとしたメモ帳代わりなど、あなたのシステム手帳として使うことができます。電子メールアドレスも管理でき、インターネットで電子メールの送受信もできます。

●辞書を使って知らないことを調べたい

「JUSTSYSTEM電子辞書ライブラリ」

CD-ROMに入った辞書です。国語辞典、英和辞典、和英中辞典の3種類の辞書を1枚のCD-ROMに収めており、言葉に関するさまざまな情報を得ることができます。

チェック!!

このパソコンには地図CD-ROMは添付されていません。地図CD-ROMを見るためには、別途、地図CD-ROMを購入する必要があります。

参照

使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「音楽CDやDVDを楽しむ」

参照

使い方→「一太郎9パック」パッケージに含まれているマニュアル

インターネットを始めたい

●インターネットについて知りたい

「インターネットチュータ」

「ランチ-NX」→「スタディ＆ヘルプ」の中にあります。

実際にインターネットに接続しなくても、インターネットがどういうものかを疑似体験できます。

●インターネットを今すぐやってみたい

「インターネット無料体験」

デスクトップに「インターネット無料体験」アイコンがあります。

パソコンと電話回線を接続すれば、あとはアイコンをクリックするだけで、インターネットの世界を無料で体験できます。気軽にインターネットの世界を覗いてみましょう。

参照
使い方→『インターネット入門』PART1の「インターネットチュータで練習してみる」

チェック!!

- インターネット接続サービス料金は無料ですが、電話料金の費用はかかります。
- 「無料体験」ができるのは、合計5時間までです。また、体験期間は体験を開始した日から31日間です。

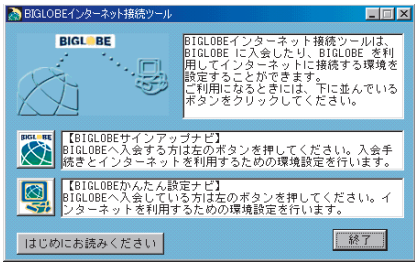
参照
使い方→『インターネット入門』PART2の「インターネット体験を始める」

●インターネットを始めたい

「BIGLOBE（ビッグローブ）インターネット接続ツール」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

パソコンと電話回線を利用して、画面の指示にしたがっていけば、NECのインターネット接続サービス「BIGLOBE」（ビッグローブ）に入会できます。また、インターネットに接続するための設定も簡単にできます。



参照
使い方→『インターネット入門』PART3の「BIGLOBEの入会手続きを行う」

「AOLで簡単インターネット」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

パソコン通信サービスおよびインターネット接続サービス「AOL」を利用できます。またAOLへの入会手続きもできます。

参照
使い方→『AOLハンドブック』

「ニフティサーブでインターネット」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

インターネット接続サービス「ニフティサーブ」を利用できます。また、ニフティへの入会手続きや、パソコン通信用ソフト「NIFTY MANAGER」をインストールすることができます。

●いろいろなホームページを見たい

「インターネットエクスプローラ」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

インターネット上のいろいろなホームページを見ることができます。一度見て、気に入ったホームページを「お気に入り」として登録したり、ホームページの検索ができます。

参照
使い方→『インターネット入門』の「PART4 インターネットをもっと楽しむために」

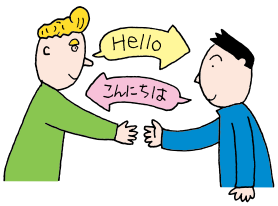
さらにインターネットを楽しみたい

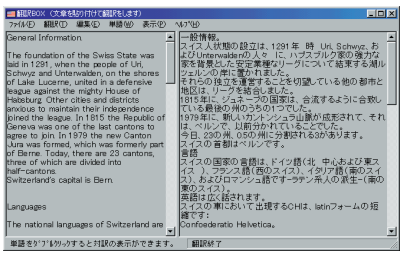
●英語のホームページを翻訳したい

「翻訳アダプタ II CROSSROAD（クロスロード）」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

「英語のホームページは見たいけど、英語がわからない」という方でも、大丈夫です。「翻訳アダプタ II CROSSROAD」が英語から日本語に翻訳してくれます。日本語から英語への翻訳もできるので、英語で電子メールを書くときにも、とても便利です。





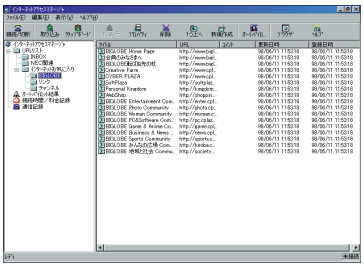
参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「インターネットへの招待」

●接続時間や料金の管理がしたい

「インターネットアクセスマネージャ」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

電話料金の安い夜間など、あらかじめ設定した時間になると自動的にインターネットに接続して、ホームページの情報を取ってきてくれる機能（オートパイロット機能）や電話料金、インターネットの接続料金を管理してくれる機能があります。

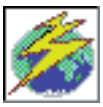


参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「インターネットへの招待」

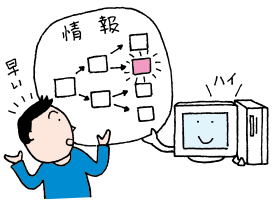
●ホームページからほしい情報をすばやく検索

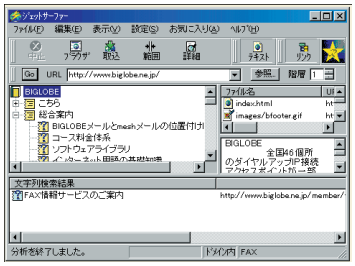
「ジェットサーファー」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。



ホームページにはたくさんのリンクが用意されています。いちいちホームページを調べなくても、簡単な操作でリンク先の情報を集めてきて一覧でリンク先が表示されるので、欲しい情報をすばやく見つけることができます。





参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「インターネットへの招待」

●ホームページのアドレス入力を簡単にしたい

「Hatch inside（ハッチインサイド）」

画面の右下のタスクバーの中にあります。

文字、数字、記号の並んでいるホームページの長いアドレスを正確に入力するのは大変です。「Hatch inside」は、ホームページのアドレスを数桁の数字で簡単に入力できるようにするアプリケーションです。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「インターネットへの招待」

●ホームページの情報を保存したい

「ホームページスクラップブック」

「ランチ-ＮＸ」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

ホームページの情報を見たままの形で整理することができます。まるで新聞や雑誌を切り抜いてスクラップブックを作るように、気に入った情報や大事な情報を整理できます。また整理した内容は最新の情報に更新できます。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「インターネットへの招待」

●自分のホームページを作成したい

「FrontPage Express（フロントページエクスプレス）」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

ホームページ（HTML文書）がワープロを使う感覚で作れます。あなたも自分のホームページを作ってみましょう。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「インターネットへの招待」

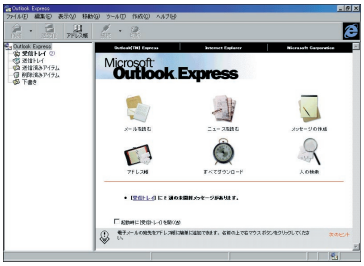
電子メールを使ってみたい

●電子メールを作成したい

「Outlook Express（アウトルックエクスプレス）」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

インターネットでの電子メールの送受信ができます。アドレス帳もあるので住所管理も簡単にできます。電子メールを使って、コミュニケーションの輪を広げましょう。



参照
使い方→『インターネット入門』の「PART6 電子メールをやりとりする」

「Shuriken（シュリケン）」

「一太郎9パック」に含まれているインターネットメール用のアプリケーションです。シンプルで使いやすい環境と、多彩な仕分け機能などを兼ね備えています。

「ハローキティのハッピーメール」

普段、手紙を書くときのように、キティのイラストの入った可愛い便せんを選んで、電子メールを送ることができます。メールが届いたときには、キティが画面を歩いて知らせてくれます。

サンリオキャラクター © 1976, 1998, 1999 SANRIO CO.,LTD.
APPROVAL No. T006022

チェック!!

購入時は、「ハローキティのハッピーメール」はインストールされていません。アプリケーションCD-ROMを用意して、インストールを行ってください。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「インターネットを活用する」

ＦＡＸをしたい、電話番号を調べたい

●ＦＡＸ機能を使いたい

「FAX-NX（FAX）」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

パソコンをFAXとして使うことができます。パソコンで作成したデータをそのままFAX送信したり、さらに留守中に届いたFAXを自動的に受信する留守番電話としても使えます。

Portion of this program
Copyright 1982-1996
Pervasive Software. Inc.
All Rights Reserved

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「FAX-NX送信編」および「FAX-NX受信編」
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「FAXを送る、電話番号を調べる」

「FAX-NX（アドレス帳）」

「ランチ-NX」→「メインメニュー」の中にあります。

住所や電話番号、FAX番号などを管理できます。アドレス帳から相手先を指定するだけで、FAXを送ることができます。また、はがきの宛名印刷もできます。

●電話番号を調べたい

「Angel Line（電話案内）」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

電話番号がわからないときにNTTの「104」にかけて、電話番号を調べたことのある方も多いでしょう。電話回線と接続すれば、パソコンでも同じことができます。電話番号だけではなく、住所も調べられます。

「Angel Line（アドレス帳）」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

「Angel Line（電話案内）」で調べたり、保存した電話番号を見ることができるアプリケーションです。電話番号や住所を集めた、住所録として使うことができます。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「FAXを送る、電話番号を調べる」

写真や絵を加工したい

●必要な画像をすばやく見つけたい

「Thumbs Studio」

「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」の中にあります。

ハードディスクやCD-ROMに入っている画像を一覧表示することができるので、欲しい画像をすばやく見つけることができます。また、画面いっぱいに画像を表示して鑑賞できる「スライドショー機能」もあります。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「写真や絵を加工する」

●オリジナル画像を作りたい

「PictureStudio Light」

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。

画像を作成するアプリケーションです。デジタルビデオカメラで撮った写真を加工したりすることもできます。また、自分のホームページで使いたい画像も作れます。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「デジカメの写真を加工（PictureStudio Light）」
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「写真や絵を加工する」

●電子アルバムを作りたい

「アルバム工房Light」

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。

パソコンでアルバムが作れます。デジタルカメラなどで撮った写真をアルバムにすることができます。

「アルバム工房 入門ガイド」

「アルバム工房Light」の使い方を電子アルバムで読むことができます。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「写真や絵を加工する」

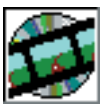
チェック!!
「アルバム工房入門ガイド」を使うときは、CD-ROMが必要です。添付のアプリケーションCD-ROMを用意してください。

音楽や画像を楽しみたい

●音楽CDやビデオCDを再生したい

「プレーヤ-NX（CDプレーヤ）」

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。



パソコンでCDを聞くことができます。音楽CDだけでなく、ビデオCDやフォトCDも見ることができます。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「音楽CDやDVDを楽しむ」

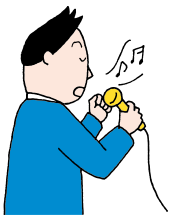
参照
CD-ROMの扱い方→このPARTの「CD-ROMの扱い方」（p.158）

●カラオケをしたい

「インターネット カラオケキング」

「ランチ-NX」→「ホーム＆ゲーム」の中にあります。

インターネットを使って、カラオケを楽しむことができます。音楽データを受信して、演奏する通信カラオケのアプリケーションです。好きな曲を受信して、最新の曲をマスターしましょう。



© 1997 Music Network Corporation
© 1997 KORG Inc

参照
「インターネット カラオケキング」のヘルプ

カラオケデータは有料です。

●音量の調整をしたい

「ボリュームコントロール」

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。

パソコンから出る音量をコントロールします。音量が小さい場合や大きすぎて音割れがあるときに調整してください。

参照
使い方→『リファレンス』PART2の「サウンド機能」

●動画データを見てみたい

「メディアプレーヤー」

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。

動画データや、音声データ、音楽データなどを再生するためのアプリケーションです。

参照
使い方→メディアプレーヤーのヘルプ

●自分の声を録音したい

「サウンドレコーダー」

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。

音声データの録音や再生ができるアプリケーションです。別売のマイクロホンを使えば、自分の声を録音することができます。

参照
使い方→『拡張の手引き』PART3の「マイクロホンを使う」

●DVD VIDEOディスクを見たい

「DVDプレーヤ」（DVD-ROMモデルのみ）

「ランチ-NX」→「マルチメディア」の中にあります。

ＤＶＤ VIDEOディスク映像を見ることができます。ＤＶＤならではの、美しい映像とデジタルサウンドが楽しめます。DVD-ROMモデルに添付されている「大自然の驚異 氷河大崩落～南米・パタゴニア～」を鑑賞しましょう。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「音楽CDやDVDを楽しむ」

●DVD-ROMタイトルを使いたい

「宇宙戦艦ヤマト Master Edition DVD-ROM」（DVD-ROMモデルのみ）

宇宙戦艦ヤマトの第１シリーズのストーリーや資料をデジタルメディア上で復刻したDVD-ROMタイトルです。3D-CGで再現されたヤマト艦内の主要場所を歩き回ったり、設定資料や名場面映像を見ることができます。

© 松本零士／株式会社東北新社
© NECインターチャネル株式会社

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「音楽CDやDVDを楽しむ」

●地上波データ放送を楽しみたい

「ビットキャストブラウザ」（TVモデルのみ）

ＴＢＳ(株)東京放送、ＭＢＳ(株)毎日放送、(株)フジテレビジョン、ＢＳＮ(株)新潟放送)が行っている地上波データ放送を見るためのソフトです。

参照
使い方→『TVモデルガイド』PART1の「ビットキャスト放送を受信する」

●ＡＤＡＭＳ（アダムス）放送を楽しむ

「ＡＤＡＭＳ（アダムス）ナビ」（TVモデルのみ）

テレビ朝日系列局で放送されている地上波データ放送を見るためのソフトです。データは、ＡＤＡＭＳナビから起動されるInternet Explorerなどの Webブラウザで見ることができます。

参照
使い方→『TVモデルガイド』PART1の「ADAMS放送を見る」

●文字放送を楽しみたい

「モジモジ-NX」（TVモデルのみ）

各テレビ局で放送されている文字放送を楽しむことができます。ニュースや生活情報など、現在、１０種類以上の文字放送番組があります。

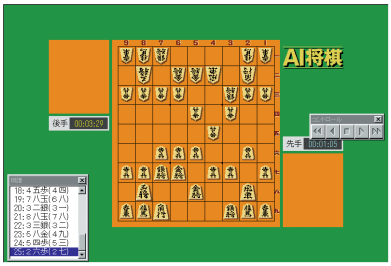
参照
使い方→『TVモデルガイド』PART1の「文字放送を見る」

ゲームで遊びたい

●将棋を対局したい

「AI将棋 Ver.1.5R」

自分の実力に応じて3段階のレベルが選べます。それ以外にも「駒落ち」による対局や「待った」をして好きなところまで局面を戻すことも可能です。「AI将棋」で棋力をアップしましょう。



© 1993-7 Hiroshi Yamashita
© 1997 ASCII SOMETHING GOOD CORPORATION

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

●競馬の予想をしてみたい

「競馬道3」

中央競馬のレースを予想するための支援アプリケーションです。各馬の平均タイムや脚質、距離適性などのデータが入っています。任意に最大8項目のデータ項目を選び、ユーザ独自の理論設定により、予想ができます。豊富なデータベースには検索機能も完備。また、インターネットを通じて、データの更新も可能です。

© 1998 NEC Interchannel,Ltd./ テレビ東京 / 株式会社競馬ブック

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

1998年1月～12月のレースデータを収録しています。インターネットでのデータの更新は有料です。

●カードゲームを楽しみたい

「ソリティア デラックス」

ひとり遊び用のカードゲームを24種類集めたゲーム集です。その日の気分に合わせて、ゲームを変えて楽しめます。いくつかのゲームをクリアしていく「ツアーモード」もあります。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

●パズルゲームをしたい

「グローカル ヘキサイト（GLOCAL HEXCITE）」

三角形、ひし形や台形などを使ったパズルゲームです。ルールはとてもシンプルで、7種類の形の手駒をおいて、ポイントを取っていくだけです。

●Windowsに付いているゲームをしたい

「ランチ-NX」→「ホーム＆ゲーム」の中にあります。

「フリーセル」

数字の小さい順に、すべてのカードを積んでいくカードゲームです。

「マインスイーパ」

地雷をクリックしないようにしながら、地雷の位置を当てていくゲームです。

「ハーツ」

手持ちのカードを場に捨てていき、持ち点を争うゲームです。

「ソリティア」

場に出ているカードを順番に積み重ねていくゲームです。

参照

使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

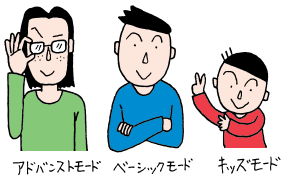
パソコンを守りたい

●子供が使うときにパソコンの機能を制限したい

「CyberTrio-NX（サイバートリオエヌエックス）（利用者モード）」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

パソコンを、操作ミスやいたずらから守るために、Windows 98の機能を制限します。
登録したアプリケーションのみが使える「キッズモード」、利用環境をむやみに変更できないようにする「ベーシックモード」、利用環境を制限しない「アドバンストモード」の3つのモードがあります。利用する人や環境に合わせて、お使いください。



チェック!!

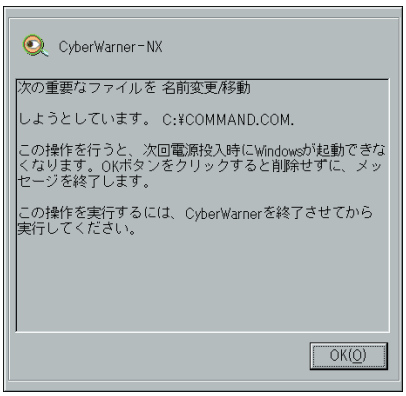
購入時は「ベーシックモード」です。通常は「ベーシックモード」でお使いになることをおすすめします。

参照
使い方→『リファレンス』PART1の「Windows 98の利用環境の変更<CyberTrio-NX>」

●重要なファイルを守りたい

「CyberWarner-NX（サイバーワーナーエヌエックス）」

常にWindows 98の動作を監視して、パソコンが動くために必要なファイルを、操作中に誤って削除したり、変更しようとしたときに警告などを表示してくれます。



チェック!!

購入時は「CyberWarner-NX」は起動していません。CyberWarnerの機能を使うにはCyberWarnerが常に起動している状態にする必要があります。

参照
使い方→『リファレンス』PART1の「Windows 98の動作の監視<CyberWarner-NX>」

●コンピュータウィルスからパソコンを守りたい

「VirusScan（ウイルススキャン）（ウイルスチェッカー）」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

インターネットやフロッピーディスクなどを利用して、プログラムやデータのやり取りをしていると、コンピュータウイルスに感染する可能性があります。「VirusScan」は、コンピュータウイルスの検査と、感染した場合の駆除ができます。

チェック!!

購入時は「VirusScan」は起動していません。VirusScanの機能を使うにはVirusScanを起動する必要があります。

参照

使い方→『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除<VirusScan>」

音声で操作したい

●音声でアプリケーションを操作したい

「SmartVoice」

音声でアプリケーションを起動したり、メニューを操作することができます。専用のエディタを使えば、音声で文章を入力することもできます。
※別途、マイクが必要です。
　ヘッドセットマイクを推奨しています。

チェック!!

使用環境、語い、発声のしかた、発声のスピードなどによっては、十分に音声が認識されない場合があります。アプリケーションによっては音声で操作できない場合があります。

チェック!!

ヘッドセットマイクの購入については「SmartVoiceユーザーズガイド」綴じ込みの「ヘッドセットマイク購入申込書」をご覧ください。

参照

使い方→添付の『SmartVoiceユーザーズガイド』

●音声で文章を入力したい

「VoiceATOK for SmartVoice」

日本語変換システムATOK12の音声認識対応版です。
ワープロなど別のアプリケーションへ、音声で文章を入力することができます。
※別途、マイクが必要です。
　ヘッドセットマイクを推奨しています。

チェック!!

使用環境、語い、発声のしかた、発声のスピードなどによっては、十分に音声が認識されない場合があります。アプリケーションによっては音声で操作できない場合があります。

チェック!!

ヘッドセットマイクの購入については「SmartVoiceユーザーズガイド」綴じ込みの「ヘッドセットマイク購入申込書」をご覧ください。

パソコンの設定をしたい

●自動的にパソコンを起動したり終了したい

「Timer-NX（スケジューラ）」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

ビデオのタイマー予約をするように、好きな時刻にアプリケーションを起動することができます。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「パソコンの設定をする」

●画面の設定を変えたい

「画面の設定」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

画面のさまざまな設定を変更できます。画面の色の数（表示色）や細かさ（解像度）、背景（壁紙）などの設定を変更するときにお使いください。

参照
『STEP3 活用』のPART5「画面の設定を変える」

●アプリケーションの追加や削除をしたい

「アプリケーションの追加と削除」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

新しいアプリケーションをインストール（追加）するときや、使わないアプリケーションを削除するときに使います。

参照
使い方→『リファレンス』の「PART3 アプリケーションの削除と追加」

●アプリケーションのアイコンを整理したい

「ランチ-NX」

「ランチ-NX」では登録されているアプリケーション起動ボタンのグループを編集できます。自分で使いやすいように「ランチ-NX」を設定しましょう。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「パソコンの設定をする」

●CD-ROMをセットしたら自動的に起動させたい

「ＣＤランチ」

音楽ＣＤやビデオＣＤ、カーナビゲーション用地図ＣＤ-ＲＯＭなど、いろいろなCDをＣＤ-ＲＯＭドライブにセットしたときに、対応するアプリケーション（「プレーヤ-NX」、「MapPlayer-NX」）などを自動的に起動します。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「パソコンの設定をする」

●海外製アプリケーションを使いたい

「英語モードフォント」

英語版Windows 98のアプリケーションを使うときは、文字を正しく表示させるために、英語モードフォントを使います。

参照
使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「パソコンの設定をする」

ちょっとした小道具

●簡単な文書を作成したい

「ワードパッド」

簡単な文章を書きたいときに使います。文字の大きさを変えたり、絵を貼り付けることができます。

参照
使い方→「ワードパッド」のヘルプ

「メモ帳」

メモを取りたいときなど、文字だけの文章を書きたいときにお使いください。

参照
使い方→「メモ帳」のヘルプ

●お絵かきをしたい

「ペイント」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

マウスなどを使って、簡単に絵を描くことができます。

参照
使い方→PART4の「ペイントで簡単に絵を描く」（p.37）

●電卓で計算したい

「電卓」

「ランチ-NX」→「ユーティリティ」の中にあります。

計算ができる、文字どおりの「電卓」です。普通の電卓としてだけではなく、関数の計算もできます。

参照
使い方→「電卓」のヘルプ

●文章を音声で読み上げて欲しい

「テキストリーダ」

クリップボードにコピーされた文章を、音声で読み上げます。入力した文章を音声で読み上げて確認したいときなどに利用できます。

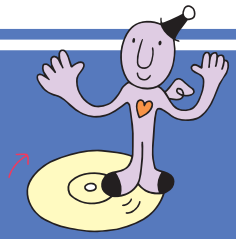
●パソコン同士でファイルのやりとりをしたい

「Intellisync」（ボックスレスタイプのみ）

ケーブル接続や赤外線接続を使って、パソコン間で簡単にファイル交換ができるアプリケーションです。「Intellisync」をファイル交換を行う2台のパソコンにインストールし、正しく設定を行った後、パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続して使います。

参照
使い方→ 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「ちょっとした小道具」

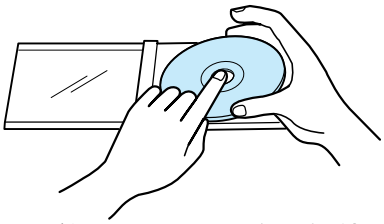
CD-ROMの扱い方



ここではCD-ROMやDVD-ROMの取り扱いに関する注意と、CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする方法を説明します。

CD-ROM、DVD-ROMの取り扱い上の注意

・ケースから出すときは、ケースの中央部分を押しながら取り出します。



・信号面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。

・表面にラベルなどを貼らないでください。

・キズを付けたり、文字を書いたりしないようにしてください。

・上に重いものをのせたり、曲げたりしないでください。

・落としたりしないようにしてください。

・汚れたときは、柔らかい布で内側から外側に向けて拭いてください。

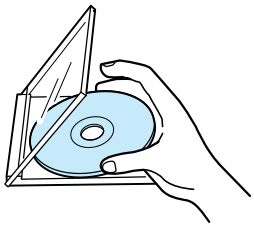
・清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。

・ベンジン、シンナーなどで拭かないようにしてください。

・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。

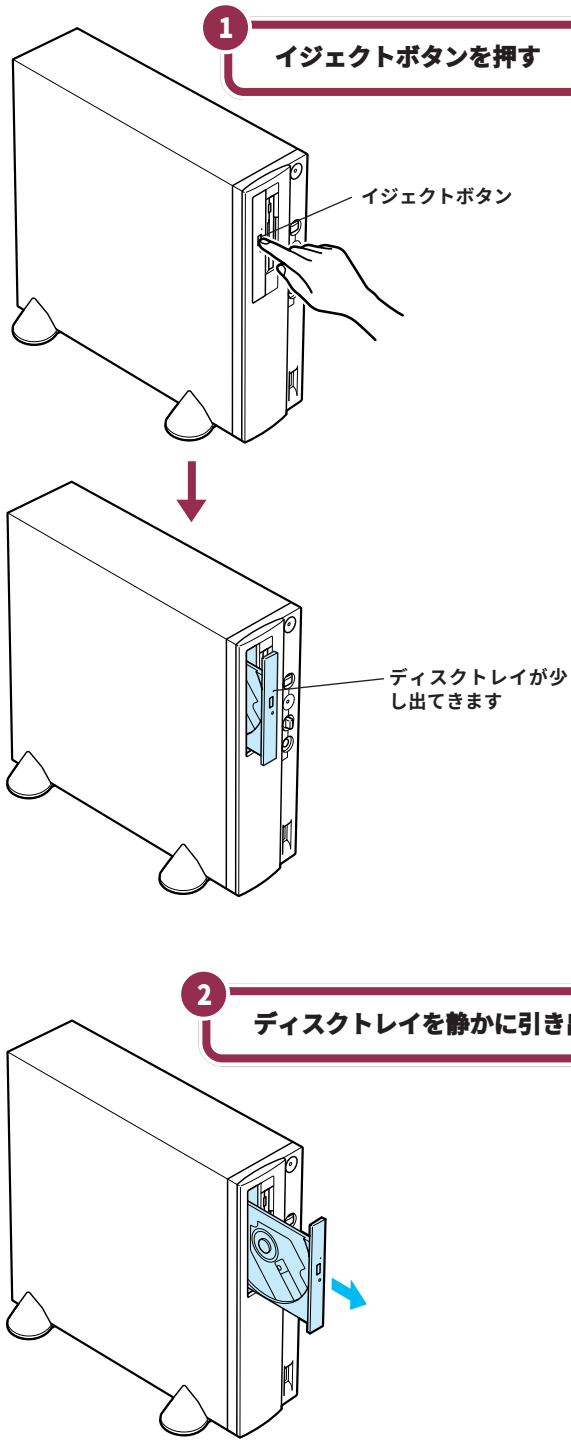
・直射日光のあたる場所や温度の高い場所に保管しないでください。

・使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。



CD-ROMの入れ方と出し方（コンパクトタイプの場合）

●CD-ROMを入れる方法

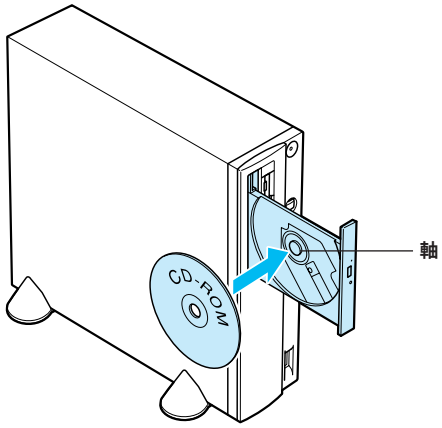


TV モデルには、DVD-ROM ドライブが搭載されています。DVD-ROM も基本的な取り扱い方は CD-ROM と同じです。やさしく取り扱ってください。

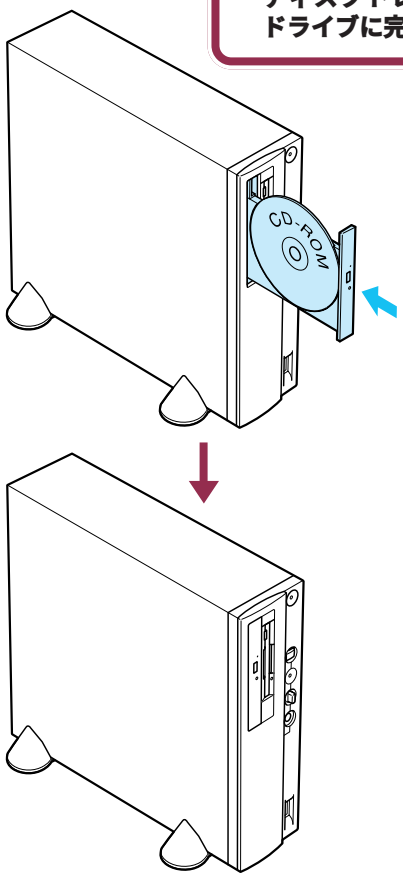
チェック!!

CD-ROMの出し入れは、本体の電源が入っているときにしかできません。

3 CD-ROMのラベル面（文字などが印刷されている面）を左にしてディスクトレイの中央の軸にしっかりはめ込む



4 ディスクトレイを押して、ドライブに完全に収める

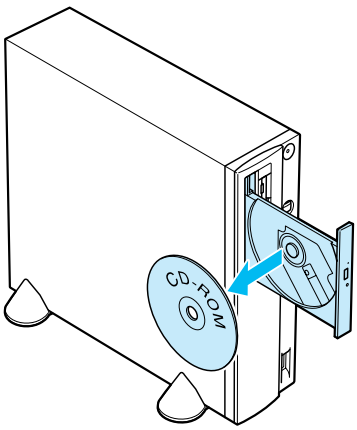


チェック!!

ディスクトレイを押す際に、イジェクトボタンに触れないように注意してください。

●CD-ROMを取り出す方法

1. イジェクトボタンを押す
2. ディスクトレイを静かに引き出す
3. ディスクトレイから CD-ROM を取り外す



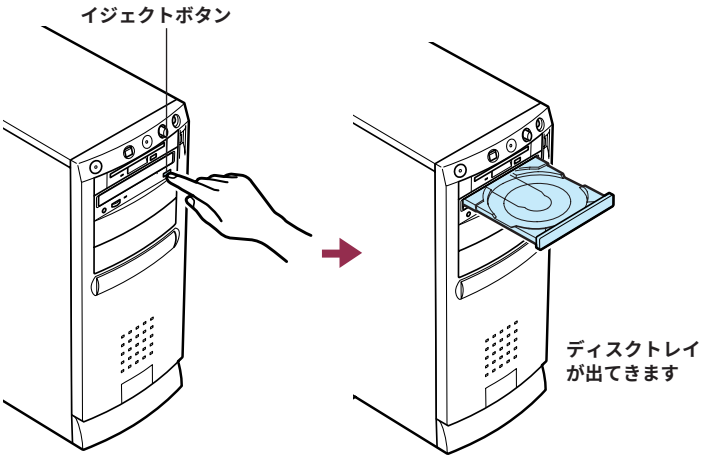
4. ディスクトレイを押して、ドライブに完全に収める

参照
イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合→『リファレンス』PART2の「CD-ROMなどの取り扱い」

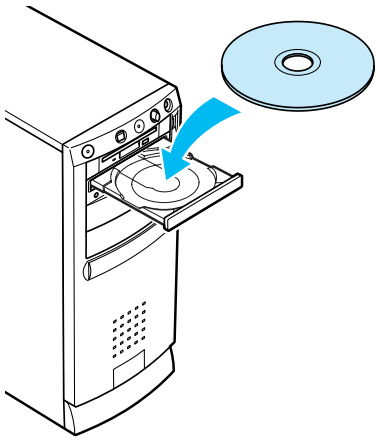
CD-ROMの入れ方と出し方（ミニタワータイプの場合）

●CD-ROM、DVD-ROMを入れる方法

1 イジェクトボタンを押す



2 CD-ROMのラベル面（文字などが印刷されている面）を上にして、ディスクトレイに静かに置く



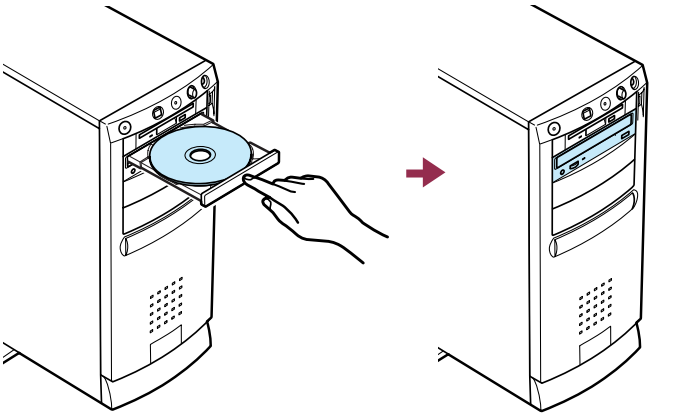
ミニタワータイプには、ＤＶＤ-ＲＯＭドライブが搭載されています。ＤＶＤ-ＲＯＭも基本的な取り扱い方はＣＤ-ＲＯＭと同じです。やさしく取り扱ってください。

チェック!!

CD-ROMの出し入れは、本体の電源が入っているときにしかできません。

3 ディスクトレイを軽く押す

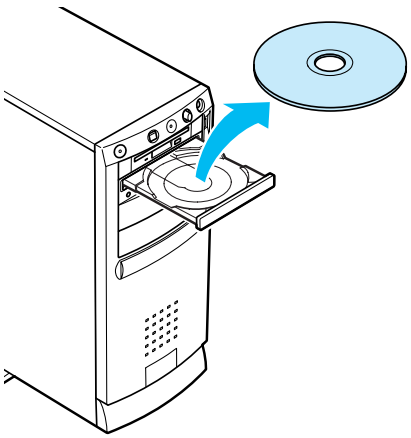
ディスクトレイが収まります



●CD-ROM、DVD-ROMを取り出す方法

1 イジェクトボタンを押す

2 ディスクトレイから CD-ROM を取り出す



3 ディスクトレイを軽く押す

参照
イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合→『リファレンス』PART2の「CD-ROMなどの取り扱い」

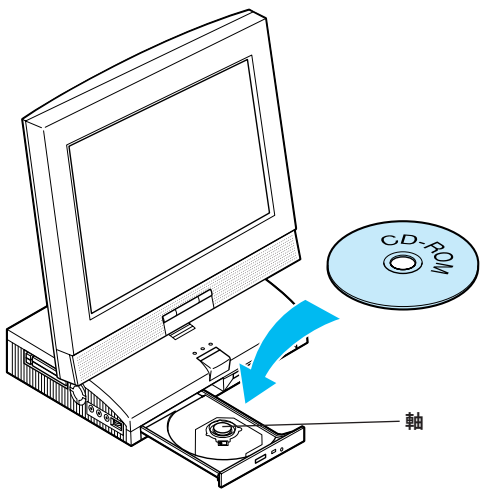
CD-ROMの入れ方と出し方（ボックスレスタイプの場合）

●CD-ROMを入れる方法

1 イジェクトボタンを押す

2 ディスクトレイを静かに引き出す

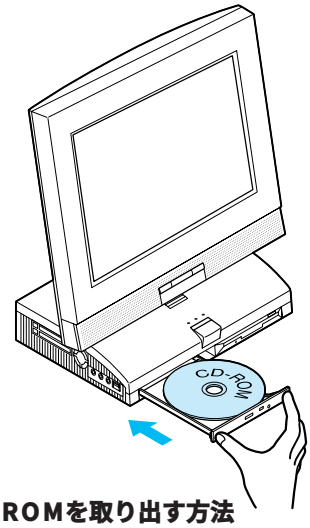
3 CD-ROMのラベル面（文字などが印刷されている面）を上にして、ディスクトレイの中央の軸にしっかりはめ込む



チェック!!

CD-ROMの出し入れは、本体の電源が入っているときにしかできません。

4 ディスクトレイを押して、ドライブに完全に収める

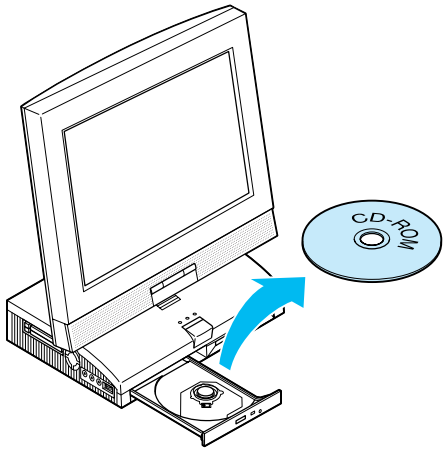


●CD-ROMを取り出す方法

1 イジェクトボタンを押す

2 ディスクトレイから CD-ROM を静かに引き出す

3 ディスクトレイから CD-ROM を取り出す

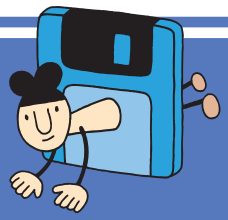


4 ディスクトレイを押して、ドライブに完全に収める

参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合→『リファレンス』PART2の「CD-ROMなどの取り扱い」

市販ソフトを利用する

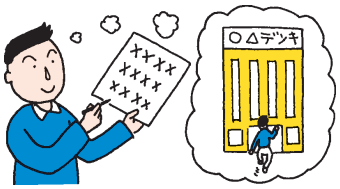


コンピュータショップや電器店などに並んでいる魅力的なアプリケーションやデータ集。後悔しない買い方と正しい使い方を紹介しましょう。

ソフトを買うときのポイント

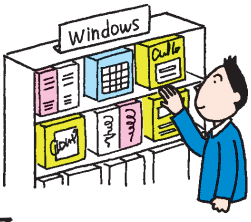
●出かける前

まず、ソフトを買いに出かける前に、メモ用紙にあなたのパソコンの機種名、モデル名（たとえば「PC98-NX SERIESのVE40D/67C」など）を正確に書き込んで、その紙をポケットに入れておいてください。



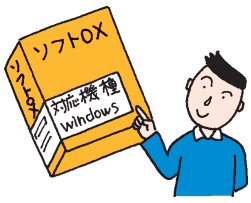
●お店で…

たいていのパソコンソフト売場は、おおまかなパソコンの種類別に棚が分かれていて、その種類を示す表示が出ています。「Windows」や「Windows 95」、「Windows 98」と表示された棚を探してください。
棚を見つけたら、その棚に並んでいるソフトの中から、気に入るソフトをじっくり選びます。



●ソフトの箱を見る

ほとんどのソフトの箱には、「対応OS」あるいは「対応機種」という項目が記載されています。気に入ったソフトを見つけたら、そのソフトの箱に「Windows 98」や「Windows 95」と書かれていることを確認します。

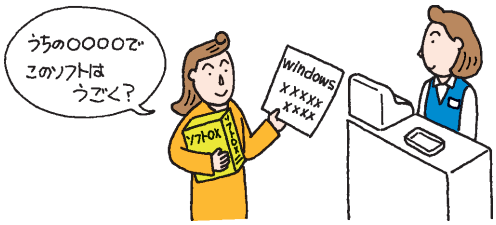


PART 7でも説明したように、ソフトはアプリケーションとデータとOSに分けられます。パソコンソフト売場のほとんどはアプリケーションが占めていますが、写真集や文例集などのデータ集、Windows 98以外のOSも売られています。

Windows 95対応のほとんどのソフトはWindows 98で使うことができます。ただし、まれに使うことのできないソフトもあるので購入時に確認してください。

●最後の確認

レジで、あるいは近くにお店の人がいたら、最終確認。ポケットのメモ用紙を取り出して、「うちの『(ここにあなたの機種名、モデル名が入る)』で、このソフトは動きますか？」と聞いてください。はずかしいことではありません。これが一番大切です。



ソフトを組み込むときのポイント

ソフトを買ってきたら、すぐに使いたくなるのはわかります。でもちょっと落ち着いて。

●薄いビニール包装を破る前に

たまに、このビニール包装の上に、シリアルナンバーなど重要な情報の書かれているシールが貼られているソフトがあります。このようなシールがないかどうか確認します。シールがあったら、ハサミなどでその部分だけを切って、とっておきます（不要な情報の場合もあります）。

●箱を開けたら

箱を開けて中身を確認します。たいていの場合「梱包品リスト」が紙片やマニュアルに記載されていますので、それを見ながら足りないものがないか確認します。
また、CD-ROMやフロッピーディスクが、シールやのりなどで封印された封筒に入っている場合は、次の「使用許諾契約書」の部分を読んでから、封を切ってください。

●使用許諾契約書

市販のソフトの多くは著作物であり、著作権法などによって守られています。あなたのソフトを友達にコピーしてあげたり、友達のソフトを借りてコピーしたりすることは禁止されています。
これらのソフトの場合、紙片、マニュアル、あるいはCD-ROMやフロッピーディスクの入った封筒などに、「使用許諾契約書」が書かれています。この「使用許諾契約書」には、「どのように使うことが許されるか」「どういう使い方はいけないか」が書いてあります。
「パソコンにソフトを組み込んだ時点」あるいは「CD-ROMやフロッピーディスクの入った封筒を開けた時点」で、あなたはこの「使用許諾契約書」にサインをしたことになります。要するに「正しく使います」と宣言をしたことになります。
この点を確認したら、CD-ROMやフロッピーディスクの入った封筒を開けてください。

●ソフトの組み込み

ソフトを、あなたのパソコンで使えるように組み込む作業のことを「インストール」と呼びます。このインストールの操作の方法は、ソフトによってまちまちです。ソフトのマニュアルを見ながら、1 手順ずつ確実に操作を進めてください。

●ソフトを使う

ソフトの使い方は、千差万別。ソフトのマニュアルを見ながら操作を進めてください。

●ユーザー登録カードは忘れずに出す

ほとんどのソフトには「ユーザー登録カード」というハガキが付いています。ここにあなたの住所や名前などを書き込んで、忘れないうちに投函してください。一般に、このユーザー登録カードを出すことで、ソフトのメーカーから、ソフトのバージョンアップ（より進化したソフトへの変更）の情報や、割引購入の案内などが届くようになります。

用語

インストール

ソフトをあなたのパソコンに組み込む作業のこと。セットアップとも呼びます。

チェック!!

このパソコンに添付されている 98 OFFICIAL PASSを使うと、NECへのお客様登録だけでなく、添付ソフトウェア各社へのユーザー登録も一括して行えます。

雑誌の付録やダウンロードソフトはちょっと待って！

最近では、パソコン雑誌（あるいはパソコン解説本）に、付録としてソフトの入った CD-ROM が付いてくる機会が多くなりました。また、インターネットからダウンロードして入手できるソフトもあります。
これらのソフトの中には、市販のソフトのデモ版（一部の機能が使えないものや使用時間が制限されているもの）や、フリーウェア（無料のソフト）、シェアウェア（お金を払った時点で正式に使用が認められるソフト）などがあります。

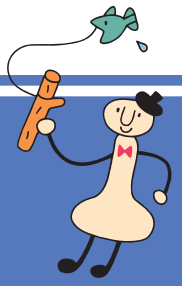
雑誌本体の付録ソフト紹介記事を読むと、確かに魅力的なソフトがたくさん見つかるはずです。しかし、これらのソフトを、むやみにインストールすることは、できるだけ避けてください。

・ソフトがあなたのパソコン、モデルに対応していない
・すでにあなたのパソコンに入っているソフトと相性が悪い
・ソフト自身が未解決の問題（バグ）をかかえている
・コンピュータウイルスが潜んでいる可能性がある

などの理由で、最悪の場合には、パソコンが動かなくなってしまうことさえあります。

雑誌の付録やダウンロードしたソフトは、もう少しあなた自身がパソコンに慣れてからインストールするようにしてください。またそのときは、そのソフトの入手元やサポート窓口にWindows 98で正しく動作するか確認してください。

周辺機器で可能性は無限大



周辺機器を追加すれば、パソコンはもっともっと楽しくなります。ここでは、いろいろな周辺機器を紹介しましょう。

周辺機器の購入、取り付けにあたって

このパソコンには、すでに多くの周辺機器が内蔵、接続されています（本来、別売で取り付けるような機器が最初から付いています）。
このため、ここでご紹介する新たな周辺機器を取り付ける際に、何らかの問題が生じる可能性があります。
このような問題を避けるため、周辺機器を購入するときは、事前に『NEC PC あんしんサポートガイド』に記載されている「パソコンインフォメーションセンター」に、ご相談ください。また、実際に周辺機器を購入するときも、ソフトを買うときと同じように、お店の人に「うちの『（ここにあなたのパソコン機種名、モデル名が入る）』で、この機械は動きますか？」と最終確認するようにしてください。
購入した周辺機器を取り付けるときは、『拡張の手引き』や周辺機器のマニュアルをご覧になり、慎重に作業を進めてください。

チェック!!

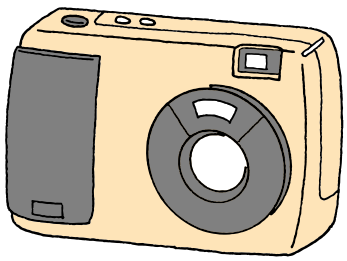
PC-9800 シリーズ専用の周辺機器は使えないことがありますのでご注意ください。

チェック!!

パソコンインフォメーションセンターにお問い合わせいただくときには、あらかじめあなたのパソコンの「機種名」、「モデル名」をご確認ください。
『困ったときの Q&A』の「トラブルシート」を使用すると便利です。

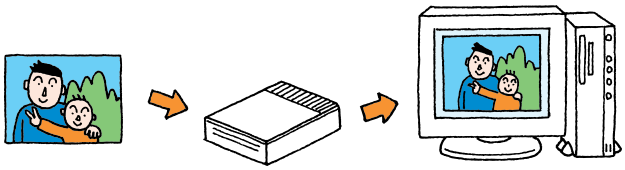
デジタルカメラ

最近流行になっている「フィルムのいらないカメラ」です。CCD という電子の目がとらえた映像（静止画像）をそのままカメラの中に取り込みます。家に帰ったら、カメラをパソコンにつなぎます。専用のソフトを使って、画像を見たり、データとしてパソコンに移したりすることができます。
パソコンに移した画像データは、いろいろなアプリケーションで活用することができます。絵はがきを作ったり、出張の報告書に画像を入れたり、アルバムを作ったり‥‥アイデアは広がります。



イメージスキャナ

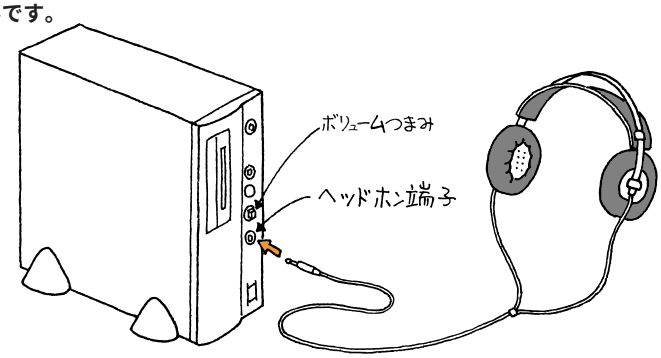
新聞や雑誌の記事、写真屋さんでプリントした写真、手書きのイラストや漫画などを、コピー機のように読み取って、パソコンの画像データにする機械です。
お子さんの描いた絵を集めてパソコン上で展覧会を開いたり、新聞記事のスクラップブックを作ったりすることも簡単です。



イメージスキャナの親戚に「フィルムスキャナ」という機械もあります。フィルムスキャナは、一般のカメラで写したネガフィルムやスライドの映像を読み取って、パソコンの画像データにする機械です。

ヘッドホン

家族の寝静まった夜中の家庭や、静かなオフィスで鳴り響くパソコンの音は、結構うるさいものです。こんなときは、ヘッドホンを使いましょう。市販のヘッドホンの端子（ミニプラグ）を本体前面のヘッドホン端子につなぐだけです。ヘッドホン端子の上にあるのがヘッドホンのボリュームつまみです。

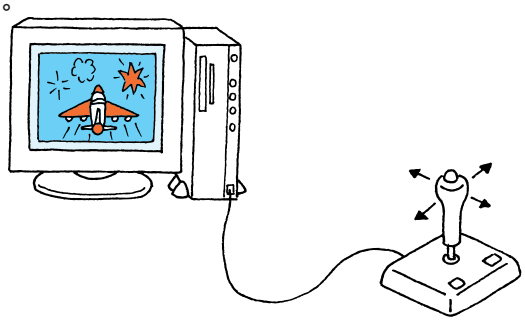


お持ちのヘッドホンの端子が大きくてヘッドホン端子に入らない場合は、電器店で売られている「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお使いください。

参照
パソコンの音をテープレコーダで録音したり、ステレオやミニコンポでパソコンの音を聞きたい場合は→『拡張の手引き』「PART3 オーディオ機器を使う」

ジョイスティック

ゲーム、特にアクションゲーム（動き回るゲーム）やフライトシミュレータ（飛行機を操縦するゲーム）を楽しむとき、ジョイスティックは欠かせません。前後左右斜めの移動や、ミサイルの発射などのコントロールをするための機械です。



参照
ジョイスティックの接続方法については→『拡張の手引き』「PART2 USB対応機器を使う」

パソコン自身のパワーアップ

●メモリの増設

同時にたくさんのアプリケーションを使いたい。ワープロで同時に何十もの文書を開きたい。巨大な画像データを迅速に編集したい。高機能なCG(コンピュータグラフィックス)アプリケーションを使いたい。こんなときは、メモリの増設を検討してください。

●ハードディスクの増設

膨大な量のデータを管理したい。画像データをためていたらハードディスクがいっぱいになってしまった。こんなときは、ハードディスクの増設を検討してください。

●MOディスクドライブの増設

友人にデータを渡したいのだが、データが大きくてフロッピーディスクに入り切らない。あるいはデータが多くてフロッピーディスク何十枚にもなってしまう。こんなときは、MOディスクドライブの増設を検討してください。

参照
メモリの増設については→コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合『拡張の手引き』「PART 6 メモリを増やす」
ボックスレスタイプの場合『拡張の手引き』「PART 7 メモリを増やす」

情報収集のしかた

これからもパソコンと上手につきあっていくためには、情報収集が欠かせません。ここでは、手早く簡単に情報を仕入れる方法を紹介しましょう。

まずは「NEC PC あんしんサポートガイド」

『NEC PC あんしんサポートガイド』には、このパソコンのサポートに関するいろいろな情報を得る方法が書かれています。ぜひ、ご覧ください。

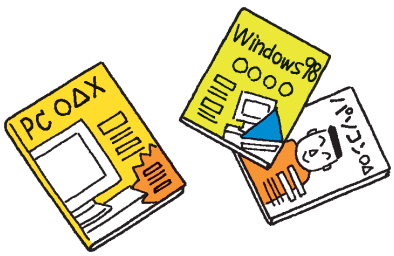
パソコン探検箱を見る

このパソコンに入っている「パソコン探検箱」には、このパソコンを有効活用するためのヒントがたくさんつまっています。何かをやりたいと思ったら、ぜひ、のぞいてみてください。

参照
パソコン探検箱を見る→この PART の「パソコン探検箱を見てみよう」（p.174）

パソコン雑誌を読む

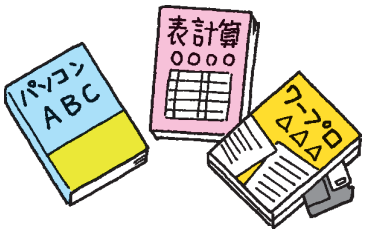
パソコン雑誌には、新しいハードやソフトの紹介記事や利用法、広告などタイムリーな情報が満載されています。あなたに合った雑誌を見つけて、活用してください。



パソコン雑誌を選ぶときは、雑誌名に「PC」「Windows」「パソコン」などの文字が入っているものを中心に見てください。「UNIX」「NT」「Mac」の文字が入っているものは、とりあえず除外しても構いません。

解説本を読む

パソコンに関する書籍も数多く出版されています。パソコンの基本的な使い方を解説した本。特定のアプリケーションの使い方を解説した本。OS（Windows 98）の使い方を解説した本。中にはデータの入ったフロッピーディスクやCD-ROMの付いている本もあります。
これらの本も、必要に応じて上手に活用してください。



パソコン通信、インターネットから情報を得る

パソコン通信の会議室（SIGまたはフォーラムとも呼ぶ）や、インターネットのホームページ、ニュースグループなどには、いろいろなパソコンの情報があふれています。はじめは目的の情報にたどり着くまでに多少の努力が必要ですが、慣れてしまえば簡単です。上手に楽しく活用してください。

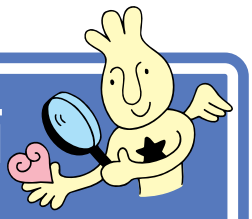
参照
インターネットについては→『インターネット入門』

参照
パソコン通信については→「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「インターネットを楽しむ」

パソコンに詳しい友と語る

パソコンに詳しい友達や同僚、先輩、後輩がいたら、大切にしてください。パソコンに関するいろいろな意見や情報を、必ず持っているはずです。また、いざというときにも、力を貸してくれることでしょう。もちろん、朝から晩まで質問責めにすると嫌われてしまいます。あなた自身でできるところまでは、雑誌やパソコン通信、インターネットで情報を集め、わからないところを整理してから聞くようにしましょう。

パソコン探検箱を見てみよう



「パソコン探検箱」は、本機に搭載されていたアプリケーションの紹介や手引きをします。また、サポート窓口一覧や困ったときの簡単なQ&Aもあります。ここでは、「パソコン探検箱」の使い方や印刷方法を説明します。

「パソコン探検箱」を始める

「パソコン探検箱」のオープニングが始まります。オープニングが終了すると、ガイドマップの画面が表示されます。

オープニングが自動的に表示されるのは、はじめて「パソコン探検箱」を起動したときです。

参照
詳しい使い方は→ 「パソコン探検箱」のヘルプ

パソコン探検箱を使うときの注意

パソコン探検箱を見るには、Acrobat Readerというアプリケーションが必要です。ご購入時には、Acrobat Readerはインストールされています。

参照
Acrobat Readerのインストール方法→『リファレンス』の「PART 3 アプリケーションの追加と削除」

パソコン探検箱を見る

パソコン探検箱には、大きく分けて２つの項目があります。

●「VALUESTARを楽しもう」

最もよく使う8つのアプリケーションとインターネット関連のアプリケーションについて詳しく説明しています。

目的のページの１ページ目が表示されます。内容を読んだら、「次」をクリックすると、順番に見ていくことができます。

●「使いこなそうVALUESTAR」

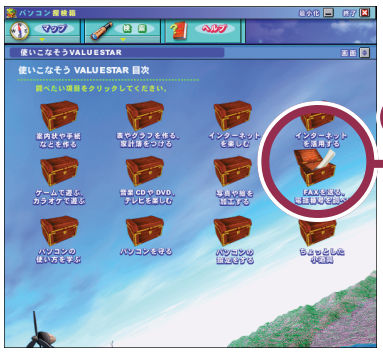
ここでは、このパソコンに添付されているほとんどのアプリケーションの紹介と操作方法を説明しています。

「VALUESTAR を楽しもう」に含まれている項目

- デジカメの写真を加工:Picture Studio Light
- 線路や交通費を調べる:駅すぱあと
- 家計簿をつける:てきぱき家計簿マム
- 年賀状を作る（1）:筆ぐるめ宛て名編
- 年賀状を作る（2）:筆ぐるめデザイン編
- ゲームを楽しむ（各種ゲーム紹介）
- FAX を送る:FAX-NX 送信編
- FAX を受ける:FAX-NX 受信編
- インターネットへの招待
  インターネットを体験！:インターネット無料体験
  プロバイダに入会済みの方へ
  インターネットの設定変更
  ホームページスクラップブック
  翻訳アダプタ II CROSSROAD
  ジェットサーファー
  インターネットアクセスマネージャ
  Hatch inside
  FrontPage Express

アプリケーションは 12 の項目に分かれています。

項目の一覧が表示されます。



目的のページが表示されます。内容を読んだら、「次」をクリックすると、目次が表示され操作説明の 1 ページ目が開きます。

●用語集を使う

「困ったときのQ&A」内に用語集があります。マニュアルやパソコン探検箱の中でわからない言葉を調べることができます。

パソコン探検箱の内容を印刷する

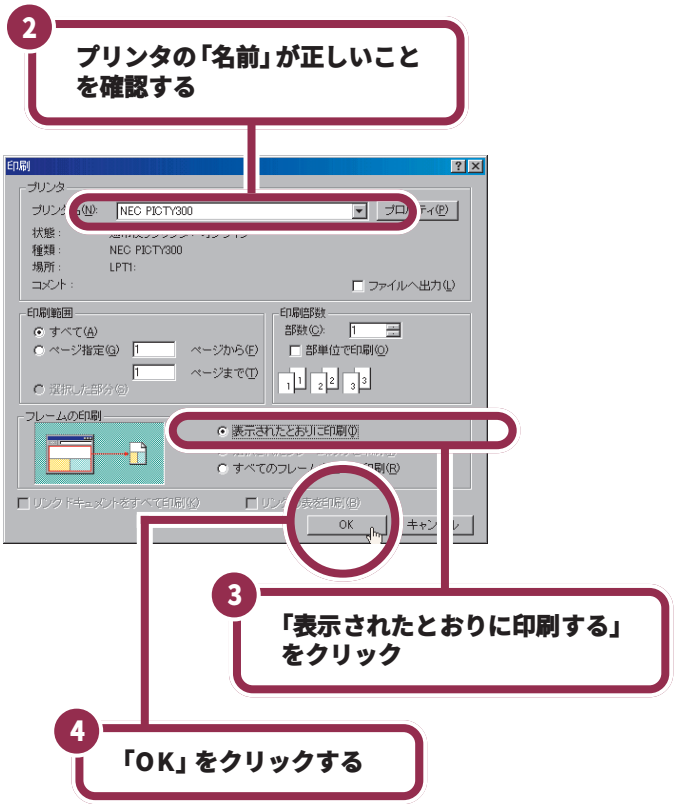
プリンタをお持ちの方は、「パソコン探検箱」の内容を印刷することができます。項目によって、印刷の指定方法が 2 種類あります。各項にあった印刷ができます。

●現在、表示されているページだけ印刷の項

次の項目を印刷する場合
- 使いこなそうVALUESTAR
- 困ったときのQ&A
- お客様サポート一覧
- 便利な早見表

「使いこなそう VALUESTAR」の 12 の項目

各項目では本機に搭載されたアプリケーションの紹介と操作を説明しています。
- 案内状や手紙などを作る
- 表やグラフを作る、家計簿をつける
- インターネットを楽しむ
- インターネットを活用する
- ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ
- 音楽 CD や DVD、テレビを楽しむ
- 写真や絵を加工する
- FAX を送る、電話番号を調べる
- パソコンの使い方を学ぶ
- パソコンを守る
- パソコンの設定をする
- ちょっとした小道具



しばらくすると、プリンタが動き出し、現在表示されているページが印刷できます。別のページを印刷するときは、そのページを表示させてから、同じ操作を繰り返してください。

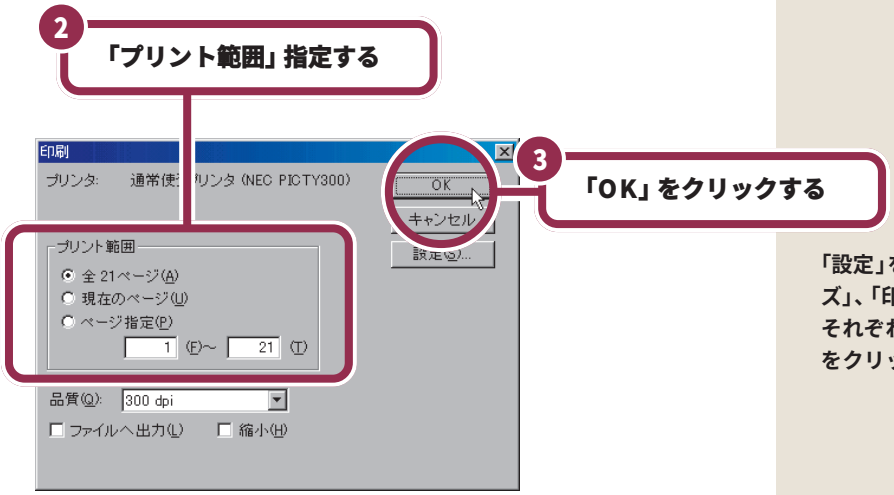
●複数のページをまとめて印刷の項

次の項目を印刷する場合
- VALUESTARを楽しもう
- マニュアルの利用法
- ヘルプ

「プロパティ」をクリックすると、「用紙サイズ」、「印刷の向き」を指定できます。それぞれ必要な項目を指定し、「OK」をクリックしてください。

チェック!!

「表示されたとおりに印刷」を忘れずにクリックしてください。
「ページ指定」は、設定しないでください。



「設定」をクリックすると、「用紙サイズ」、「印刷の向き」を指定できます。それぞれ必要な項目を指定し、「OK」をクリックしてください。

「全**ページ」
　項目全体を印刷します。
「現在のページ」
　現在、表示されているページだけを印刷します。
「ページ指定」
　印刷したいページの先頭と末尾のページを入力します。

しばらくすると、プリンタが動き出し、指定したページが印刷できます。

このPARTのまとめ

ここでは、さらにパソコンを活用するための、いろいろな情報を紹介しました。

このパソコンに入っている他のソフト

このパソコンには、まだまだたくさんのソフトが入っています。市販ソフトを買わなくてもしばらくはお楽しみいただけるでしょう。ほとんどのソフトは、ランチ -NX から起動できます。

市販ソフトの購入法

ソフトを買うときには、「対応OS」や「対応機種」を確認することが大切です。まず、箱に記載されている情報を確認し、最後にレジでお店の人に確認するように心がけましょう。
雑誌の付録などに付いてくるCD-ROMのソフトのインストールは、もう少しパソコンに慣れるまで、しばらくがまんした方が賢明でしょう。

周辺機器の購入法

周辺機器を買うときも、ソフトを買うときと同様に、「対応OS」や「対応機種」を十分に確認しましょう。
分からないことがあったら、『NEC PC あんしんサポートガイド』に記載の「パソコンインフォメーションセンター」にご相談ください。

パソコン情報収集法

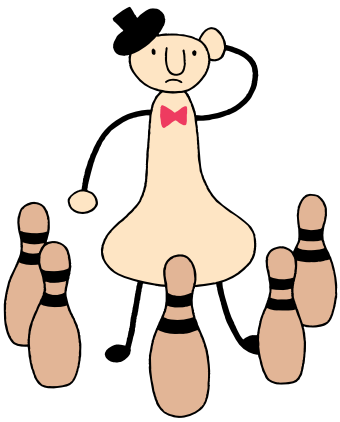
パソコンの情報を的確に集めることで、パソコンの活用法はもっともっと広がります。パソコンの情報収集には次のような方法があります。

- パソコン探検箱を見る
- 『NEC PC あんしんサポートガイド』を活用する
- パソコン雑誌を読む
- 解説本を読む
- パソコン通信、インターネットを見る
- パソコンに詳しい友達と話す
- パソコンの講習会やセミナーを受講する

パソコン探検箱

パソコンの画面で見るマニュアルです。実際にパソコンを操作しながら使ってみましょう。

付　録



パソコンの画面とマニュアルの画面が違う！

あなたのパソコンに表示されている画面と、本書に掲載している画面が異なる場合の解決法です。

ウィンドウが表示されていない！

ちょっと操作をまちがうと、出ているはずのウィンドウが、別のウィンドウの後ろに隠れてしまったり、最小化されてしまったり、あるいはアプリケーションが終わってしまうことがあります。
こんなときは、あわてずに画面のタスクバーを確認してください。

●目的のウィンドウ名がタスクバーにある場合

表示させたいウィンドウ名が、タスクバーに表示されている場合には、それをクリックします。これで、クリックしたウィンドウが表示されます。

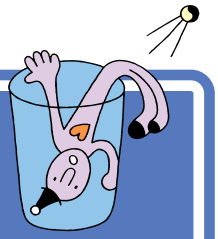
●目的のウィンドウ名がタスクバーにない場合

表示させたいウィンドウ名が、タスクバーに表示されていない場合には、アプリケーション自体が終わってしまっていることを意味します。
あらためてランチ-NX を使って目的のアプリケーションを始めてください。

参照
ここで説明している解決法で解決できない場合や、ここで紹介されていない問題が発生した場合は→『困ったときの Q&A』

市販ソフトの場合

このパソコンでは、ランチ-NXというアプリケーションが常に画面に表示されています。このため、組み込んだ市販ソフトの説明書に載っている画面と、あなたのパソコンの画面が異なることがあります。

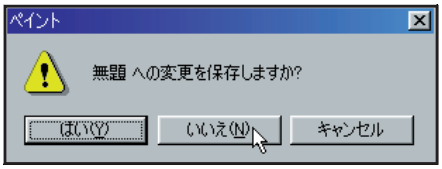


パソコンが何か言ってる！

画面に「～してください」などといった小さなウィンドウが表示されたときの対処法です。

操作のまちがいや設定のまちがいなどによって、「～してください」「～できません」「～します」「～しますか？」などといった「パソコンからあなたへのメッセージ」が表示されることがあります。

次の画面はその一例です。



ウィンドウの中には、「はい」「いいえ」「OK」「キャンセル」などのボタンが表示されているはずです。

このような場合には、

（1）　メッセージを理解できれば大丈夫

まず、表示されたメッセージをよく読んで、何がどうなったのかを、できるだけ考えてみてください。状況が大体理解できた場合には、そのメッセージに対する答えとなるボタンをクリックします。

（2）　わからなかったら説明書

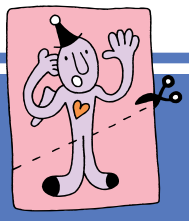
何がどうなったのか、理解できない場合は、『困ったときのQ&A』や、アプリケーションのマニュアルでそのメッセージの意味を調べて、適切なボタンをクリックします。

（3）　最後の手段

それでも分からない場合には、次の優先順位でボタンをクリックします。ただし、これは「最後の手段」です。できるだけ（1）または（2）までの方法で解決するようにしてください。

- 「キャンセル」ボタンがある場合は「キャンセル」ボタンをクリック
- 「キャンセル」ボタンがない場合は、「いいえ」をクリック
- 「キャンセル」ボタンも「いいえ」ボタンもない場合は、「はい」または「OK」をクリック

パソコンが何か変だ！



市販のソフトや雑誌の付録のCD-ROMに入っているソフトをやみくもに組み込むと、時にはパソコンの挙動がおかしくなることがあります。

市販のソフト、あるいは雑誌の付録のCD-ROMに入っているソフトなどを組み込むと、ソフトとパソコンの相性や、ソフト同士の相性などが原因で、パソコンの挙動がおかしくなることがあります。本来は、こういうことがあってはならないのですが、現実にはよく起こるものです。

例えば、マウスの動きがポインタに伝わらなくなってしまったり、音が出なくなってしまったり。場合によっては、パソコンの起動すらできなくなってしまうことがあります。

こんなときには、『困ったときのQ&A』でその状況を調べて適切な対処を施してください。

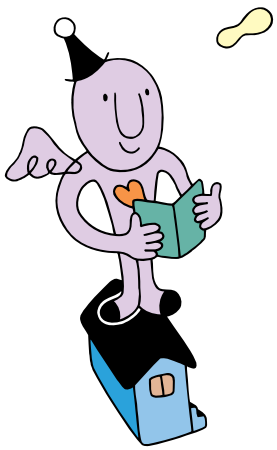
ローマ字つづり一覧

あ	い	う	え	お
a	i (yi)	u (wu)	e	o
か	き	く	け	こ
ka	ki	ku	ke	ko
さ	し	す	せ	そ
sa	si (shi)	su	se	so
た	ち	つ	て	と
ta	ti (chi)	tu (tsu)	te	to
な	に	ぬ	ね	の
na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ
ha	hi	hu (fu)	he	ho
ま	み	む	め	も
ma	mi	mu	me	mo
や	い	ゆ	いぇ	よ
ya	yi	yu	ye	yo
ら	り	る	れ	ろ
ra	ri	ru	re	ro
わ	うぃ	う	うぇ	を
wa	wi	wu	we	wo
ん				
nn				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
za	zi (ji)	zu	ze	zo

だ	ぢ	づ	で	ど
da	di	du	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ
ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
pa	pi	pu	pe	po
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
kya	kyi	kyu	kye	kyo
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
sya (sha)	syi	syu (shu)	sye (she)	syo (sho)
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
tya (cha) (cya)	tyi (cyi)	tyu (chu) (cyu)	tye (che) (cye)	tyo (cho) (cyo)
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
nya	nyi	nyu	nye	nyo
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
hya	hyi	hyu	hye	hyo
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
mya	myi	myu	mye	myo
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
rya	ryi	ryu	rye	ryo
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
gya	gyi	gyu	gye	gyo
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
zya (ja) (jya)	zyi (jyi)	zyu (ju) (jyu)	zye (je) (Jye)	zyo (jo) (jyo)

ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
tha	thi	thu	the	tho
ふゃ	ふぃ	ふゅ	ふぇ	ふょ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
ふぁ	ふぃ	ふ	ふぇ	ふぉ
fa	fi	fu	fe	fo
ゔぁ	ゔぃ	ゔ	ゔぇ	ゔぉ
va	vi	vu	ve	vo
ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
la	li	lu	le	lo
xa	xi	xu	xe	xo
ゃ	ぃ	ゅ	ぇ	ょ
lya	lyi	lyu	lye	lyo
xya	xyi	xyu	xye	xyo

索　引



英字

ADAMSナビ 150
AI将棋 151
Altキー 91
Angel Line（アドレス帳） 147
Angel Line（電話案内） 147
AOLで簡単インターネット 142
BackSpaceキー 60, 63
BIGLOBEインターネット接続ツール 142
CDランチ 156
CD-ROM 119, 158
CD-ROMドライブ 119, 158
CRTディスプレイ 117
Ctrlキー 93
CyberCoach-NX 18, 134
CyberTrio-NX 153
CyberWarner-NX 153
Dドライブ 131
Deleteキー 61, 63
DVD-ROM 119, 158
DVDプレーヤ 150
FAX-NX（FAX） 146
FAX-NX（アドレス帳） 147
FrontPage Express 145
FullBand 140
Hatch inside 144
Intellisync 157
J-Sheet 52
JUSTSYSTEM電子辞書ライブラリ 140
MAGIC FLIGHT（タイプレッスン） 135
MapPlayer-NX（カーナビCD） 140
MOディスクドライブ 128, 171
MSゴシック 104
MS明朝 104
OS 121
Outlook Express 145
PictureStudio Light 147
Shuriken 145
SmartVoice 154
ThumbsStudio 147
Timer-NX（スケジューラ） 155
VirusScan（ウイルスチェッカー） 154
Voice ATOK for SmartVoice 154
Windows 98 121
Windowsの終了 4,12

あ行

アプリケーション 120
アプリケーションの追加と削除 155
アルバム工房Light 148
アンドゥー 96
イジェクトボタン 159, 162, 164
一太郎 ..... 52〜113
一太郎9 136
一太郎9パック 137
移動 97
イメージスキャナ 170
印刷 109, 176
インストール 168
インターネットアクセスマネージャ 144
インターネットエクスプローラ 143
インターネットカラオケキング 149
インターネットチューター 141
インターネット無料体験 141
ウィンドウ 33
ウィンドウの大きさを変える 48
ウィンドウを動かす 47
宇宙戦艦ヤマト 150
上書保存 101
英語モードフォント 156
英字 76
駅すぱあと 139
液晶ディスプレイ 117
鉛筆ツール 37
応用ソフト 120
音量の調節 23

か行

改行 61, 64, 70, 73
カーソル 59, 62
カタカナを打つ 71
かな入力 62
画面の設定 155
漢字を打つ 65
キーボード 117
記号を打つ 92

起動する 18
基本ソフト 120
切り取り 97
クリック 24
グローカル ヘキサイト 152
競馬道3 151
ゴシック 104
コピー 99
コンピュータウイルス 126

さ行

最小化 36
最大化 34
サウンドレコーダー 149
削除 94
三四郎8 137
ジェットサーファー 144
周辺機器 169
終了 26, 49, 81
自由サイズポイント切替 103
ジョイスティック 170
使用許諾契約 53, 167
書体 104
数字を打つ 74
スクロール 38
スクロールバー 40
スクロールボタン 41
スタートメニュー 3, 11
スタンバイ 5, 13
スリープボタン 5
スリープランプ 5, 13
選択範囲 94
センタリング 106
ソフト 116, 120
ソリティア 152
ソリティア デラックス 151

た行

タイトルバー 47
濁音（だくおん） 65
タスクバー 45
立ち上げる 18
ダブルクリック 25
長音 72
ツールバー 71
ディスクトレイ 159, 162, 164
ディスプレイ 117
データ 121
テキストリーダ 157
てきぱき家計簿マム2Plus 139
デジタルカメラ 169
デスクトップ 44
電源スイッチ 2, 10
電源ランプ 5, 13
電源を入れる 2, 10
電源を切る 3, 11
電卓 156
同音語 69
閉じる 110
ドラッグ 25
取り消し 96

な行

名前の入力 78
名前を付けて保存 79, 107
ニフティサーブでインターネット 142
日本語入力 91

は行

ハーツ 152
ハード 116
ハードディスク 118
パソコン大学一年生 for 一太郎9 ..... 112, 136
パソコン大学一年生 for 三四郎8 137
パソコン大学一年生 for Windows 98 .. 135
パソコン探検箱 134, 172
パソコン通信 173
バックアップ 126, 128
花子9 138
貼り付け 98, 100
ハローキティのハッピーメール 146
半角文字 90
半濁音 72
左寄せ 106
ビットキャストブラウザ 150

ひらがなを打つ 59, 62
開く 88
ファイル名 79
フォント 104
複写 99
筆ぐるめ 138
フリーセル 152
プリンタ 86, 117
プレーヤ-NX（CDプレーヤ） 148
フロッピーディスク 119, 128
文書の保存 79, 101
文節 78
ペイント 33, 37, 156
ヘッドホン 170
ポイント（文字サイズ） 102
ポイントする 24
ホームページスクラップブック 145
保存 79, 101
ボリュームコントロール 149
本体 117
翻訳アダプタII CROSSROAD 143

ま行

マインスイーパ 152
マウス 22, 117
右クリック 25
右寄せ 106
明朝 104
メディアプレーヤー 149
メモ帳 156
文字の確定 61, 64
モジモジ-NX 150
文字を打ち間違えたら 60, 63

や行

ユーザー登録カード 168
拗音（ようおん） 65

ら行

ランチ-NX 30, 52, 155
ローマ字入力 59
ローマ字のつづり一覧 186

わ行

ワードパッド 156
ワープロ（一太郎） ..... 52〜113
和文・欧文フォント切替 105

わかる、できる、役に立つ!!

Step2 入門

日本マニュアルコンテスト 98
最優秀賞受賞マニュアル

PC98-NX SERIES

VALUESTAR NX

一太郎モデル

2版 1999年3月
NEC
P

808-881444-182-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。